

令和 2 年 度

決算に係る主要施策の成果説明書

君 津 市

令和2年度君津市一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算を
議会の認定に付するに当たり、地方自治法（昭和22年法律第67
号）第233条第5項の規定により、当該決算に係る各会計の主要
な施策の成果説明書を次のとおり提出する。

令和3年9月2日

君津市長 石井宏子

目 次

I	決算の概要	2～3
II	令和2年度会計別決算総括表	4～5
III	令和2年度一般会計決算総括表	
	歳入	
	歳入	6
	歳入の財源構成内訳	7
	歳入（市税明細書）	8
	歳出	
	歳出（目的別）	9
	歳出（性質別）	10
	歳出の構成内訳	11
IV	令和2年度特別会計決算総括表	
	国民健康保険特別会計	12～13
	聖地公園事業特別会計・農業集落排水事業特別会計	14～15
	介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計	16～17
V	地方債の状況	18～20
VI	基金の状況	21
VII	主要施策の成果説明	
	一般会計	25～245
	特別会計	249～259
《資料》		
	一般会計歳入決算の推移	262～263
	税目別決算の推移	264～265
	一般会計歳出決算の推移（目的別）	266～267
	一般会計歳出決算の推移（性質別）	268～269
	令和2年度決算における地方消費税交付金（社会保障財源化分）が 充てられる社会保障施策に要する経費	
	令和2年度決算における都市計画税・入湯税の充当状況	270

I 決算の概要

令和2年度の一般会計及び各特別会計を合わせた決算額は、歳入総額647億2,226万7千円、歳出総額612億1,865万1千円となり、前年度の決算額に対し、歳入で21.0パーセントの増、歳出で24.1パーセントの増となった。

歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支は、35億361万6千円となり、形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を控除した実質収支は、30億9,461万4千円で、前年度に対し15.9パーセントの増となった。

また、普通会計における経常収支比率は89.2パーセントとなる見込みであり、前年度に対し2.4ポイントの減となった。

一般会計の状況

1 決算規模及び収支

令和2年度の決算額は、歳入総額468億4,961万3千円、歳出総額444億1,674万7千円で、形式収支は24億3,286万6千円となり、翌年度に繰り越すべき財源4億900万2千円を控除した実質収支は、20億2,386万4千円となった。

これを前年度と比較すると、歳入においては111億3,699万1千円31.2パーセントの増、歳出においては120億4,572万8千円37.2パーセントの増、実質収支においては1億7,177万4千円9.3パーセントの増となった。

2 歳入の内訳

令和2年度の歳入総額468億4,961万3千円の内訳をみると、市税179億5,189万6千円を含む自主財源は236億7,159万3千円で構成比50.5パーセントとなった。

また、国・県支出金、市債、地方譲与税等の依存財源は231億7,802万円で構成比49.5パーセントとなった。

これを前年度と比較すると、自主財源は9億2,734万7千円4.1パーセントの増、依存財源は102億964万4千円78.7パーセントの増となった。

なお、令和2年度の市税徴収率は、95.56パーセントで、前年度と比較すると、0.32ポイントの増となった。

3 歳出の内訳

令和2年度の歳出総額444億1,674万7千円の内訳をみると、人件費、物件費、公債費等の経常的経費は330億2,907万円で構成比74.4パーセント、普通建設事業費及び災害復旧費の投資的経費は64億3,065万8千円で構成比14.5パーセント、積立金、繰出金等のその他の経費は49億5,701万9千円で構成比11.1パーセントとなった。

これを前年度と比較すると、経常的経費は100億1,212万4千円43.5パーセントの増、投資的経費は8億6,100万8千円15.5パーセントの増、その他の経費は11億7,259万6千円31.0パーセントの増となった。

なお、各会計の状況については、令和2年度会計別決算総括表に示すとおりである。

Ⅱ 令和2年度会計別決算総括表

区 分	予算現額 (A)		歳入総額 (B)		歳出総額 (C)	
	金 額	前年比	金 額	前年比	金 額	前年比
一般会計	49,903,559	22.7	46,849,613	31.2	44,416,747	37.2
国民健康保険特別会計 (事業勘定)	8,756,135	△ 1.2	9,215,774	△ 2.4	8,394,723	△ 3.9
国民健康保険特別会計 (直営診療施設勘定)	122,000	△ 14.1	103,767	△ 13.5	96,372	△ 15.9
聖地公園事業特別会計	63,000	6.8	60,764	3.0	57,593	2.9
農業集落排水事業特別会計	33,500	4.7	33,728	△ 2.7	32,074	4.8
介護保険特別会計	7,349,465	4.3	7,288,821	3.6	7,054,844	1.7
後期高齢者医療特別会計	1,199,880	6.8	1,169,800	7.5	1,166,298	7.5
合 計	67,427,539	16.4	64,722,267	21.0	61,218,651	24.1

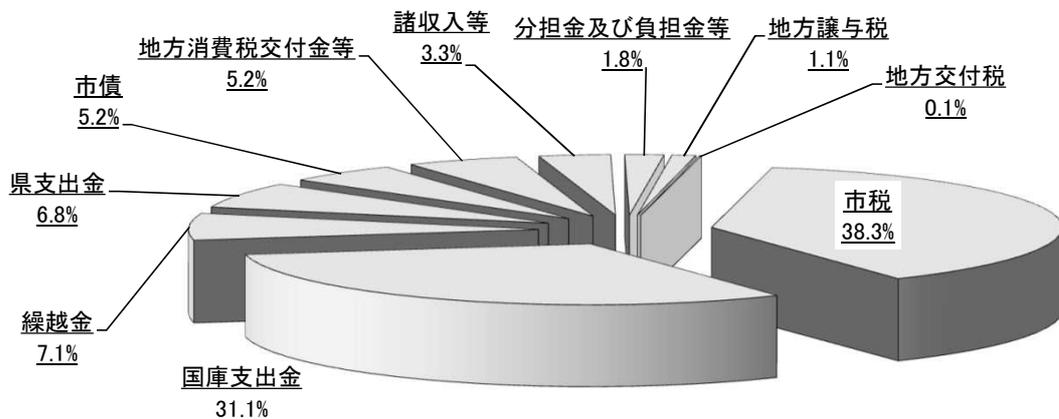
(単位:千円・%)

歳入歳出差引額 (B)-(C) (D)		翌年度へ繰り越すべき財源				実質収支額 (D)-(E) (F)		予算に対する 決算額の比率	
金額	前年比	繰次繰越	明許繰越	事故繰越	合計(E)	金額	前年比	歳入(B)/(A)	歳出(C)/(A)
2,432,866	△ 27.2	119,806	254,180	35,016	409,002	2,023,864	9.3	93.9	89.0
821,051	16.9					821,051	16.9	105.2	95.9
7,395	38.5					7,395	38.5	85.1	79.0
3,171	5.1					3,171	5.1	96.5	91.4
1,654	△ 59.3					1,654	△ 59.3	100.7	95.7
233,977	135.2					233,977	135.2	99.2	96.0
3,502	7.4					3,502	7.4	97.5	97.2
3,503,616	△ 15.8	119,806	254,180	35,016	409,002	3,094,614	15.9	96.0	90.8

Ⅲ 令和2年度一般会計決算総括表 歳入

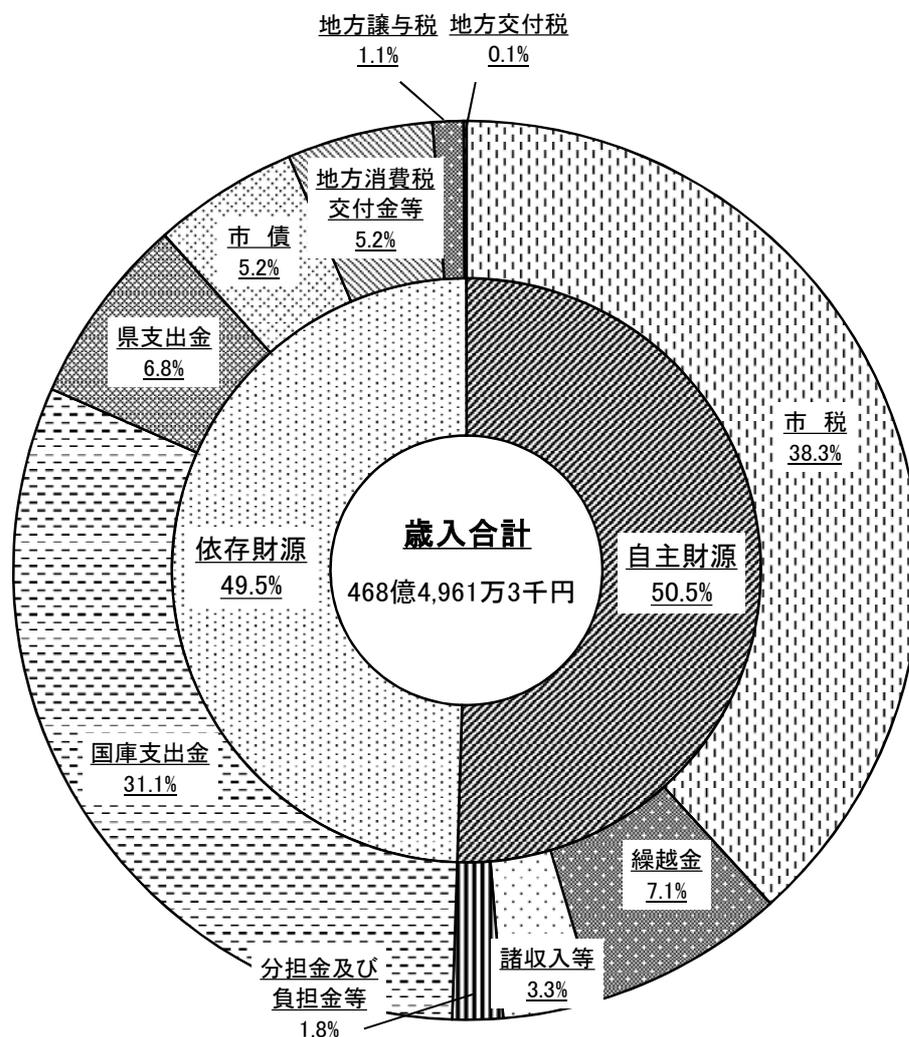
(単位:千円・%)

款	決算額(A)	構成比	前年度決算額(B)	比較(A)-(B)
1 市税	17,951,896	38.3	17,426,734	525,162
2 地方譲与税	533,246	1.1	545,356	△ 12,110
3 利子割交付金	9,395	0.0	8,763	632
4 配当割交付金	56,146	0.1	60,973	△ 4,827
5 株式等譲渡所得割交付金	68,089	0.1	40,077	28,012
6 法人事業税交付金	79,708	0.2	—	79,708
7 地方消費税交付金	1,962,256	4.2	1,635,360	326,896
8 ゴルフ場利用税交付金	136,384	0.3	133,355	3,029
9 自動車取得税交付金	8	0.0	63,535	△ 63,527
10 環境性能割交付金	37,760	0.1	18,565	19,195
11 地方特例交付金	85,398	0.2	214,621	△ 129,223
12 地方交付税	26,962	0.1	606,863	△ 579,901
13 交通安全対策特別交付金	12,955	0.0	12,106	849
14 分担金及び負担金	436,354	0.9	504,271	△ 67,917
15 使用料及び手数料	430,662	0.9	491,237	△ 60,575
16 国庫支出金	14,548,863	31.1	4,565,464	9,983,399
17 県支出金	3,163,050	6.8	2,727,438	435,612
18 財産収入	188,749	0.4	169,259	19,490
19 寄附金	604,720	1.3	653,802	△ 49,082
20 繰入金	70,143	0.2	1,006,245	△ 936,102
21 繰越金	3,341,603	7.1	1,885,357	1,456,246
22 諸収入	647,466	1.4	607,341	40,125
23 市債	2,457,800	5.2	2,335,900	121,900
歳入合計	46,849,613	100.0	35,712,622	11,136,991



- (1) 地方消費税交付金等 : 地方消費税交付金・利子割交付金・配当割交付金・株式等譲渡所得割交付金・法人事業税交付金・ゴルフ場利用税交付金・自動車取得税交付金・環境性能割交付金・地方特例交付金・交通安全対策特別交付金
- (2) 分担金及び負担金等 : 分担金及び負担金・使用料及び手数料
- (3) 諸収入等 : 諸収入・財産収入・寄附金・繰入金

歳入の財源構成内訳



○自主財源 23,671,593千円

市が自ら権能に基づいて自主的に収入するもので、市税・分担金及び負担金等（分担金及び負担金・使用料及び手数料）・繰越金・諸収入等（諸収入・財産収入・寄附金・繰入金）を自主財源としている。

○依存財源 23,178,020千円

国や県の意思決定に基づき収入されるもので、地方譲与税・地方消費税交付金等（地方消費税交付金・利子割交付金・配当割交付金・株式等譲渡所得割交付金・法人事業税交付金・ゴルフ場利用税交付金・自動車取得税交付金・環境性能割交付金・地方特例交付金・交通安全対策特別交付金）・地方交付税・国、県支出金・市債を依存財源としている。

歳入（市税明細書）

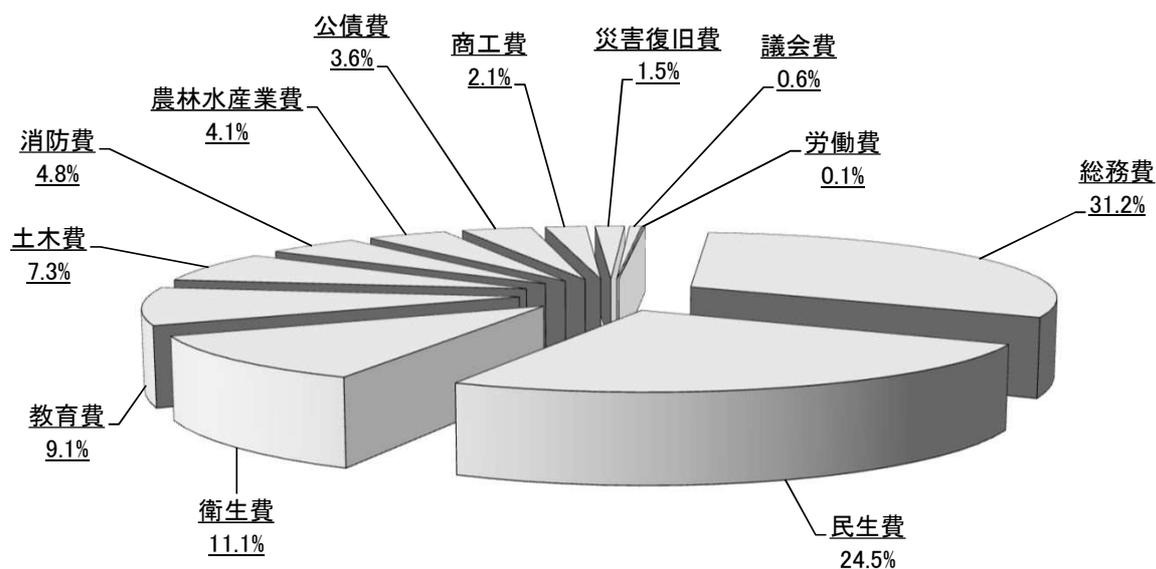
（単位：千円・％）

科目	決算額		前年度決算額		比較 (A)-(B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比	
1 市民税	5,606,887	31.2	5,821,766	33.4	△ 214,879
1 個人	4,826,419	26.9	4,767,347	27.4	59,072
1 現年課税分	4,744,683	26.4	4,671,436	26.8	73,247
2 滞納繰越分	81,736	0.5	95,911	0.6	△ 14,175
2 法人	780,468	4.3	1,054,419	6.0	△ 273,951
1 現年課税分	776,888	4.3	1,051,870	6.0	△ 274,982
2 滞納繰越分	3,580	0.0	2,549	0.0	1,031
2 固定資産税	10,786,984	60.1	10,047,550	57.7	739,434
1 固定資産税	10,775,156	60.0	10,035,906	57.6	739,250
1 現年課税分	10,713,602	59.7	9,972,150	57.2	741,452
2 滞納繰越分	61,554	0.3	63,756	0.4	△ 2,202
2 交付金	11,828	0.1	11,644	0.1	184
1 現年課税分	11,828	0.1	11,644	0.1	184
3 軽自動車税	278,611	1.6	265,370	1.5	13,241
1 環境性能割	9,029	0.1	3,086	0.0	5,943
1 環境性能割	9,029	0.1	3,086	0.0	5,943
2 種別割	269,582	1.5	262,284	1.5	7,298
1 現年課税分	264,255	1.5	256,995	1.5	7,260
2 滞納繰越分	5,327	0.0	5,289	0.0	38
4 市たばこ税	702,300	3.9	725,359	4.2	△ 23,059
1 現年課税分	702,300	3.9	725,359	4.2	△ 23,059
5 特別土地保有税	0	0.0	0	0.0	0
1 滞納繰越分	0	0.0	0	0.0	0
6 入湯税	2,248	0.0	1,789	0.0	459
1 現年課税分	1,644	0.0	1,789	0.0	△ 145
2 滞納繰越分	604	0.0	0	0.0	604
7 都市計画税	574,866	3.2	564,900	3.2	9,966
1 現年課税分	570,140	3.2	560,774	3.2	9,366
2 滞納繰越分	4,726	0.0	4,126	0.0	600
合 計	17,951,896	100.0	17,426,734	100.0	525,162
国民健康保険税	1,784,850	100.0	1,795,532	100.0	△ 10,682
1 現年課税分	1,593,131	89.3	1,616,517	90.0	△ 23,386
2 滞納繰越分	191,719	10.7	179,015	10.0	12,704

歳出（目的別）

（単位：千円・％）

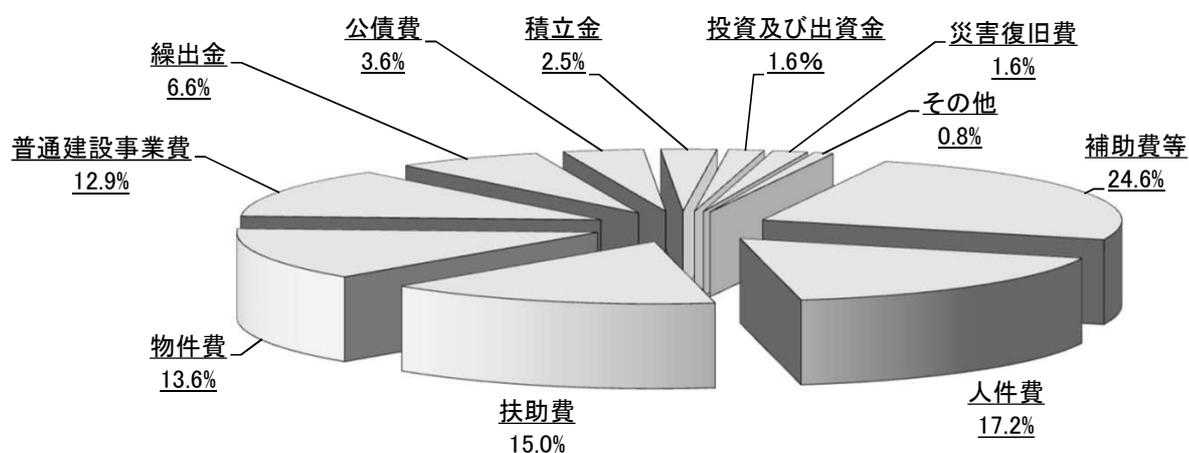
款	決算額(A)	構成比	前年度決算額(B)	比較(A)-(B)
1 議会費	275,188	0.6	277,526	△ 2,338
2 総務費	13,846,767	31.2	4,144,596	9,702,171
3 民生費	10,886,539	24.5	10,355,481	531,058
4 衛生費	4,914,953	11.1	3,898,467	1,016,486
5 労働費	39,505	0.1	31,876	7,629
6 農林水産業費	1,819,965	4.1	1,464,767	355,198
7 商工費	919,721	2.1	784,640	135,081
8 土木費	3,248,266	7.3	2,792,278	455,988
9 消防費	2,125,404	4.8	1,810,853	314,551
10 教育費	4,067,959	9.1	4,689,964	△ 622,005
11 災害復旧費	670,246	1.5	349,288	320,958
12 公債費	1,602,234	3.6	1,771,283	△ 169,049
歳出合計	44,416,747	100.0	32,371,019	12,045,728



歳出（性質別）

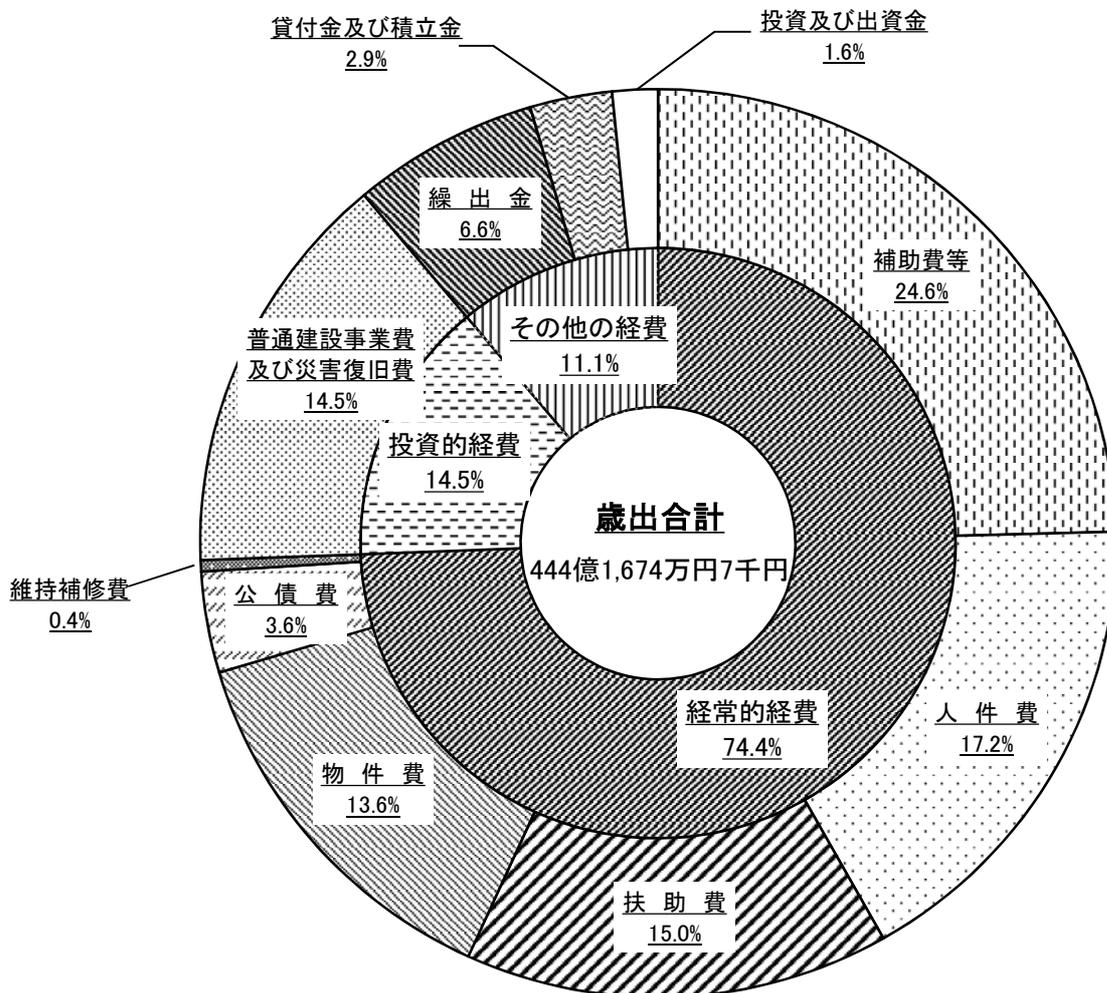
（単位：千円・％）

区分	決算額(A)	構成比	前年度決算額(B)	比較(A)-(B)
1 人件費	7,632,226	17.2	7,024,464	607,762
2 扶助費	6,668,844	15.0	6,414,267	254,577
3 公債費	1,602,173	3.6	1,771,283	△ 169,110
4 物件費	6,031,698	13.6	5,996,461	35,237
5 維持補修費	178,431	0.4	149,777	28,654
6 補助費等	10,915,698	24.6	1,660,694	9,255,004
7 貸付金	208,560	0.4	208,060	500
8 繰出金	2,928,654	6.6	3,308,677	△ 380,023
9 積立金	1,110,239	2.5	54,978	1,055,261
10 投資及び出資金	709,566	1.6	212,708	496,858
11 普通建設事業費	5,729,822	12.9	5,203,073	526,749
(1)補助事業	3,525,448	7.9	2,940,236	585,212
(2)単独事業	2,204,374	5.0	2,262,837	△ 58,463
12 災害復旧費	700,836	1.6	366,577	334,259
(1)補助事業	277,529	0.6	39,290	238,239
(2)単独事業	423,307	1.0	327,287	96,020
歳出合計	44,416,747	100.0	32,371,019	12,045,728



その他：貸付金(0.4%)・維持補修費(0.4%)

歳出の構成内訳



○經常的経費 33,029,070千円

經常的経費は、年々經常的に支出される経費をいい、市が行政活動を行うために必要な固定的経費であり、人件費・扶助費・公債費・物件費・維持補修費・補助費等を經常的経費としている。

○投資的経費 6,430,658千円

投資的経費は、その支出の効果が資本の形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものの経費をいい、普通建設事業費・災害復旧費を投資的経費としている。

○その他の経費 4,957,019千円

上記以外の貸付金・繰出金・積立金・投資及び出資金をその他の経費としている。

IV 令和2年度特別会計決算総括表

国民健康保険特別会計

事業勘定 (歳入)

款	決算額 (A)	構成比	前年度決算額 (B)	比較 (A-B)
国民健康保険税	1,784,850	19.4	1,795,532	△ 10,682
国庫支出金	19,659	0.2	239	19,420
県支出金	5,959,613	64.7	6,232,934	△ 273,321
財産収入	8	0.0	5	3
繰入金	676,428	7.3	660,006	16,422
繰越金	702,629	7.6	690,487	12,142
諸収入	72,587	0.8	63,035	9,552
歳入合計	9,215,774	100.0	9,442,238	△ 226,464

直営診療施設勘定 (歳入)

款	決算額 (A)	構成比	前年度決算額 (B)	比較 (A-B)
診療収入	38,677	37.3	74,411	△ 35,734
使用料及び手数料	163	0.2	670	△ 507
繰入金	58,776	56.6	40,858	17,918
繰越金	5,338	5.1	3,762	1,576
諸収入	59	0.0	236	△ 177
財産収入	272	0.3	—	272
県支出金	482	0.5	—	482
歳入合計	103,767	100.0	119,937	△ 16,170

(歳出)

(単位:千円・%)

款	決算額 (A)	構成比	前年度決算額 (B)	比較 (A-B)
総務費	210,455	2.5	204,127	6,328
保険給付費	5,852,031	69.7	6,103,928	△ 251,897
国民健康保険事業費納付金	2,148,709	25.6	2,204,466	△ 55,757
共同事業拠出金	2	0.0	1	1
保健事業費	100,503	1.2	162,389	△ 61,886
積立金	10,008	0.1	10,005	3
諸支出金	73,015	0.9	54,693	18,322
歳出合計	8,394,723	100.0	8,739,609	△ 344,886

(歳出)

(単位:千円・%)

款	決算額 (A)	構成比	前年度決算額 (B)	比較 (A-B)
総務費	75,851	78.7	77,234	△ 1,383
医業費	19,841	20.6	36,685	△ 16,844
公債費	680	0.7	680	0
歳出合計	96,372	100.0	114,599	△ 18,227

聖地公園事業特別会計

(歳入)

款	決算額 (A)	構成比	前年度決算額 (B)	比較 (A-B)
事業収入	33,670	55.4	29,004	4,666
繰入金	24,000	39.5	28,201	△ 4,201
繰越金	3,016	5.0	1,680	1,336
諸収入	78	0.1	82	△ 4
歳入合計	60,764	100.0	58,967	1,797

農業集落排水事業特別会計

(歳入)

款	決算額 (A)	構成比	前年度決算額 (B)	比較 (A-B)
使用料及び手数料	2,285	6.8	2,271	14
県支出金	—	—	5,000	△ 5,000
繰入金	27,375	81.2	24,148	3,227
繰越金	4,068	12.0	3,245	823
諸収入	0	0.0	1	△ 1
歳入合計	33,728	100.0	34,665	△ 937

(歳出)

(単位:千円・%)

款	決算額 (A)	構成比	前年度決算額 (B)	比較 (A-B)
墓地公園事業費	20,183	35.0	18,374	1,809
公債費	37,410	65.0	37,577	△ 167
歳出合計	57,593	100.0	55,951	1,642

(歳出)

(単位:千円・%)

款	決算額 (A)	構成比	前年度決算額 (B)	比較 (A-B)
農業集落排水事業費	19,599	61.1	18,122	1,477
公債費	12,475	38.9	12,475	0
歳出合計	32,074	100.0	30,597	1,477

介護保険特別会計

(歳入)

款	決算額 (A)	構成比	前年度決算額 (B)	比較 (A-B)
保険料	1,604,226	22.0	1,617,899	△ 13,673
国庫支出金	1,569,535	21.5	1,477,644	91,891
支払基金交付金	1,823,295	25.0	1,734,304	88,991
県支出金	1,001,287	13.8	964,059	37,228
財産収入	240	0.0	249	△ 9
繰入金	1,181,602	16.2	1,080,762	100,840
繰越金	99,489	1.4	155,615	△ 56,126
諸収入	9,147	0.1	5,513	3,634
歳入合計	7,288,821	100.0	7,036,045	252,776

後期高齢者医療特別会計

(歳入)

款	決算額 (A)	構成比	前年度決算額 (B)	比較 (A-B)
後期高齢者医療保険料	863,738	73.8	791,201	72,537
繰入金	241,467	20.6	214,038	27,429
諸収入	60,700	5.2	61,787	△ 1,087
繰越金	3,262	0.3	21,259	△ 17,997
国庫支出金	633	0.1	—	633
歳入合計	1,169,800	100.0	1,088,285	81,515

(歳出)

(単位:千円・%)

款	決算額 (A)	構成比	前年度決算額 (B)	比較 (A-B)
総務費	191,540	2.7	178,002	13,538
保険給付費	6,489,106	92.0	6,302,009	187,097
地域支援事業費	284,944	4.0	310,031	△ 25,087
基金積立金	68,479	1.0	113,917	△ 45,438
諸支出金	20,775	0.3	32,597	△ 11,822
歳出合計	7,054,844	100.0	6,936,556	118,288

(歳出)

(単位:千円・%)

款	決算額 (A)	構成比	前年度決算額 (B)	比較 (A-B)
総務費	103,373	8.8	96,323	7,050
後期高齢者医療広域連合納付金	1,060,943	91.0	988,093	72,850
諸支出金	1,982	0.2	607	1,375
歳出合計	1,166,298	100.0	1,085,023	81,275

V 地方債の状況（目的別）

（単位：千円）

区 分	令和元年度 現在高	令和2年度 発行額	令和2年度 元金償還額	令和2年度末 現在高
一般会計債	13,813,820	2,457,800	1,557,263	14,714,357
1. 普通債	10,155,749	2,310,600	822,191	11,644,158
(1) 総務	434,184	403,600	67,688	770,096
(2) 民生	488,173	47,900	54,028	482,045
(3) 衛生	248,674	302,900	51,561	500,013
(4) 農林水産業	6,100	15,000		21,100
(5) 商工	27,728		4,777	22,951
(6) 土木	1,978,194	581,100	137,515	2,421,779
(7) 消防	1,201,747	541,300	105,494	1,637,553
(8) 教育	5,770,949	418,800	401,128	5,788,621
2. 災害復旧債	113,650	147,200	19,318	241,532
(1) 農林水産業	7,595		1,361	6,234
(2) 土木	104,355	142,300	17,957	228,698
(3) その他	1,700	4,900		6,600
3. その他	3,544,421		715,754	2,828,667
(1) 財源対策	10,279		4,877	5,402
(2) 減税補てん	253,364		63,368	189,996
(3) 臨時財政対策	2,823,992		566,357	2,257,635
(4) 減収補てん	456,786		81,152	375,634
国民健康保険特別会計債	3,876		621	3,255
聖地公園事業特別会計債	74,280		37,120	37,160
農業集落排水事業特別会計債	123,787		10,098	113,689
合 計	14,015,763	2,457,800	1,605,102	14,868,461

地方債の状況（事業別）

（単位：千円）

区 分	令和元年度 現在高	令和2年度 発行額	令和2年度 元金償還額	令和2年度末 現在高
一般会計債	13,813,820	2,457,800	1,557,263	14,714,357
（令和2年度起債事業内訳）				
1. かずさ水道広域連合企業団出資事業債		403,600		
2. 養護老人ホーム施設整備費補助負担金事業債		47,900		
3. 衛生センター整備事業債		302,900		
4. 農道整備事業債		15,000		
5. 橋梁長寿命化事業債		195,200		
6. 八重原線道路新設改良事業債		108,000		
7. 小山野・山高原線道路改良事業債		17,900		
8. 都市計画街路整備事業債		17,400		
9. 生活道路道路改良事業債		8,300		
10. 交通安全施設整備事業債		11,600		
11. 大山野、奥谷線歩道整備事業債		7,500		
12. 六手・中島線歩道整備事業債		3,600		
13. 俵田・山本線歩道整備事業債		10,000		
14. トンネル長寿命化事業債		43,900		
15. 笹藤林線道路改良事業債		22,200		
16. 道路及び排水工事関係事業債		16,400		
17. 舗装法面等長寿命化事業債		8,100		
18. 中島、和田下線道路改良事業債		2,500		
19. 道路照明改修整備事業債		49,300		
20. 尾車川河川改修事業債		6,900		
21. 梅田川河川改修事業債		17,600		
22. 西ノ作公園整備事業債		16,000		
23. 公園施設長寿命化対策事業債		4,000		
24. 公園照明灯改修整備事業債		14,700		
25. 消防施設整備事業債		254,700		
26. デジタル防災行政無線施設整備事業債		286,600		
27. 貞元小学校普通教室棟整備事業債		29,800		
28. （仮称）上総地区小学校統合施設整備事業債		84,700		
29. 南子安小学校敷地整備事業債		81,900		
30. 小学校校内通信ネットワーク整備事業債		59,400		

(単位:千円)

区 分	令和元年度 現在高	令和2年度 発行額	令和2年度 元金償還額	令和2年度末 現在高
31. 周西南中学校屋内運動場整備事業債		41,500		
32. 周南中学校大規模改造事業債		82,400		
33. 中学校校内通信ネットワーク整備事業債		30,100		
34. 中央図書館空調設備更新事業債		3,700		
35. 八重原公民館空調設備更新事業債		5,300		
36. 道路橋梁災害復旧事業債		35,400		
37. 河川災害復旧事業債		18,200		
38. 公園施設災害復旧事業債		88,700		
39. 消防施設災害復旧事業債		4,900		
国民健康保険特別会計債	3,876		621	3,255
聖地公園事業特別会計債	74,280		37,120	37,160
農業集落排水事業特別会計債	123,787		10,098	113,689
合 計	14,015,763	2,457,800	1,605,102	14,868,461

VI 基金の状況

(単位:千円)

	基金名	区分	令和元年度末 現在高	令和2年度中 増減高	令和2年度末 現在高	
一 括 運 用 基 金	財政調整基金	—	2,918,895	1,020,556	3,939,451	
	国民健康保険基金	—	11,149	10,008	21,157	
	災害救助基金	—	122,161	△ 10,150	112,011	
	山中育英基金	—	0	2,000	2,000	
	国際交流基金	—	300,000	0	300,000	
	心をつなぐ福祉基金	—	43,669	730	44,399	
	日伯交流基金	—	7,561	2	7,563	
	花と緑のまちづくり基金	—	54,100	0	54,100	
	減債基金	—	34,352	100	34,452	
	市民文化振興基金	—	143,671	△ 2,706	140,965	
	公共施設整備基金	—	1,201,813	10,674	1,212,487	
	介護給付費準備基金	—	557,512	10,906	568,418	
	スポーツ振興基金	—	385,152	148	385,300	
	里地棚田保全整備事業基金	—	10,000	0	10,000	
	森林環境整備基金	—	10,416	10,529	20,945	
	計		5,800,451	1,052,797	6,853,248	
	小計	現金	5,100,451	952,797	6,053,248	
		有価証券	700,000	100,000	800,000	
一 括 運 用 外 基 金	山中育英基金	現金 有価証券 計	2,000 5,000 7,000	△ 2,000 0 △ 2,000	0 5,000 5,000	
	高額療養費貸付基金	現金 貸付金 計	3,000 0 3,000	0 0 0	3,000 0 3,000	
	国民健康保険出産費資金貸付基金	現金 貸付金 計	3,000 0 3,000	0 0 0	3,000 0 3,000	
		計	13,000	△ 2,000	11,000	
		小計	現金	8,000	△ 2,000	6,000
			有価証券	5,000	0	5,000
			貸付金	0	0	0
		合計	計	5,813,451	1,050,797	6,864,248
		現金	5,108,451	950,797	6,059,248	
		有価証券	705,000	100,000	805,000	
		貸付金	0	0	0	

VII 主要施策の成果説明

一 般 会 計

歳 出

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額
1 議会費		284,115	275,188
	1 議会費	284,115	275,188

1目 議会費

本会議及び各委員会等の開催状況

会議区分	招 集 年 月 日	会 期
定例会	令和2年 6月 2日	16日
定例会	令和2年 9月 2日	28日
定例会	令和2年11月30日	19日
定例会	令和3年 2月17日	35日

委 員 会 等 名	開催日数
総務常任委員会	5日
教育福祉常任委員会	5日
経済環境常任委員会	5日
議会運営委員会	11日
議会全員協議会	7日
予算審査特別委員会	4日
決算審査特別委員会	4日
防災対策基本条例等調査特別委員会	6日

○議会だより作成事業 【議会事務局】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
4,363	4,967	4,309

〈概要〉 開かれた議会づくりのため、各定例会終了の翌々月の1日に議会だよりを発行した。

〈成果〉 議案審議や一般質問の内容等の議会活動について、広く市民に周知することができた。

発行部数（1回当たり） 29,500部

・新聞折り込み 約25,000部

・郵送及び窓口配布 約4,500部

【1款 議会費 1項 議会費】

1目 議会費

○議会関係事務費 【議会事務局】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
10,741	10,621	9,778

〈概要〉 議会活動を円滑に行うための事務的経費で、本会議や委員会等の会議録の作成及び会議録検索システムの運用、議会中継等を行った。

タブレット端末及び会議システムを使用することにより、情報伝達の迅速化、情報の共有化、文書管理の効率化及び議会運営の円滑化を図った。

〈成果〉 会議録や議会中継を通して、行政等関係機関だけでなく、広く議会活動を周知することができた。

タブレット端末及び会議システムに関しては、会議資料のペーパーレス化、各種通知や資料等のデータ送付を通じて紙資料の削減が図られた。また、タブレットによる資料の閲覧やネット検索ができることなどは審査等を補助し、議会運営を円滑に行えた。

紙資料の削減や従来の通知の削減は、それに伴う資料作成や資料の配布、通知等作成に伴う押印や封入封緘作業の削減など大幅な事務の効率化につながった。

また、新型コロナウイルス感染防止対策として、タブレット端末を使用し、議会だより編集委員会等をWeb会議で行った。

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額
2	総務費	14,047,899	13,846,767
	1 総務管理費	13,199,067	13,061,718

1目 一般管理費

○障害者就労支援事業 【人事課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
16,128	17,336	14,064

〈概要〉 一般企業等で働く意欲があるものの、なかなか就労に結びつかない障害者をチャレンジドオフィスに任用し、円滑に就労できるよう社会人としての基本を身に付ける支援を行った。また、チャレンジドオフィス以外にも障害者を会計年度任用職員として任用し、障害者の雇用促進を図った。

〈成果〉 任用者数 障害者6人（事務補助5人、事務職1人） 支援者3人

○情報公開推進事業 【総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
487	592	480

〈概要〉 市の保有する情報の一層の公開を図り、市政に対する市民の理解と信頼を深め、市民の市政への参加を推進した。

最近の請求状況

年 度	件 数	内 訳				
令和2年度	41件	開示32件	部分開示8件	拒否0件	取下げ0件	その他1件
令和元年度	37件	開示11件	部分開示20件	拒否1件	取下げ0件	その他5件
平成30年度	43件	開示11件	部分開示23件	拒否0件	取下げ2件	その他7件

【2款 総務費 1項 総務管理費】

1目 一般管理費

○IT基盤整備運営事業 【DX推進課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
63,848	74,487	72,662

〈概要〉 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う働き方改革の一環として、職員が自宅から自席のパソコンを操作することができる、テレワークシステムの導入を行った。

併せて市内LANを構成する機器（管理用サーバ、ネットワーク機器、パソコン、プリンタ）の賃貸借を行った。

〈成果〉 テレワークシステムの導入により、延べ83名の職員がテレワークシステムを活用し、自宅から業務を行った。

○携帯メール配信管理運営事業 【政策推進課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
981	2,893	2,596

〈概要〉 市政に関する情報や防災情報などを登録者に配信した。

〈成果〉 メール配信への登録を推奨するとともに、メールとSNSの一括管理機能を導入し、登録者に対して、市政情報のお知らせに加え、新型コロナウイルス感染症に関する情報などの迅速な発信に努めた。

登録者 17,616人（令和3年3月31日現在）

○グループウェアシステム管理運営事業 【DX推進課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,833	2,897	2,833

〈概要〉 グループウェアシステムの管理・運用を行った。

〈成果〉 利便性の良いシステムを運用することで事務の効率化を図った。

【2款 総務費 1項 総務管理費】

1目 一般管理費

○ホームページ管理運営事業 【政策推進課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,765	1,708	1,703

〈概要〉 ホームページを活用し、行政情報やイベント情報などの幅広い情報を市内外へ発信した。

〈成果〉 特設サイトの充実や視覚効果を利用したトップページの配信などに加え、新型コロナウイルス感染症に関する情報を集約するなど、情報発信の強化とコンテンツの充実に努めた。

総アクセス数 7,065,250回

○地域情報通信基盤整備推進事業 【管財課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
24,470	27,133	24,338

〈概要〉 地域間の情報通信格差を是正し、生活環境の向上を図るために整備した光ファイバー網の維持管理を行った。

〈成果〉 光ファイバーを使った高速インターネットサービスやひかり電話が利用できるなど、市民の情報通信環境を良好に維持することができた。

年度末現在のインターネット等契約世帯数

令和2年度 7,099世帯 (+700世帯)

令和元年度 6,399世帯 (+627世帯)

平成30年度 5,772世帯 (+388世帯)

○市長交際費 【秘書課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,065	1,850	180

〈概要〉 市長が行政執行上、あるいは本市の利益のために市を代表し、外部との交渉・折衝・交際をするために要した経費

支出件数21件

内訳 (慶弔費12件 総会等2件 贈答6件 会費等1件)

【2款 総務費 1項 総務管理費】

1目 一般管理費

○職員研修費 【人事課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
5,414	7,363	2,159

〈概要〉 職員の資質の向上及び能力開発に資するため各種研修を実施した。

〈成果〉 新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた派遣研修が中止となったことや単独自主研修を中止したものの、職員の意欲増進や資質の向上及び能力開発に向けた、必要不可欠な研修は確保した。

区 分		課 程 (件)	受講者数 (人)
派 遣 研 修	千葉県自治研修センター	1	1
	君津郡市広域市町村圏事務組合	6	57
	自治大学校	1	1
	市町村職員中央研修所	3	3
	国土交通大学校	0	0
	その他	12	60
	小計	23	122
単 独 自 主 研 修	一般・専門研修	4	96
	行政課題研修	2	8
	小計	6	104
計		29	226

研修課程・人数比較

区 分	研 修 課 程 (件)			受 講 者 数 (人)		
	元年度	2年度	比較	元年度	2年度	比較
千葉県自治研修センター	18	1	△17	35	1	△34
君津郡市広域市町村圏事務組合	7	6	△1	88	57	△31
その他派遣研修	23	16	△7	57	64	7
単独自主研修	25	6	△19	911	104	△807
計	73	29	△44	1,091	226	△865

【2款 総務費 1項 総務管理費】

1目 一般管理費

○公衆無線LAN環境整備事業 【DX推進課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
851	1,280	1,274

〈概要〉 本庁舎1階や公民館に公衆無線LAN環境を整備し、施設利用者の利便性の向上を図った。

〈成果〉 令和元年12月から本庁舎及び8公民館（合計9施設）において、公衆無線LANを導入している。

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの接続数は、3,629件（R2平均302件/月）

※同一日に、同じ端末で何度か接続したとしても1件とカウント

2目 文書広報費

○広報きみつ発行費 【政策推進課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
18,339	19,159	18,907

〈概要〉 市政情報を広く市民に知らせ、市政運営に対して市民の理解と協力を得るために、広報きみつを毎月1日に発行し、各世帯に配布した。

〈成果〉 市からのお知らせに加え、市民が主役となるまちの情報や行政課題などを扱った特集を掲載したほか、新型コロナウイルス感染症に関する臨時号を発行するなど、市民にとって必要な情報がより伝わる広報誌面の制作に努めた。

発行部数（毎月） 約30,000部

・新聞折り込み用 約24,150部

・郵送及び窓口配布用 約5,850部

5目 財産管理費

○庁舎修繕事業 【管財課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
6,955	21,504	21,503

〈概要〉 令和元年房総半島台風で被災した本庁舎2階及び9階の軒裏天井やバス車庫シャッターの修繕を実施した。また、新型コロナウイルス感染症対策としてトイレ手洗の水栓交換を行った。

〈成果〉 庁舎及び機器等の機能の維持、回復を図ることができた。また、トイレ手洗いを自動水洗化し、接触機会を減らすことにより、新型コロナウイルス感染症対策を実施した。

・建築関係修繕	(11件)	7,639千円
・機械設備関係修繕	(11件)	8,002千円
・その他小破修繕	(14件)	5,862千円
合計		21,503千円

○庁舎総合管理・保守点検委託事業 【管財課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
55,754	58,084	57,241

〈概要〉 庁舎の総合管理及び各機器等の保守点検を実施した。

〈成果〉 庁舎内の衛生的環境の確保及び各機器の正常運転、作動の確保、経年劣化による故障の早期発見・修理ができた。

・庁舎総合管理	32,102千円	・エレベーター保守	3,221千円
・庁舎警備業務	15,444千円	・その他	5,318千円
・空調用自動制御機器保守	1,156千円		

合計 57,241千円

○庁用自動車購入事業 【管財課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,779	13,091	10,037

〈概要〉 軽貨物車2台、小型貨物車1台、小型乗用車（プラグインハイブリッド車）1台及び既存電気自動車用給電装置1台を購入した。

〈成果〉 古い車両を更新し、メンテナンス費用の削減と安全性の確保を図るとともに、災害時にも非常用電源として使用可能な車両等を購入し、停電対策を強化した。

【2款 総務費 1項 総務管理費】

5目 財産管理費

○市有財産処分事業 【管財課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,606	9,025	7,684

〈概要〉 遊休市有財産の不動産鑑定、測量委託等を行うとともに、効果的な売却を目的として売却業務包括民間委託により売却を行った。また、愛宕地先市有林の売却に伴い、地元愛宕神社へ立木(分収林)補償を行った。

〈成果〉 市内外から入札参加があり、一般競争入札により売却することができた。

- ・ 君津市市有財産売却業務包括民間委託 (販売促進) 750千円
- 〃 (売却支援) 1,148千円

・ 公募実績

物件名	入札参加者数 (者)	最低売却価格 (千円)	落札価格 (千円)
旧南子安職員・教職員住宅土地建物	4	15,213	32,801
人見土地	0	53,221	—
西粟倉土地	0	3,357	—

・ 事業提案型プロポーザル実績 (随意契約)

物件名	プロポーザル参加者数 (者)	契約金額 (千円)
愛宕土地	1	86,243

【2款 総務費 1項 総務管理費】

5目 財産管理費

○本庁舎改修事業 【管財課・公共施設マネジメント課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
36,414	47,469	46,417

〈概要〉 本庁舎で安全かつ安心して行政サービスが提供できるよう本庁舎の一部を改修した。

また、本庁舎再整備の方向性を検討するため、本庁舎再整備のあり方検討委員会を開催した。

〈成果〉 非常用回路改修及び自家発電機のバッテリー交換を行い災害時の停電対策を強化するとともに、新型コロナウイルス感染症対策として、トイレの自動照明改修及び便器の洋式化を行った。

また、本庁舎の再整備については、新型コロナウイルス感染症の影響により、繰り越していた4回目の検討委員会を令和2年6月16日に開催し、本庁舎再整備のあり方に係る検討結果をとりまとめた。

(事故繰越分) 本庁舎再整備のあり方検討委員会等	16,079千円
(現 年 分) 本庁舎非常用回路改修	4,400千円
本庁舎自家発電機バッテリー交換修繕	5,973千円
本庁舎トイレ照明改修工事	12,298千円
本庁舎トイレ洋式化改修工事	7,667千円

【2款 総務費 1項 総務管理費】

6目 企画費

○総合交通体系整備促進事業 【企画課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
897	1,217	747

〈概要〉 市民の生活に必要な公共交通のため、運行事業者などの交通に係る各種団体等との協議や連絡調整を行うとともに、国、JR及びバス会社に対する陳情・要望活動を行った。

〈成果〉 運行上の安全管理の観点から、コミュニティバスの運行形態を一般乗合旅客自動車運送事業（緑ナンバー）に変更したほか、千葉県JR線複線化等促進期成同盟を通して鉄道運行本数の維持などを要望した。

○コミュニティバス運行事業 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
111,495	119,986	119,275

〈概要〉 交通空白区域の解消のため、沿線地区における市民の交通手段として、コミュニティバスを運行した。

〈成果〉 交通弱者等の移動手段の確保を図り、買い物や通勤、通学、通院等、市民生活の交通利便性の向上に努めた。

・小糸川循環線バス運行事業 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
53,915	58,209	58,130

〈年度実績〉 運行便数 12,396便 利用人数 138,018人
1便当たり 11.1人 (令和元年度 15.7人)

・中島・豊英線バス運行事業 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
38,300	41,869	41,646

〈年度実績〉 運行便数 8,016便 利用人数 17,733人
1便当たり 2.2人 (令和元年度 2.6人)

【2款 総務費 1項 総務管理費】

6目 企画費

・人見・大和田・神門線バス運行事業 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
19,280	19,908	19,499

〈年度実績〉 運行便数 4,256便 利用人数 28,810人
1便当たり 6.8人 (令和元年度 8.4人)

○デマンド交通事業 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
34,874	39,208	39,206

〈概要〉 交通空白区域となっている小櫃・上総地区を運行区域として、デマンド型乗合タクシーを運行した。

〈成果〉 交通空白区域の解消、交通弱者等の移動手段の確保を図り、買い物や通勤、通学、通院等、市民生活の交通利便性の向上に努めた。

利用実績 令和2年度 12,255人 (1日当たり 33.6人)
令和元年度 14,358人 (1日当たり 39.3人)

○不採算路線維持費補助金 【企画課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
43,272	54,059	44,691

〈概要〉 運行補助を行うことで、生活バス路線の維持を図り、市民の交通手段の確保に努めた。

〈成果〉 生活バス路線の維持・確保により、買い物や通勤、通学、通院等、市民生活における交通利便性の維持に努めた。

また、君津市内循環線の負担割合を見直し、2,528千円を削減した。

補助実績 令和2年度 9路線
令和元年度 9路線

6目 企画費

○国際交流推進事業 【政策推進課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,125	2,307	1,881

〈概要〉 国際化への対応や国際理解を深めるため、国際交流活動の推進母体である君津市国際交流協会に対する補助金の交付等を行った。

〈成果〉 君津市国際交流協会による外国語教室、日本語教室の開催、日本文化、外国文化の紹介、オンライン交流や会報の発行などを通して、国際交流を推進することができた。

○協働推進事業 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
4,998	6,002	2,543

・市民協働のまちづくり推進事業 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
629	597	60

〈概要〉 市民活動団体等の活動を促進するため、主に市内で活動をしている市民活動団体を対象に市民活動団体連携会議（基調講演及び意見交換会）を実施した。

〈成果〉 市民活動団体連携会議を実施し、参加者の9割以上から市民協働への理解が深まったとの回答が得られており、市民協働の意識の醸成が図られた。

・市民活動団体支援事業 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
4,369	5,405	2,483

〈概要〉 市民が主役のまちづくりを推進するため、地域の活性化や特色あるまちづくりの実現に役立つ公益的な事業を自主的に行う市民活動団体を支援するため、補助金を交付した。

〈成果〉 市内各地で事業が実施され、地域の活性化や地域文化の創造、地域資源の発掘に寄与するとともに、地域間、世代間の交流の場となった。

補助金交付 14団体14事業（うち2事業中止）

6目 企画費

○定住促進事業 【企画課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
528	967	280

〈概要〉 定住促進を図るため、各種のオンラインによる移住促進イベントへの参加などにより本市の魅力発信等に取り組んだ。

〈成果〉 移住促進イベント等を通じて、移住相談などを実施し、本市の認知度向上等を図り、定住促進に努めた。

- ・移住相談件数 26件

○君津イメージアップ推進事業 【政策推進課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
3,090	1,277	699

〈概要〉 マスコットキャラクター「きみぴょん」を活用し、本市の知名度とふるさと意識の向上を目的に、キャラクターの周知、PRを行い、本市のイメージアップに努めた。

〈成果〉 新型コロナウイルス感染症の影響により市内外のイベント出演が減少したが、SNSで動画の配信を行うなど様々な活動を行い、本市のイメージアップに努めた。

- ・派遣（出演）回数 17回

【2款 総務費 1項 総務管理費】

6目 企画費

○かずさ水道広域連合企業団出資金等 【企画課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
212,528	413,792	405,037

〈概要〉 かずさ水道広域連合企業団に出資金を支出し、経営基盤の強化や水道事業の自己資本の充実を図った。

〈成果〉 老朽管の更新等により、水道用水の安定給水を図った。また、非常用自家発電設備を法木第1・第2増圧ポンプ場に設置し、災害時の電源を確保した。

・負担金 1,418千円 ・出資金 403,619千円

○君津郡市広域市町村圏事務組合負担金 【企画課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
134,261	122,715	121,170

〈概要〉 木更津市、君津市、富津市及び袖ヶ浦市の4市で構成する一部事務組合において次の事務について共同処理を行った。

[内容] 広域事務の調整及び推進、児童発達支援センターの運営、救急急病医療事業、職員共同研修、社会福祉法人の認可・指導監査等

〈成果〉 広域処理により事務の合理化及び効率化を図った。

○JR久留里線活性化協議会負担金 【企画課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	437	437

〈概要〉 JR久留里線の沿線の市、県及びJR東日本千葉支社と相互に連携し、利用促進に関する取組を推進することにより、同路線の発展と沿線地域の振興を図ることを目的に、「JR久留里線活性化協議会」を設立した。

設立年月日 令和2年4月15日

〈成果〉 PR動画を作成しJR東日本千葉支社管内等で配信を行ったほか、イベント列車運行時のおもてなしを実施するなど、JR久留里線の利用促進に取り組むとともに、沿線地域の活性化に向けた交流人口の増加に努めた。

【2款 総務費 1項 総務管理費】

6目 企画費

○市民対話推進事業 【公共施設マネジメント課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
673	4,762	4,044

〈概要〉 市民との対話を通じ、公共施設のあり方の検討を行うため、「君津まちづくりプロジェクト」を実施した。

プロジェクトメンバー（無作為抽出による応募者） 104人

オブザーバー（清和地区公共施設ワークショップ参加者から応募者） 13人

住民協議会（報告会） 令和2年6月20日

〈成果・進捗〉

新型コロナウイルス感染症の影響により、延期となった2回目の住民協議会を実施した。この事業でいただいた意見を参考に、公共施設の再配置に向けた方針を定めるとともに、各公共施設の今後の方向性を示す個別施設計画を策定した。

（繰越明許分） 君津まちづくりプロジェクト支援 3,979千円

（現年分） 旧秋元小学校複合化に係る事務経費 65千円

○国土強靱化地域計画策定事業 【企画課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	9,002	7,863

〈概要〉 令和元年房総半島台風を始めとした一連の災害などを教訓として、災害に強いまちづくりを目指すための防災減災に向けた指針となる計画を策定した。

〈成果〉 あらゆる大規模自然災害を見据えて、事前に取り組むべき施策を取りまとめ、地域防災力の向上を図るための国土強靱化地域計画を策定した。

（繰越明許分） 国土強靱化地域計画策定業務委託 7,348千円

（現年分） 国土強靱化アドバイザー業務委託 361千円

有識者会議報償金等 154千円

【2款 総務費 1項 総務管理費】

6目 企画費

○（仮称）未来につなぐ総合計画策定事業 【企画課】

（単位：千円）

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	7,440	6,703

〈概要〉 人口減少など、本市を取り巻く環境の変化に対応するため、新たな総合計画の策定に取り組んだ。

〈成果〉 市民参画の取組としての「アンケート」、「きみつ市民会議」、各分野に関係する団体等に対する「団体ヒアリング」及び中高生を対象にした「きみつ未来ワークショップ」を実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、タウンミーティングの一部等を次年度に繰り越した。

（現 年 分）（仮称）未来につなぐ君津市総合計画策定支援業務委託等 6,703千円
 ・令和3年度へ繰越明許 715千円

○総合戦略推進事業 【企画課】

（単位：千円）

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
3,453	342	140

〈概要〉 第2期君津市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略の改訂等に当たり、君津市「まち・ひと・しごと創生」有識者会議を開催した。

〈成果〉 各分野の専門的な知見から、これまでの取組の評価や助言等を頂くとともに、総合戦略を改訂した。

【2款 総務費 1項 総務管理費】

6目 企画費

○経営改革推進事業 【総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
131	242	18

〈概要〉 令和2年度から令和5年度までを取組期間とする第2次君津市経営改革実施計画に基づき、各取組項目の令和2年度の目標達成に向けて取り組んだ。

第1次君津市経営改革実施計画進捗状況及び第2次君津市経営改革実施計画の見直しについて、経営改革推進懇談会委員に対し、書面にて意見を求めた。

〈成果〉 第2次君津市経営改革実施計画の取組による歳出削減額及び歳入増加額

- ・事務事業の廃止・刷新・改良（花木センター、日本一のミツバツツジの里づくり）
3,237千円
- ・未利用財産の売却等
117,806千円
- ・公共施設等の照明のLED化推進（道路照明）
1,642千円
- ・公共施設等の照明のLED化推進（公園照明）
1,312千円

〈行革等に伴う見直し〉

- ・令和2年度財政効果実績額
123,997千円

○業務環境改善事業 【DX推進課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
876	3,678	3,259

〈概要〉 ○庁内会議等でタブレット端末を活用した。

○ふるさと納税におけるワンストップ特例申請書入力業務、軽自動車税システム入力業務、小児予防接種登録業務の3業務についてRPAを試験的に導入した。

○会議録作成支援システムを試験導入した。

〈成果〉 タブレットの活用により庁内会議における会議資料のペーパーレス化、RPAの導入によりパソコンにおける定型業務の自動化、会議録作成支援システムによる会議録の作成により業務時間の短縮につながった。

【2款 総務費 1項 総務管理費】

6目 企画費

○地方公会計関係費 【財政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,269	2,170	2,132

〈概要〉 統一的な基準による財務書類の作成業務を委託したほか、職員向けに財政学講座を開催し、本市の財政状況や公共施設等の現状について研修を実施した。

〈成果〉 統一的な基準による財務書類を活用し、「君津市の家計簿」の作成及び公表を行った。また、職員向けの財政学講座を実施したことにより、本市の財政状況等をより深く理解してもらうことができた。

○ファシリティマネジメント推進事業 【公共施設マネジメント課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,965	2,020	1,982

〈概要〉 施設カルテ等の情報を管理している公共施設マネジメントシステムの運用保守に係る経費

〈成果〉 公共施設マネジメントシステムで管理しているデータを活用し、施設更新に係る費用等の試算を行い、個別施設計画を策定した。

○地方創生広域連携事業 【企画課・経済振興課・農政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
12,505	9,153	8,514

〈概要〉 地域資源を活かした取組を推進し、本市の観光資源を活用して、関係人口の増加に努めた。

〈成果〉 サイクルツーリズムの推進として、モニターイベントを実施したほか、ジビエの推進に資する取組として、ジビエ調理講習会などを実施し、地域の活性化を図った。

【2款 総務費 1項 総務管理費】

6目 企画費

○高速バス通学支援事業 【企画課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	1,412	823

〈概要〉 高速バスで通学する学生の定期代を一部補助し、大学等の進学時の転出抑制に努めた。

〈成果〉 市内の高等学校などでの制度周知に努め、若い世代の転出抑制に取り組むとともに、利用者に市の行事や地域活動への参加を促すことで、ふるさと意識の高揚に努めた。

・利用登録者数 10人

○旧秋元小学校複合化整備事業 【清和地区拠点施設整備推進室】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	3,780	2,750

〈概要〉 旧秋元小学校施設に行政機能等を複合し、公共施設の再配置における先行モデルとして施設整備を進めるため、基本構想及び基本計画の策定業務委託を実施した。

〈成果・進捗〉

令和3年度に債務負担行為の設定を行い、基本構想及び基本計画の策定に向けて着手した。(令和2年度実績は、契約に係る前金払分)

また、令和3年3月に基本構想についての地域説明会を実施した。なお、基本計画は令和3年5月に策定が完了した。

【2款 総務費 1項 総務管理費】

7目 諸費

○表彰関係費 【秘書課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
187	229	174

〈概要〉 君津市表彰規則に基づき、市政、社会、経済、文化の振興発展に寄与し、功績顕著である者を表彰し、功績を讃えた。

市政などの振興発展に寄与 6人・2団体
市の職員として25年以上勤務 33人

○東日本大震災避難者受入事業 【危機管理課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,606	949	879

〈概要〉 東日本大震災により住居を確保できない世帯や福島原子力発電所事故のため避難してきた方に対して、民間借上げ住宅の家賃等の助成を行った。

〈成果〉 民間賃貸住宅を応急仮設住宅として借り上げて提供し、避難者への支援をすることができた。

避難者受入状況	令和2年3月31日		令和3年3月31日	
	世帯数	人数	世帯数	人数
民間借上げ住宅	3	4	1	1

【2款 総務費 1項 総務管理費】

8目 電子計算費

○基幹業務システム管理運営費 【DX推進課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
136,387	161,595	156,992

〈概要〉 住民情報や税情報等を取り扱う基幹業務システムの運用、保守、帳票印刷など、包括委託業務を行った。その他、マイナンバーカード発行に利用する端末を追加した。

〈成果〉 住民情報等を厳重なセキュリティと大規模災害にも耐え得るデータセンターにて管理することにより、情報管理における安全性を確保するとともに、システムを標準パッケージで運用することにより、事務の効率化、経費節減等を図ることができた。

○社会保障・税番号制度システム整備関係事業 【DX推進課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
14,825	16,275	14,241

〈概要〉 団体内統合宛名番号連携サーバの更新を行うとともに、マイナンバー制度改正及びデータ標準レイアウト改版に伴うシステム改修、窓口端末等の保守運用管理を行った。

〈成果〉 各行政機関、地方公共団体との情報連携のためのシステム整備を進めることができた。

【2款 総務費 1項 総務管理費】

9目 自治振興費

○自治会集会施設整備事業 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
9, 3 2 0	4, 0 0 2	3, 5 1 0

〈概要〉 自治会が行う集会施設整備事業に要する費用の一部に対し補助金を交付した。

- ・新築及び増改築 経費の2分の1以内の額（600万円を限度）
- ・修繕 経費の3分の1以内の額（50万円を限度）
- ・健康増進（健康増進事業を行うための経費を含むとき。）

全額 (100万円を限度)

〈成果〉 自治会集会施設の修繕等に対する自治会負担の軽減を図り、自治会運営の円滑化とコミュニティ活動の推進に寄与した。令和元年房総半島台風等の被害による修繕について、業者の手配の都合上、令和元年度内に着工できなかった4件については、事業の繰越しを行い、実施した。

(繰越明許分) 1, 160千円 4件

(単位：千円)

自治会名	種別	内 容	補助金額
日渡根自治会	修繕	屋根瓦・外壁（令和元年房総半島台風等被害）	310
西原一自治会	修繕	屋根瓦・外壁・ガラス（令和元年房総半島台風等被害）	210
賀恵渚自治会	修繕	屋根材（令和元年房総半島台風等被害）	500
大井戸自治会	修繕	軒裏、雨樋（令和元年房総半島台風等被害）	140

(現 年 分) 2, 350千円 8件

(単位：千円)

自治会名	種別	内 容	補助金額
坂田自治会	修繕	トイレの洋式化	500
小山野自治会	修繕	和室床の洋式化・間仕切り	150
中島南部自治会	修繕	エアコン	170
戸崎三自治会	修繕	テラス	180
向郷第二自治会	修繕	床材下地・骨組	270
練木自治会	修繕	屋根、軒天、軒壁、雨樋、天井、戸袋、畳（令和元年房総半島台風等被害）	500
清和市場自治会	修繕	屋根瓦（令和元年房総半島台風等被害）	100
笹自治会	修繕	屋根棟（令和元年房総半島台風等被害）	480

【2款 総務費 1項 総務管理費】

9目 自治振興費

○コミュニティセンター管理運営事業 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
33,070	30,492	27,242

〈概要〉 5か所のコミュニティセンターの管理運営を行った。

〈成果〉 指定管理者制度により、地域コミュニティの中核施設として地域住民の交流、連帯感を高めるための施設として管理運営を行った。

利用者数	・神門コミュニティセンター	1,946人
	・貞元コミュニティセンター	6,944人
	・松丘コミュニティセンター	3,037人
	・南子安コミュニティセンター	2,996人
	・亀山コミュニティセンター	2,191人

○市民活動支援事業 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,408	1,403	1,358

〈概要〉 君津市市民活動災害補償制度に基づき、市民活動に参加した者がその市民活動中に傷害等を負い、又は第三者に対し損害賠償責任が生じた場合に、市が加入した保険により、当該傷害等を補償した。

〈成果〉 市民活動参加者を対象とする保険に市が加入することにより、市民や市民団体の負担の軽減を図り、市民活動の活性化に寄与することができた。

保険金請求状況 (うち支払件数：金額)

全体件数 2件 (2件： 72千円)

・損害賠償 0件 (0件： 0千円)

・傷害補償 2件 (2件： 72千円)

(内訳)

地域社会活動 2件 (2件： 72千円)

社会教育活動 0件 (0件： 0千円)

【2款 総務費 1項 総務管理費】

9目 自治振興費

○地域コミュニティ施設等再建支援事業 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	6,910	5,600

〈概要〉 令和元年房総半島台風等により被災した地域におけるコミュニティ活動を維持・促進するため、自治会が行う地域コミュニティ施設等の復旧に要する経費の一部を補助した。

- ・建替分 経費の3分の1以内の額（500万円を限度）
- ・修繕分 経費の3分の1以内の額（250万円を限度）

〈成果〉 令和元年房総半島台風等により被災したコミュニティ施設等34件の修繕等に対する県補助金を活用することで自治会の負担軽減を図り、自治会運営の円滑化とコミュニティ活動の推進に寄与した。

(単位：千円)

自治会名	施設	種別	内容	補助金額
大和田自治会	倉庫	修繕	シャッター	120
小山野自治会	集会所	修繕	屋根瓦、テラスビニールトタン、雨樋	10
常代自治会	集会所	修繕	屋根材（トタン）	20
尾車自治会	集会所	修繕	屋根瓦	20
馬登自治会	倉庫	修繕	シャッター	90
八幡自治会	集会所	修繕	屋根の天窗	10
中島中部自治会	集会所	修繕	屋根瓦、窓	120
泉東部自治会	集会所	修繕	屋根瓦、軒下日除け波トタン	210
上自治会	集会所	修繕	屋根瓦	60
練木自治会	集会所	修繕	屋根消失、天井腐食、軒壁、軒天、戸袋、床、雨樋	670
大井戸自治会	集会所	修繕	軒裏、雨樋	140
大井戸自治会	倉庫	修繕	シャッター破損、壁	110
大野台自治会	集会所	修繕	雨戸戸袋、ビニールトタン（庇）	110
塚原自治会	集会所	修繕	テラス波板	10
法木自治会	集会所	修繕	霧除け（庇）	50
西栗倉自治会	集会所	修繕	屋根	220
清和市場自治会	集会所	修繕	屋根瓦	100
日渡根自治会	集会所	修繕	屋根瓦	260
東栗倉自治会	集会所	修繕	屋根瓦、雨樋	80
西原一自治会	集会所	修繕	屋根瓦、外壁、窓	190
賀恵渕自治会	集会所	修繕	屋根瓦	620
岩出自治会	集会所	修繕	軒天	60

【2款 総務費 1項 総務管理費】

9目 自治振興費

～表つづき～

(単位：千円)

自治会名	施設	種別	内容	補助金額
下町自治会	倉庫	修繕	屋根、外壁、シャッター	800
久留里自治会	集会所	修繕	屋根棟部分	20
安住自治会	集会所	修繕	屋根、雨樋、窓格子、壁	30
安住自治会	倉庫	修繕	雨樋、屋根	10
久留里大谷自治会	集会所	修繕	屋根、窓	30
愛宕自治会	集会所	修繕	雨樋	10
大坂自治会	集会所	修繕	雨樋	20
大戸見自治会	集会所	修繕	屋根、壁	100
六区東部自治会	集会所	修繕	屋根、壁	610
黄和田畑自治会	集会所	修繕	屋根、雨戸、窓	130
笹自治会	集会所	修繕	屋根の棟	480
香木原自治会	集会所	修繕	屋根	80

【2款 総務費 1項 総務管理費】

10目 交通防犯対策費

○防犯協会補助金 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,910	2,040	2,040

〈概要〉 犯罪の未然防止を目的として、各地域に設置された支部による防犯パトロールや広報・啓発活動、防犯講演会の開催、新入学児童への防犯ブザーの配布など防犯協会の多様な活動を支援するため、補助金を交付した。

〈成果〉 地域住民及び関係団体等との相互協力により、犯罪の予防及び少年の非行防止活動が実施された。また、新入学児童への防犯ブザーの配布により、児童に対する安全対策の充実が図られた。

○LED防犯灯管理事業 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
27,048	30,861	28,086

〈概要〉 LED防犯灯の電気料や賃貸借料の支払いのほか、賃貸借物件以外の既設防犯灯の修繕や新規設置工事を行った。

〈成果〉 夜間における歩行者の安全確保と犯罪の防止を図った。

- ・防犯灯管理灯数 9,121灯
- ・新規設置灯数 48灯
- ・補修灯数 93灯

【2款 総務費 1項 総務管理費】

10目 交通防犯対策費

○防犯推進事業 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
5,053	5,462	4,978

〈概要〉 犯罪防止対策として、青色回転灯付き防犯パトロール車を使用した防犯巡視員による防犯パトロールの実施や、防犯カメラの設置・運用を行った。また、自治会等の自主防犯組織の活性化のため、防犯用品を支給した。

〈成果〉 専任の防犯巡視員や自治会等を単位とした自主防犯パトロール隊による防犯パトロールの実施により、地域の安全を確保した。また、防犯カメラの設置・運用により、路上犯罪の抑止を図った。

- ・専任の防犯巡視員によるパトロール日数 243日
- ・防犯カメラ新規設置台数 3台（総設置台数 17台）
- ・自主防犯組織への防犯用品の支給団体 25団体

○防犯ボックス運営事業 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
8,965	9,445	8,823

〈概要〉 地域の防犯力向上を目的として、防犯活動の拠点となる防犯ボックスを運営し、地域住民・市・警察・県が一体となり、効果的な防犯活動を推進した。

〈成果〉 防犯ボックス勤務員（セーフティアドバイザー）による見守り活動や自主防犯団体との合同パトロールなどの実施により、地域の安全を確保した。

- ・見守り活動 1,655回実施
- ・自主防犯団体との合同パトロール 8団体と計59回実施

【2款 総務費 1項 総務管理費】

1 1 目 特別定額給付金事業費

○特別定額給付金給付事業 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
—	8,396,180	8,396,111

〈概要〉 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う緊急経済対策として、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行うため、特別定額給付金を給付した。

〈成果〉 いち早く市民に特別定額給付金を届けるため、県内市としては最も早い5月7日に申請書を発送し、5月末時点で県内市町村の平均給付率が6.1%である中、本市においては、約88%の方へ給付を完了するなど早期の給付に取り組み、最終的には全世帯の99.5%から申請をいただき、給付を完了した。

1 申請状況

対象世帯数	39,200世帯
申請世帯数	39,021世帯
(内訳) オンライン	851世帯
郵送等	38,170世帯
申請率	99.5%

2 給付状況

(1) 世帯数

対象世帯数	39,200世帯
給付世帯数	39,021世帯
給付率	99.5%

(2) 人数

対象人数	83,602人
給付人数	83,406人
給付率	99.8%

(3) 給付金額

83億4,060万円

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額
2 総務費	2 徴税費	416,309	390,853

1目 税務総務費

○特別滞納整理事業 【納税課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
12,302	15,124	14,740

〈概要〉 滞納整理事務を効果的かつ効率的に行うための滞納管理システムの維持管理及びその他の経費

〈成果〉 滞納管理システムの活用により、収納情報、課税情報、交渉履歴、処分履歴等をデータベース化し、文書催告、納税相談、差押え及び交付要求など滞納整理を適切に実施した。

- ・休日（毎月第3日曜日）、夜間（毎月第2水曜日）納税相談窓口の開設

内訳 休日 339人（169件、4,617千円納付）

夜間 101人（51件、1,209千円納付）

- ・来庁現金納付 3,428人（休日夜間納税相談窓口含む。）
- ・来庁納税相談 7,457人（休日夜間納税相談窓口含む。）
- ・電話相談 9,232人
- ・分納誓約 2,024人

- ・差押及び換価

(単位：件・千円)

区 分	差 押		換 価	
	件数	金額	件数	金額
預 金	283	40,284	272	30,333
給 与	123	87,313	795	37,284
生命保険	40	5,948	31	4,630
国税還付金	43	1,547	22	977
年 金	21	18,202	85	5,308
不 動 産	1	8,044	3 (インターネット公売)	1,502
そ の 他	27	7,902	182	4,890
合 計	538	169,240	1,390	84,924

(給与及び年金の換価の件数は、1件の差押えに対し複数回にわたり換価がなされたものについては、それぞれ1件として計上)

- ・交付要求 43件 19,042千円 (配当 13件 1,354千円)

※人数は延べ人数で、人数、件数及び金額には、国民健康保険税分を含む。

【2款 総務費 2項 徴税費】

2目 賦課徴収費

○市税収納事務費 【納税課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
21,536	24,930	18,841

〈概要〉 市税の徴収及び収納管理に関する事務経費

〈成果〉 口座振替、コンビニエンスストア納付など市税の収納を適切に管理するとともに、滞納者には督促状を発送した。

また、令和2年1月1日からLINE Pay、PayPayによるスマホ決済を導入し納付方法の拡充を図った。

- ・督促状発送件数 23,006件
- ・口座振替件数 79,982件 (口座振替率 39.33%)
- ・コンビニ納付件数 69,166件 (納付率 27.22%)
- ・クレジットカード納付件数 1,319件 (納付率 3.53%) ※軽自動車税のみ
- ・ペイジー口座振替申込件数 269件
- ・スマホ決済件数 271件 (令和2年1月1日開始)

○標準宅地等鑑定評価業務委託事業 【課税課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
44,729	1,694	1,459

〈概要〉 令和3年度固定資産税評価替えに向け、令和元年度中に価格調査基準日(令和2年1月1日)における標準宅地794地点の不動産鑑定を行った。令和2年度は、価格調査基準日から半年間の地価の状況を把握するための時点修正に係る標準宅地鑑定評価業務を委託した。

鑑定地点 標準宅地134地点

鑑定時点 令和2年7月1日

業務委託期間 令和2年6月26日～令和2年8月14日

〈成果〉 令和3年度固定資産税の課税に当たり、地価の状況を把握し適正な評価を行うことができた。

【2款 総務費 2項 徴税費】

2目 賦課徴収費

○土地評価業務関係費 【課税課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
8,443	25,668	25,647

〈概要〉 ①土地評価業務委託

令和3年度固定資産税評価替えに向けた第3年度の業務として、固定資産税路線価の算出等の土地評価業務を委託した。

②地理情報システム機器等の賃貸借等

土地、家屋、航空写真等の各種情報を一体的に管理する地理情報システムの運用に係る機器及びソフトウェアを賃貸借するとともに、保守業務を委託した。

③航空写真撮影等業務委託

土地、家屋の現況把握の資料として、航空写真撮影及び画像データの作成等を実施した。

〈成果〉 令和3年度固定資産税の適正な課税と評価替え事務の効率化を図った。

○地方税電子化促進事業 【課税課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,502	2,768	2,767

〈概要〉 ①地方税共同機構負担金

各自治体の人口等に応じて積算した、電子申告や国税連携業務等に係る費用を支払った。

②地方税ポータルシステム（エルタックス）対応ASPサービス調達業務

エルタックスを利用した地方税に関する手続きを電子的に行うため、地方税共同機構が認定する認定委託先事業者が提供する共同利用型のASPサービスを調達した。

〈成果〉 給与支払報告書や申告書等の受付に加え、特別徴収税額決定通知の発送等を電子的に行うことで、事務の効率化及び利用者の利便性向上に努めた。

(単位：千円)

款	項	予算現額	支出済額
2 総務費	3 戸籍住民基本台帳費	281,261	252,649

1目 戸籍住民基本台帳費

○住民基本台帳事務関係事業 【市民課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
15,081	73,475	57,090

〈概要〉 住民に関する記録の適正な管理を図り、正確かつ統一的に事務処理を行い、住民の利便の増進を図るとともに、社会保障・税番号制度によるマイナンバーカードの交付を行った。

〈成果〉 住民基本台帳人口は82,748人となり、令和元年度末と比較し人口で751人減少、世帯では330世帯の増加であった。

(1) 住民基本台帳人口及び世帯数

(令和3年3月31日現在)

	日本人	外国人	合計
男性	41,816	437	42,253
女性	39,882	613	40,495
計	81,698	1,050	82,748

世帯数			
日本人	外国人	複数国籍	計
38,319	583	355	39,257

【2款 総務費 3項 戸籍住民基本台帳費】

1目 戸籍住民基本台帳費

(2) 住民基本台帳人口構成 (年齢階層別人口)

(令和3年3月31日現在)

年 齢	日本人(男)	外国人(男)	日本人(女)	外国人(女)	計(人)	構成比率(%)
0～ 4	1, 213	8	1, 236	6	2, 463	2. 98%
5～ 9	1, 545	10	1, 349	4	2, 908	3. 51%
10～14	1, 610	10	1, 498	6	3, 124	3. 78%
15～19	2, 025	55	1, 643	51	3, 774	4. 56%
20～24	2, 321	80	1, 695	54	4, 150	5. 01%
25～29	2, 370	95	1, 627	57	4, 149	5. 01%
30～34	2, 336	52	1, 766	22	4, 176	5. 05%
35～39	2, 304	30	1, 934	40	4, 308	5. 21%
40～44	2, 561	13	2, 141	69	4, 784	5. 78%
45～49	3, 170	19	2, 755	79	6, 023	7. 28%
50～54	2, 903	23	2, 628	86	5, 640	6. 82%
55～59	2, 666	16	2, 493	66	5, 241	6. 33%
60～64	2, 848	3	2, 529	36	5, 416	6. 54%
65～69	3, 171	7	3, 060	20	6, 258	7. 56%
70～74	3, 361	9	3, 560	4	6, 934	8. 38%
75～79	2, 393	2	2, 818	6	5, 219	6. 31%
80～	3, 019	5	5, 150	7	8, 181	9. 89%

【2款 総務費 3項 戸籍住民基本台帳費】

1目 戸籍住民基本台帳費

(3) 住民基本台帳関係事務処理件数

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

種別(A)	人数	種別(B)	人数	種別	件数
転入者	2,820	転出者	2,959	転居	1,385
出生者	457	死亡者	1,027	世帯変更	828
その他	31	その他	73	職権記載	1
計(A)	3,308	計(B)	4,059	経過通知	89
増減数(A-B)			△751	計	2,303
戸籍の附票(人数)			記載		5,683
			消除		2,060

※戸籍の附票の記載件数については、県への統計資料に合わせ、住所を記載した件数のみを計上

(4) 印鑑登録関係件数

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

登録	廃止	抹消	年度末登録者数
2,904	910	2,295	57,189

(5) 国籍別外国人住民数

(令和3年3月31日現在)

国籍名	人数	国籍名	人数	国籍名	人数
中国・台湾	234	ベトナム	202	インドネシア	33
フィリピン	224	ブラジル	58	モンゴル	20
韓国・朝鮮	127	タイ	26	その他	126
				合計	1,050

(6) 個人番号カード交付件数 (令和3年3月31日現在)

社会保障・税番号制度施行に伴い、市民からの申請に基づき個人番号カードを交付した。

なお、令和3年2月以降に個人番号カードを申請した方から、インターネットでのカード受取予約を開始し、市民サービスの向上を図った。

個人番号カード交付枚数 23,115枚

【2款 総務費 3項 戸籍住民基本台帳費】

1目 戸籍住民基本台帳費

○郵便局における戸籍・住民票等交付事業 【市民課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,519	2,338	2,240

〈概要〉 市内郵便局と事務の提携により、住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍謄抄本等を交付した。

〈成果〉 358通の利用があり、市民の利便性の向上を図ることができた。

郵便局における住民票の写し、戸籍謄抄本等取扱通数及び手数料

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

区分	交付通数	金額(円)
住民票の写し謄本	33	9,900
住民票の写し抄本	108	32,400
戸籍の附票の写し	0	0
印鑑登録証明書	176	52,800
納税証明書	0	0
戸籍謄本	27	12,150
戸籍抄本	14	6,300
計	358	113,550

○戸籍事務関係事業 【市民課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
13,129	14,551	14,459

〈概要〉 戸籍事務の電算処理により、正確かつ迅速な処理を図った。

〈成果〉 戸籍総合システムを運用し、正確かつ効率的な戸籍記載事務、迅速な戸籍証明書の検索及び発行を行うことができた。

また、令和元年度と比較し、本籍数は80戸籍減、本籍人口数は597人減となった。

(1) 本籍数及び本籍人口

(令和3年3月31日現在)

本籍数	35,952戸籍	本籍人口	85,229人
-----	----------	------	---------

【2款 総務費 3項 戸籍住民基本台帳費】

1目 戸籍住民基本台帳費

(2) 戸籍届出書の取扱件数

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

事件の種類	件数	事件の種類	件数
出生	696	入籍	184
国籍留保	3	分籍	30
認知	12	帰化	4
養子縁組	102	氏の変更	12
養子離縁	28	転籍	392
婚姻	796	戸籍訂正	46
離婚	221	その他	31
離婚の際に称していた氏を称する届	86	不受理申出	19
死亡	1,209		
計			3,871

・各種証明書取扱通数及び手数料

(1) 住民票の写し等取扱通数及び手数料

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

区分	交付通数		金額 (円)
	有料	無料	
住民票の写し謄本	17,934	1,491	5,235,500
住民票の写し抄本	13,398	451	4,019,400
住民票の写し除票	2,308	545	692,400
住民票記載事項証明書	910	9	273,000
住所証明(軽自動車用)	0	6,618	0
戸籍の附票の写し	1,454	2,965	433,500
閲覧	8	70	2,400
印鑑登録証明書	24,068	36	7,114,100
身分証明書	772	1	231,600
その他証明書	143	65	42,900
不在証明書	74	3	22,200
臨時運行許可書	750	0	562,500
広域交付住民票	51	0	15,300
計	61,870	12,254	18,644,800

※コンビニ交付サービスによる住民票の写しについては住民票の写し謄本に含む。

【2款 総務費 3項 戸籍住民基本台帳費】

1目 戸籍住民基本台帳費

(2) 通知カード等再交付件数及び手数料

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

区 分	交 付 件 数		金 額 (円)
	有 料	無 料	
通知カード再交付	9	6	4,500
個人番号カード再交付	107	251	85,600
計	116	257	90,100

(3) 戸籍証明書等交付通数及び手数料

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

区 分	交 付 通 数		金 額 (円)
	有 料	無 料	
戸 籍 謄 本	10,281	3,028	4,609,250
戸 籍 抄 本	2,104	159	938,900
除 籍 謄 本	3,503	1,931	2,627,250
除 籍 抄 本	78	20	58,500
改製原戸籍謄本	4,079	3,264	3,059,250
改製原戸籍抄本	24	9	18,000
受 理 証 明 書	256	3	95,900
届 出 書 写 し	16	3	5,600
戸 籍 の 証 明	1	2	350
計	20,342	8,419	11,413,000

【2款 総務費 3項 戸籍住民基本台帳費】

1目 戸籍住民基本台帳費

○旅券事務費 【市民課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,848	2,346	1,961

〈概要〉 旅券事務の一部について千葉県より権限移譲を受け、一般旅券の申請受理・交付を行った。

〈成果〉 市役所窓口で手続きができ、市民の利便性を図ることができた。

- ・一般旅券申請受理・交付件数等

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

新規・切替申請			記載事項 変更申請	査証欄 増補申請	紛失等届	交付
10年用	5年用	計				
155	44	199	3	1	4	230

○証明書コンビニ交付事業 【市民課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
9,065	7,986	7,960

〈概要〉 マイナンバーカードを利用し、コンビニエンスストア等に設置したキオスク端末による住民票の写し等の証明書の自動交付サービスを行った。

〈成果〉 証明書の取得ができる時間及び場所が拡大され、市民サービスの向上を図ることができた。

- ・コンビニ交付サービスによる交付通数及び手数料

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

区分	交付手数料 (円)	交付通数	金額 (円)
住民票の写し	200	1,447	289,400
印鑑登録証明書	200	1,063	212,600
戸籍の附票の写し	200	27	5,400
市県民税課税・非課税証明書	200	92	18,400
戸籍の全部事項証明書(戸籍謄本)	350	172	60,200
戸籍の個人事項証明書(戸籍抄本)	350	79	27,650
計		2,880	613,650

※コンビニ交付サービスにおける証明書交付手数料は、コンビニ交付サービスの利用を促進し、マイナンバーカードの普及促進を図るため、窓口での交付手数料より100円減額

【2款 総務費 3項 戸籍住民基本台帳費】

2目 市民相談費

○法律相談関係費 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,094	1,188	1,122

〈概要〉 法律の知識が必要なトラブル等の解決に向けて弁護士による法律相談を実施した。

法律相談員 3人

〈成果〉 弁護士による法律相談を行い、市民の幸福な社会生活に寄与した。

- ・相談日 毎月2回(第2及び第4木曜日)
- ・法律相談件数 161件

○結婚相談関係費 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,424	1,451	740

〈概要〉 結婚を希望する方に出会いの場を提供するとともに、相談員が良き相談相手となり、近隣5市の相談員が連携して情報を広く求め、結婚相手の紹介等、結婚成立に努めた。

結婚相談員 2人

〈成果〉 結婚希望者に対する結婚相談や出会いの場を提供し、市民福祉の増進を図った。

- ・相談日 毎週2回(火曜日及び金曜日)
- ・6月、10月 休日結婚相談を開催(12月、2月は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止とした。)
- ・年度末登録者数 61人(登録期間2年)
- ・結婚相談件数 延べ848件
- ・成婚数 5件(登録者5人)
- ・めぐり愛(逢い) きみつは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止とした。

【2款 総務費 3項 戸籍住民基本台帳費】

2目 市民相談費

○月例市民相談関係費 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
490	504	371

〈概要〉 社会生活が多様化している中で、様々な悩みを抱える市民のために、人権擁護委員と行政相談委員が相談を実施した。

人権擁護委員 10人

行政相談委員 3人

〈成果〉 人権擁護委員や行政相談委員による助言指導を行い、市民生活の安定に努めた。

・相談日 毎月6回（君津地区4回、小糸・清和・小櫃・上総地区隔月1回）

・月例相談件数 25件

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額
2 総務費	4 選挙費	72,377	68,271

3目 千葉県知事選挙事務費

○千葉県知事選挙事務費 【選挙管理委員会事務局】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
—	44,308	40,497

〈概要〉 千葉県知事選挙の管理執行
任期満了日 令和3年4月4日
選挙期日 令和3年3月21日
〈成果〉 定数1人 候補者8人

	当日有権者数	投票者数	投票率
男	36,063人	14,552人	40.35%
女	34,602人	14,405人	41.63%
計	70,665人	28,957人	40.98%

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額
2 総務費	5 統計調査費	50,518	45,829

2目 基幹統計調査費

○国勢調査事業 【総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
—	34,410	30,300

〈概要〉 我が国の人口や世帯の実態を明らかにし、各種行政施策などの基礎資料を得ることを目的として、総務省が実施した調査で、市は調査員調査に係る事務などを実施した。

調査基準日 令和2年10月1日
 調査区数 617調査区
 調査員 397人
 指導員 61人
 速報集計 国 令和3年6月25日公表 千葉県 令和3年6月9日公表
 人口(県速報) 82,249人(平成27年比 3,784人減、4.40%減)
 世帯数(県速報) 35,352世帯(平成27年比 905世帯増、2.63%増)

○工業統計調査 【総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
146	192	112

〈概要〉 我が国の工業の実態を明らかにし、産業政策、中小企業政策など、国や都道府県の行政施策のための基礎資料を得ることを目的として、経済産業省が実施した調査で、市は調査員調査に係る事務などを実施した。

調査基準日 令和2年6月1日
 調査区数 63調査区
 調査員 6人

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額
2 総務費	6 監査委員費	28,367	27,447

1 目 監査委員費

監査委員による監査は、地方自治法、地方公営企業法及び地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づき、本市の行財政の執行が適法かつ適正に運営されているか否か、及び財政状況が健全なものであるか否かを監査することにより、公正で合理的かつ能率的な行財政運営を確保し、もって市政の健全な発展に貢献しようとするものである。

なお、監査等については「監査等実施計画」を定め、以下の監査等を実施した。

- ・ 定期監査 市長の補助機関及び行政委員会
 - ・ 例月出納検査 会計課
 - ・ 決算審査 一般会計、特別会計歳入歳出決算
 - ・ 基金運用審査 高額療養費貸付基金、国民健康保険出産費資金貸付基金
 - ・ 健全化判断比率等審査 財政部
 - ・ 財政援助団体等監査 〈 〉は、財政援助団体等を所管する部課
- 出資団体及び補助金交付団体
- 公益社団法人君津市シルバー人材センター 〈保健福祉部高齢者支援課〉
 - 君津商工会議所 〈経済部経済振興課〉
 - 公益財団法人君津市文化振興財団 〈教育部生涯学習文化課〉
- 公の施設の指定管理者
- 公益社団法人君津市シルバー人材センター（君津市老人憩いの家 すえよし） 〈保健福祉部高齢者支援課〉
 - 株式会社富士アシストホーム（坂田駐車場） 〈建設部建設計画課〉
 - 三幸株式会社（内みのわ運動公園、君津緩衝緑地） 〈建設部公園緑地課〉
 - 株式会社オーエンス（久留里市民プール） 〈教育部体育振興課〉
 - 公益財団法人体力づくり指導協会
（君津勤労者総合福祉センター、君津緩衝緑地（西君津）有料公園施設） 〈経済部経済振興課〉

【2款 総務費 6項 監査委員費】

1目 監査委員費

○非常勤監査委員関係費 【監査委員事務局】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
3,531	3,734	3,539

〈概要〉 定期監査・例月出納検査・決算審査・健全化判断比率等審査・監査委員研修等の監査委員に関する経費

〈成果〉 識見監査委員2人、議選監査委員1人により監査等を実施し、公正で合理的かつ能率的な行財政運営の確保に努めた。

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額
3 民生費		11,453,203	10,886,539
	1 社会福祉費	5,475,535	5,243,233

1 目 社会福祉総務費

○社会福祉事業事務委託 【厚生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
11,814	14,267	14,089

〈概要〉 民生委員及び福祉団体の育成等に関する事務を君津市社会福祉協議会に委託した。

- ・民生委員・児童委員の活動に関する事業
- ・保護司の活動に関する事業
- ・福祉団体育成・助成事業
- ・遺族会助成事業等

〈成果〉 社会福祉行政の効果的な運営に努めた。

○社会福祉協議会運営助成金 【厚生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
77,274	78,481	76,630

〈概要〉 社会福祉行政を効果的に運営するため、君津市社会福祉協議会に運営費を助成した。

〈成果〉 事業運営費を助成し、様々な地域福祉事業等が実施できた。

【3款 民生費 1項 社会福祉費】

1目 社会福祉総務費

○地域コミュニティづくり推進支援事業 【厚生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
6,106	7,829	5,996

〈概要〉 地域コミュニティの構築を図るため、君津市社会福祉協議会が行う地域コミュニティ推進支援事業に対し補助をした。

- ・企画広報事業
- ・小地域福祉推進事業（地区社協運営費）
- ・ボランティア活動推進事業
- ・ふれあい相談事業

〈成果〉 地域住民の自発的な参加による地域福祉活動を推進した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、健康と福祉のふれあいまつり及び8地区の敬老会が中止となった。

○生活困窮者等自立相談支援事業 【厚生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
18,436	32,955	31,569

〈概要〉 生活困窮者の生活相談及び就労相談、子どもたちが家庭環境に関わらず将来の希望を描くことができるよう学習支援事業等を行った。

また、被保護者に対する就労支援事業等を行った。

※当事業と3款2項3目ひとり親家庭等生活向上事業にそれぞれ学習支援事業の予算を計上している。

〈成果〉 自立相談支援事業	新規相談	526件	就労決定	91人
被保護者就労支援事業	新規相談	19件	就労決定	15人
学習支援事業	学習支援会場	3か所	参加登録者数	29人

【3款 民生費 1項 社会福祉費】

2目 障害福祉費

○障害者自立支援給付事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,643,463	1,705,318	1,694,585

〈概要〉 障害福祉サービス費支給事業、自立支援医療費支給事業、補装具費支給事業、障害者介護給付費等審査会運営事業及び自立支援関連事業を実施し、障害者の自立を支援した。

〈成果〉 障害者が地域で自立して暮らせるように支援した。

・障害福祉サービス費支給事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,465,842	1,529,305	1,529,183

〈概要〉 身体、知的、精神障害者（児）及び難病等対象者が、日常生活又は社会生活を営むために必要な福祉サービス給付を行った。

〈成果〉 令和2年4月審査分から令和3年3月審査分実績

福祉サービス	単位	身体	知的	精神	児童	難病	計
居宅介護	延時間	17,894.50	2,106.50	3,684	74.50	354.50	24,114
	実人員	67	15	26	1	2	111
重度訪問介護	延時間	3,043	2,915.50				5,958.5
	実人員	2	1				3
行動援護	延時間						0
	実人員						0
同行援護	延時間	2,897					2,897
	実人員	26					26
重度障害者等包括支援	延時間						0
	実人員						0
生活介護	延日数	14,709	33,450	870			49,029
	実人員	67	145	8			220
療養介護	延日数	1,825					1,825
	実人員	5					5
短期入所	延日数	998	2,944		68		4,010
	実人員	15	27		4		46
施設入所支援	実人員	26	70			1	97

【3款 民生費 1項 社会福祉費】

2目 障害福祉費

～表つづき～

福祉サービス	単位	身体	知的	精神	児童	難病	計
就労移行支援	延日数	441	1,329	1,737			3,507
	実人員	5	14	20			39
就労継続支援（A型、B型）	延日数	4,222	27,312	9,582		414	41,530
	実人員	26	136	88		2	252
自立訓練（生活、機能、宿泊）	延日数	90	954	547		80	1,671
	実人員	3	4	3		1	11
共同生活援助（グループホーム）	実人員	12	65	20			97
自立生活援助	実人員						0
就労定着支援	実人員		3	5			8
地域移行支援	実人員	1					1
地域定着支援	実人員						0
計画相談支援	延件数	238	595	159		2	994
高額障害福祉サービス費	延件数	2		1			3

・自立支援医療費支給事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
129,287	130,136	124,837

〈概要〉 身体障害者（児）等に対し、障害を除去・軽減及び進行を防ぐための医療給付を行った。

〈成果〉 更生医療 2,489件

- ・心臓疾患 0件
- ・腎臓疾患 2,415件
- ・肝臓疾患 16件
- ・免疫不全 58件
- ・肢体不自由 0件
- 育成医療 7件
 - ・視覚障害 0件
 - ・聴覚、平衡機能障害 2件
 - ・音声、言語、そしゃく機能障害 2件
 - ・肢体不自由 1件
 - ・肝臓障害 2件

【3款 民生費 1項 社会福祉費】

2目 障害福祉費

・補装具費支給事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
18,043	14,000	10,249

〈概要〉 身体障害者（児）及び難病患者等に対し、職業その他日常生活の効率の向上を図ることを目的に補装具の交付及び修理を行った。

〈成果〉 ・交付件数 41件（障害者 34件 障害児 7件）
 ・修理件数 69件（障害者 64件 障害児 5件）

・障害者介護給付費等審査会運営事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
3,733	4,275	3,803

〈概要〉 障害支援区分等に関する客観的な審査判定を行い、支給要否決定等の合理性、公平性を図った。

〈成果〉 開催件数 23回、審査件数 175件

・自立支援関連事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
26,558	27,602	26,513

〈概要〉 障害者総合支援法に基づく各種助成を行い、利用者の負担軽減を図った。また、事業所が安定したサービスを提供できるよう運営を支援した。

〈成果〉 ・グループホーム等家賃助成 82人 延べ 807月
 ・グループホーム等運営費助成 71人 延べ 569月
 ・強度行動障害者等入所施設助成 4人 延べ 1,460日

【3款 民生費 1項 社会福祉費】

2目 障害福祉費

○地域生活支援事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
87,688	93,987	78,711

〈概要〉 相談支援事業、意思疎通支援事業、日常生活用具給付等事業、移動支援事業、日中一時支援事業、地域活動支援センター事業及びその他地域生活支援事業を実施し、障害者の地域での生活を支援した。

〈成果〉 障害者が地域で自立して暮らせるように支援した。

・相談支援事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
9,223	10,313	9,261

〈概要〉 市の相談支援事業について、社会福祉法人章佑会（障害者全般）と社会医療法人社団さつき会（精神障害者）に委託し、相談支援を実施した。

〈成果〉 ・サロン・ド・タビダチ（障害者全般） 3,884件
 ・ケアセンターさつき（精神障害者） 153件

・意思疎通支援事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
474	590	492

〈概要〉 社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会に委託し手話通訳者を派遣した。

・派遣費用 1時間当たり3,300円

〈成果〉 ・手話通訳者派遣 26件
 ・要約筆記者派遣 0件

【3款 民生費 1項 社会福祉費】

2目 障害福祉費

・日常生活用具給付等事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
24,085	26,479	25,252

〈概要〉 在宅の身体障害者（児）に対し日常生活用具を給付し、日常生活の便宜を図るとともに自己負担額の軽減を図った。

〈成果〉 排泄管理支援用具、情報・意思疎通支援用具等 給付件数 2,187件

・移動支援事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
10,802	10,917	9,013

〈概要〉 個別に移動支援を行う必要がある視覚障害者、全身性障害者、知的障害者、精神障害者に対する移動支援を事業所への委託により実施した。

〈成果〉 利用者 40人、延べ 2,906時間

・日中一時支援事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
16,473	17,162	13,193

〈概要〉 障害者の日中における居場所を確保するため、施設等において食事、排泄等の支援を行った。

〈成果〉 利用者 100人、延べ 8,370回

・地域活動支援センター事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
22,653	23,940	17,820

〈概要〉 医療と福祉の連携強化、障害に対する理解の啓発を医療法人に委託して実施した。

就労が困難な障害者に生活・作業訓練を行うNPO法人等に対する補助金の交付や利用料金を支給することにより、障害者の地域生活支援を行った。

〈成果〉 障害児とその家族の療育を支援した。

実績 8事業所

【3款 民生費 1項 社会福祉費】

2目 障害福祉費

・その他地域生活支援事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
3,978	4,586	3,680

〈概要〉 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業に係る各種の助成等を行うことで、障害者の自立を支援した。

〈成果〉 ・移動入浴車派遣 9人、延べ 302回
 ・自動車改造費助成 3件
 ・運転免許取得費助成 0件
 ・職親委託 1人、延べ 12月

○障害児通所等支援事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
255,120	305,591	305,411

〈概要〉 障害児通所等支援給付事業、障害児相談支援給付事業を実施し、障害児とその家族の療育を支援した。

〈成果〉 障害児とその家族の療育を支援した。

・障害児通所等支援給付事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
249,391	299,535	299,528

〈概要〉 障害児の通所サービス利用者に対して障害児通所給付費等を支給し、障害児とその家族の療育を支援した。

〈成果〉 令和2年4月審査分から令和3年3月審査分実績
 ・児童発達支援 129人、延べ 24,357日
 ・医療型児童発達支援 0人、延べ 0日
 ・放課後等デイサービス 162人、延べ 19,988日
 ・保育所等訪問支援 6人、延べ 30日
 ・居宅訪問型児童発達支援 1人、延べ 28日

【3款 民生費 1項 社会福祉費】

2目 障害福祉費

・障害児相談支援給付事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
5,729	6,056	5,883

〈概要〉 障害児通所支援利用計画の作成や見直しにより、障害児の自立した生活を支え、抱える課題や適切なサービス利用に向けた支援を行った。

〈成果〉 障害児通所支援を利用する児童に対する障害児支援利用計画作成 354件

○重度心身障害者医療費助成事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
167,585	168,323	158,201

〈概要〉 重度心身障害者又はその保護者に対し、医療費の一部を助成した。

〈成果〉 重度心身障害者又はその保護者の経済的負担を軽減した。

- ・認定者 1,195人(令和3年3月31日現在)
- ・受給者 1,253人、延べ 31,671件
- ※受給者は年度途中での資格喪失者を含む。

○精神障害者医療費給付及び相談事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
47,632	45,030	43,008

〈概要〉 精神障害者に対し精神疾患の医療費を給付した。また、社会福祉士、保健師が精神障害者及びその家族からの相談に応じた。

〈成果〉 精神障害者の社会復帰及び自立を促進した。

精神障害者医療費給付

- ・認定者 1,411人(令和3年3月31日現在)
- ・受給者 949人、延べ 15,921件
- ※受給者は年度途中での資格喪失者を含む。

【3款 民生費 1項 社会福祉費】

2目 障害福祉費

○心身障害者（児）福祉手当支給事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
66,410	66,940	65,747

〈概要〉 在宅の重度心身障害者（児）又は介護者に対し、福祉手当（県の補助対象者については月額8,650円、補助対象外の身体障害者手帳1級及び重度の知的障害者（児）については月額5,000円、身体障害者手帳2級の障害者には月額2,000円）を支給した。

〈成果〉 在宅の重度心身障害者（児）又はその介護者の在宅介護の支援と福祉の増進を図った。

受給者（令和3年3月31日現在）

- ・月額8,650円 98人、延べ 1,145月（県補助対象）
- ・月額5,000円 814人、延べ 9,769月
- ・月額2,000円 283人、延べ 3,403月

○福祉タクシー事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
6,703	7,510	7,483

〈概要〉 重度心身障害者（児）にタクシー券を交付し、タクシー料金の全部又は一部を助成した。

〈成果〉 重度心身障害者（児）の社会参加の促進を図った。

- ・利用券交付者 535人、延べ 12,376件

○幼児ことばの相談事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
6,930	6,490	5,376

〈概要〉 心理職と言語聴覚士が成長や発達に関する療育相談を受け、面接や検査、観察を行い、保護者へのアドバイスを行ったほか、希望者には言語訓練や心理療法等を行った。

〈成果〉 幼児の成長や発達の改善が図られた。

- ・幼児ことばの相談事業実績 実人数 104人、回数 456回
- ・発達障害児等療育支援事業実績 267回
(心理 143回、言語 76回、運動 12回、相談 13回、訪問、23回)

【3款 民生費 1項 社会福祉費】

2目 障害福祉費

○障害者虐待防止支援事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
1, 1 8 2	1, 4 3 1	1, 1 8 6

〈概要〉 障害者虐待の防止、障害者虐待を受けた障害者の保護及び養護者に対する支援を行うため、休日や夜間における障害者虐待防止センター業務の一部を被虐待者の一時保護のための居室確保と併せて委託した。

〈成果〉 障害者虐待に関する相談窓口及び一時保護の体制を整備した。
 ・障害者虐待防止センターへの通報・届出件数 2件

○障害者基本計画及び障害福祉計画策定事業 【障害福祉課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
1, 4 7 0	2, 4 3 3	2, 3 9 0

〈概要〉 障害者のための施策に関する基本計画である「第3次君津市障害者基本計画」並びに障害福祉サービスの充実や支援体制づくりのための「第6期君津市障害福祉計画」及び「第2期君津市障害児福祉計画」を策定した。

〈成果〉 「第3次君津市障害者基本計画・第6期君津市障害福祉計画・第2期君津市障害児福祉計画」の策定に当たり、より一層の障害者福祉の推進を図るため、基本計画と実施計画を一体的に策定した。計画書、概要版及びわかりやすい版（音声コード「ユニボイス」付き）を作成した。

【3款 民生費 1項 社会福祉費】

3目 老人福祉費

○老人ホーム入所措置事業 【高齢者支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
25,481	32,767	21,689

〈概要〉 老人福祉法に基づき、おおむね65歳以上の住む家がない等の環境上の理由及び経済的理由により、在宅で養護を受けることが困難な高齢者を老人ホームに入所措置した。

〈成果〉 在宅において日常生活を営むのに支障がある高齢者を老人ホームに入所措置し、老人福祉の増進を図った。

- ・措置人員 8人（令和3年3月31日現在、全て養護老人ホームへ措置）

○ねたきり老人紙おむつ給付事業 【高齢者支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,136	1,451	1,021

〈概要〉 在宅ねたきり老人に対して紙おむつを給付した。

〈成果〉 ねたきりの高齢者と在宅で介護する家族の精神的・経済的負担を軽減した。

- ・受給者数 36人（令和3年3月31日現在）

○ねたきり老人福祉手当支給事業 【高齢者支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,723	3,123	2,586

〈概要〉 在宅のねたきり老人の介護者に福祉手当を支給した。

〈成果〉 ねたきり高齢者を在宅で介護する家族の経済的な負担の軽減を図った。

- ・受給延べ人数 311人（延べ人数）

【3款 民生費 1項 社会福祉費】

3目 老人福祉費

○敬老祝金支給事業 【高齢者支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
15,264	14,848	14,769

〈概要〉 長寿を祝い、敬老の意を表すため祝金を支給した。

(満88歳) 443人 (祝金 30,000円)

(満99歳) 28人 (祝金 50,000円)

○はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業 【高齢者支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,126	2,271	1,729

〈概要〉 65歳以上の高齢者に利用券を交付し、はり・きゅう・マッサージの施術を受けた費用の一部を助成した。

〈成果〉 高齢者の健康増進を図った。

・利用者数 589人

・利用枚数 5,955枚

○ひとり暮らし老人等緊急通報システム設置事業 【高齢者支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
5,207	6,323	5,657

〈概要〉 65歳以上の在宅のひとり暮らし老人等を対象に、緊急通報システムを設置した。

〈成果〉 在宅のひとり暮らし老人等の疾病など緊急時の安全及び安心を図った。

・設置数 270台 (令和3年3月31日現在)

【3款 民生費 1項 社会福祉費】

3目 老人福祉費

○ひとり暮らし老人等福祉タクシー事業 【高齢者支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,293	1,475	1,471

〈概要〉 ひとり暮らし老人の外出を支援するため、利用券を交付し、タクシー料金の一部を助成した。

〈成果〉 在宅でひとり暮らしをする75歳以上の要介護認定又は要支援認定を受けた所得税非課税の高齢者がタクシーを利用した場合に、その料金の一部を助成することで、積極的な社会活動を支援した。

- ・利用者数 136人
- ・利用枚数 2,421枚

○介護予防・地域支え合い事業 【健康づくり課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
17,599	17,980	12,189

〈概要〉 おおむね60歳以上の要介護・要支援に該当しない高齢者を対象に、生きがい支援センターや公民館、身近な自治会館等で、健康増進運動を実施した。

〈成果〉 2回の緊急事態宣言の発出中は事業を見合わせた。発出のない時期は感染予防対策を徹底して健康増進運動等を行い高齢者の介護予防に努めた。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、外出自粛に伴う健康等への影響に対する注意喚起として、自宅でできる運動等を掲載したちらしを作成の上配布し、高齢者の健康維持及び介護予防の支援を行った。

○高齢者短期人間ドック助成事業 【国民健康保険課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
8,469	10,319	7,693

〈概要〉 後期高齢者医療の被保険者のうち、人間ドック受検者に検査費用の7割相当額（6万円を限度）を助成した。

〈成果〉 疾病の予防、早期発見及び早期治療を目的とし、希望者216人（前年比30人、12.2%の減）に助成した。

【3款 民生費 1項 社会福祉費】

3目 老人福祉費

○地域密着型サービス施設整備等事業補助金 【高齢者支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
14,783	14,000	14,000

〈概要〉 君津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、地域密着型サービス事業を行う施設等を開設、整備する事業者に対し、その要する経費を補助し、介護サービス提供体制の充実を図った。

〈成果〉 密接に連携をとっている介護職員と看護師の定期的な訪問を受けられ、通報や電話などを行うことで随時対応も受けられる定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所を支援した。

○介護人材確保対策事業 【高齢者支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
4,941	9,230	4,210

〈概要〉 介護に従事する人材を確保し、本市における介護保険サービスの安定的な提供に資するための事業を実施した。

〈成果〉 介護職員初任者研修費用助成事業に加え、令和元年度から介護事業所内保育施設の運営に要する経費の一部に対する補助を実施し、介護保険施設等に従事する者の確保と定着を支援した。

- ・介護職員初任者研修費用助成事業 2人 60千円
- ・介護事業所内保育施設運営事業 2法人 4,150千円

○養護老人ホーム施設整備費補助負担金 【高齢者支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	59,888	59,888

〈概要〉 昭和54年に建設された天羽養護老人ホームの更新のため、新施設の建設に要する費用を4市で負担した。

〈成果〉 令和2年度中に、新施設の建築と入所者の移転を終えることができた。

- ・負担内訳 君津市 59,888千円 木更津市 86,850千円
- 袖ヶ浦市 49,744千円 富津市 39,806千円

【3款 民生費 1項 社会福祉費】

3目 老人福祉費

〇いきいき高齢者外出支援事業 【高齢者支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	38,830	18,638

〈概要〉 75歳以上の方に、新型コロナウイルス感染症のリスク低減と、生活に必要な外出を支援するために、タクシー、路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシーで使用できる利用券を発行した。

〈成果〉 75歳以上高齢者の生活に必要な外出を支援することができた。

- ・申請者数 4,305人
- ・発行枚数 258,300枚（1人当たり60枚を発行）
- ・利用枚数 147,883枚（利用率：57.3%、利用期間：5か月間）

【3款 民生費 1項 社会福祉費】

4目 後期高齢者医療費

○後期高齢者医療関係事業 【国民健康保険課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,027,947	1,102,319	1,080,868

〈概要〉 後期高齢者医療制度の運営主体である、千葉県後期高齢者医療広域連合で必要な医療費や事務費を負担した。また、保険基盤安定負担金として支出するため、後期高齢者医療特別会計へ繰り出した。

- ・後期高齢者医療広域連合に関する負担金 839,400,363円
- ・後期高齢者医療特別会計繰出金 241,467,649円

5目 社会福祉施設費

○老人憩いの家管理運営事業 【高齢者支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
11,972	13,136	8,215

〈概要〉 君津市シルバー人材センターを指定管理者とし、老人憩いの家すえよしの管理運営を行った。

〈成果〉 老人憩いの家を管理運営し、健全な憩いの場を提供した。ただし、新型コロナウイルス感染症の流行により、長期間閉館することとなった。

- ・開所日数 60日
- ・利用者数 1,221人

○地域福祉推進センター管理運営事業 【厚生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,559	2,343	2,199

〈概要〉 君津市社会福祉協議会を指定管理者とし、地域福祉推進センターゆうゆう館の管理運営を行った。

〈成果〉 地域福祉推進センターゆうゆう館を管理運営し、地域福祉の活動の場を提供した。

- ・施設の利用状況

大会議室	利用団体数	222団体、利用者数	2,213人
小会議室	利用団体数	222団体、利用者数	883人

【3款 民生費 1項 社会福祉費】

6目 国民年金事務費

○基礎年金等事務費 【市民課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
435	428	218

〈概要〉 国民年金被保険者の資格取得・喪失等の異動記録や保険料の免除に係る事務処理を行うとともに、受給資格者に対しての指導や助言を行い、受理した裁定請求書や各種届出等については、随時日本年金機構に報告した。

〈成果〉

(1) 国民年金被保険者異動処理事務

第1号被保険者 7,880人
 任意加入者 91人
 第3号被保険者 5,085人
 資格取得者数(第1号被保険者適用数) 2,320人

(2) 国民年金保険料免除事務

経済的な理由等から保険料が免除(全額、3/4、半額及び1/4免除、納付猶予及び学生納付特例)となる申請免除、障害年金の受給者や生活保護法による保険料の法定免除及び出産前後の一定期間の保険料が免除となる産前産後免除に係る事務を処理した。

種 別	該 当 者 数
法定免除	831
申請免除	2,669
産前産後免除	20

(3) 国民年金給付事務

老齢・障害・遺族年金等の受給資格者に対して指導・助言を行い、裁定請求書等を日本年金機構に報告した。

種 別	件 数
老齢裁定請求	6
障害裁定請求	38
遺族・寡婦裁定請求	0
未支給請求	129
年金生活者支援給付金請求	49
その他	20
計	242

【3款 民生費 1項 社会福祉費】

7目 人権施策推進費

○同和対策推進事業 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
68	82	30

〈概要〉 同和問題の正しい理解と認識を深め、同和対策の推進に努めた。

〈成果〉 各種大会や会議等は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響から中止となったが、機関紙等により情報収集を図ることで、同和問題への理解と認識を深めることができた。

○人権施策推進事業 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
330	442	67

〈概要〉 市内各公民館において、様々な切り口から人権に関する研修会を開催した。

〈成果〉 各公民館にて開催された人権に関する研修会により、人権意識の高揚を図ることができた。

人権に関する研修会

- ・八重原公民館 13人 「コロナに負けない！家族の心のケアとコミュニケーション」
- ・周西公民館 10人 「児童虐待をなくすために～親として、地域住民として私たちが
できること～」
- ・周南公民館 12人 「夫婦力アップ！良好なパートナーシップを築くヒケツ」
- ・小糸公民館 19人 「みんなで防災～住民の視点で考える・行動する地域組織が機
能するために～」
- ・清和公民館 212人 「困難を乗り越えるための生きる力～オリンピックの経験から～」
- ・小櫃公民館 4人 「家庭教育オンライン講演会 子どもの心に寄り添って～コロナ
で見つめる親子の時間」

人権問題講演会、君津中央公民館及び上総公民館は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止とした。

【3款 民生費 1項 社会福祉費】

7目 人権施策推進費

○男女共同参画施策推進事業 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
89	465	103

〈概要〉 第4次君津市男女共同参画計画に基づき、男女共同参画の意識啓発に努めるほか、審議会等への女性委員の登用を働きかけるなど、市事業の促進、進捗状況を把握した。

〈成果〉 男女の人権が尊重され、すべての人が社会のあらゆる分野で、その個性と能力を発揮し、積極的に参加できるよう意識の高揚を図った。

人権問題講演会と共催で行う男女共同参画推進フォーラムについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止とした。

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額
3 民生費	2 児童福祉費	4,399,089	4,105,892

1目 児童福祉総務費

○子だから祝金給付事業 【子育て支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
2,709	3,011	2,621

〈概要〉 第3子以上の子どもの出産を奨励祝福して子だから祝金を支給し、次代を担う子どもの健全育成を図った。

〈成果〉 支給件数 87件

○家庭・児童相談事業 【子育て支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
1,418	2,640	2,439

〈概要〉 児童の健全育成のために必要である適正な家庭環境や親子関係、養育等に関する相談及び助言指導を家庭相談員により行い、児童福祉の向上を図った。

〈成果〉 相談件数 1,764件

○母子生活支援施設入所措置事業 【子育て支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
8,869	9,212	9,148

〈概要〉 配偶者のいない女子又はこれに準ずる事情にある女子であって、その監護すべき児童の福祉に欠けるところがあると認められるときは、母子生活支援施設に入所措置した。

〈成果〉 新規入所 なし
退 所 なし
子の18歳到達に伴う退所 1人
令和2年度末入所者 2世帯 6人

【3款 民生費 2項 児童福祉費】

1目 児童福祉総務費

○児童虐待防止対策事業 【子育て支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
5,097	6,825	6,571

〈概要〉 児童虐待防止のため、要保護児童等の見守りを関係機関のネットワークにより対応するとともに、子育て支援推進員等により、適切な支援や助言を行った。

〈成果〉 新規虐待相談 82件

○放課後児童健全育成事業 【子育て支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
67,028	97,268	73,158

〈概要〉 放課後児童の健全育成を図るため、その保護者が運営する団体等が行う放課後児童健全育成事業に要する経費に対する補助及び専用プレハブ教室を無償貸与した。

また、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、平日午前中から開所した放課後児童クラブへの補助やアルコール等の感染症対策消耗品の購入費についての補助を行った。

〈成果〉 14団体に対し補助金を交付し、放課後児童クラブの運営支援を図った。

児童数 443人

運営費補助 63,717,505円 14団体

うち家賃補助 420,000円 2団体

うち送迎費補助 358,505円 1団体

新型コロナウイルス感染症対策費補助 9,077,911円 12団体

【3款 民生費 2項 児童福祉費】

1目 児童福祉総務費

○認可外保育施設利用者補助金 【保育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
3,357	8,411	4,725

〈概要〉 認可外保育施設を利用している3歳未満の乳幼児の保護者に補助金を交付、また保育認定(新2号・新3号)を受けた認可外保育施設利用者に対し、利用料の全部又は一部を償還払いすることにより、保護者の経済的負担を軽減し、良好な子育て環境の促進を図った。

〈成果〉 認可外保育施設利用者補助金 件数30件(実人数7人) 金額595,800円
 子育てのための施設等利用給付費 件数81件(実人数27人) 金額4,129,360円

○児童手当給付事業 【子育て支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,108,405	1,072,719	1,066,950

〈概要〉 児童の養育者に手当を支給し、生活の安定と次代を担う児童の健全育成及び資質の向上を図った。

【手当月額】

区 分	児童手当 (H24.4～)
0～3歳未満	15,000円
3歳以上小学校修了前 (第1子、第2子)	10,000円
3歳以上小学校修了前 (第3子以降)	15,000円
小学校修了後中学校修了前	10,000円
所得制限世帯	5,000円

〈成果〉

区 分		延べ児童数
被用者	0～3歳未満	13,320人
	3歳以上小学校修了前 (第1子、第2子)	40,706人
	3歳以上小学校修了前 (第3子以降)	6,494人
	小学校修了後中学校修了前	16,267人
	所得制限世帯	6,178人
非被用者	0～3歳未満	1,994人
	3歳以上小学校修了前 (第1子、第2子)	7,937人
	3歳以上小学校修了前 (第3子以降)	1,303人
	小学校修了後中学校修了前	3,830人
	所得制限世帯	399人
合計		98,428人

【3款 民生費 2項 児童福祉費】

1目 児童福祉総務費

○子ども・子育て支援事業 【子育て支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
16,960	669	414

〈概要〉 子ども・子育て支援法に基づき、子ども・子育て支援新制度の円滑な推進や保育の量的拡大、地域における子育て支援の充実等を図るため、令和2年3月に策定した「第2期君津市子ども・子育て支援計画」の点検・評価を行い、君津市子ども・子育て会議委員の意見を取り入れながら、問題や課題を解決し、事業を展開した。なお、会議は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から書面会議にて開催した。

〈成果〉 君津市子ども・子育て会議 書面会議により3回開催

○子育て世帯への臨時特別給付金給付事業 【子育て支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	91,264	90,649

〈概要〉 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、児童手当を受給する子育て世帯に対し、その対象児童一人当たり1万円を上乗せする臨時特別給付金を支給した。

〈成果〉 支給児童数 8,897人（うち一般 8,057人、施設 51人、公務員 789人）
 受給者数 5,337人（うち一般 4,888人、施設 9人、公務員 440人）

○子育て世帯への臨時特別給付金加算事業 【子育て支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	89,677	89,638

〈概要〉 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている子育て世帯への生活支援として実施された国の臨時特別給付金に、市独自の取組として、児童一人当たり1万円を上乗せして支給した。

対象は、令和2年3月31日時点での児童手当支給対象児童（特例給付を除く）とした。

〈成果〉 支給児童数 8,897人（うち一般 8,057人、施設 51人、公務員 789人）
 受給者数 5,337人（うち一般 4,888人、施設 9人、公務員 440人）

【3款 民生費 2項 児童福祉費】

1目 児童福祉総務費

○ファミリーサポートセンター事業 【子育て支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
3,138	3,767	3,289

〈概要〉 子育てを援助してほしい方、援助ができる方を会員とし、子育てを助け合う相互援助活動のコーディネートを行い、子育てしやすい環境整備に努めた。

〈成果〉 登録会員数 310人 (内訳：協力会員56人、利用会員234人、両方会員20人)
利用実績 延べ326件 393時間

【3款 民生費 2項 児童福祉費】

2目 保育園等費

○市立保育園児童運営費 【保育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
103,314	117,434	110,304

〈概要〉 市立保育園等11園に入園している乳幼児を保育するための運営経費

〈成果〉 乳幼児を保育するため保育園運営の充実を図った。

在園児数 (カッコは受託児童数)

(令和3年3月31日現在)

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
人数	22 (0)	104 (5)	151 (3)	170 (4)	188 (8)	202 (8)	837 (28)

○保育園環境整備事業 【保育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
417,663	185,032	185,031

〈概要〉 多様化する保育ニーズへの対応や老朽化の進行、耐震性能が不足する保育園園舎の建替えに当たり、早期に民間活力を導入し、新たな保育ニーズへの対応、待機児童の解消、園児の安全確保を図った。

〈成果〉 1 認可保育園の整備

待機児童の解消及び多様な保育ニーズに対応するため、平成30年度に整備運営事業者として決定した3事業者のうち、令和元年房総半島台風等による災害の影響等に伴い建設工事が遅れた事業者について、施設整備費に係る国庫補助金を市単独補助と合わせて交付した。

(繰越明許分) 君津市保育所施設整備事業費補助金	185,016千円
・国負担分(2/3)	123,344千円
・市負担分(1/12)	15,418千円
・市単独補助分(1/4)	46,254千円

施設名称 スクルドエンジェル保育園 もくし園
 施設場所 君津市杵師四丁目7番3号
 開園年月 令和2年6月
 認可定員 75人

内訳	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
	6人	12人	12人	15人	15人	15人

【3款 民生費 2項 児童福祉費】

2目 保育園等費

2 君津市保育環境整備計画の策定

待機児童の解消や多様化する保育ニーズへの対応、施設の老朽化等、本市の保育環境に係るさまざまな課題の解決に向け、平成27年10月に策定した「君津市保育環境整備に関する基本方針」に基づき、公立保育園の民営化や統合など、あらゆる施設整備の手法について検討し、今後の保育環境整備の方策を定めた『君津市保育環境整備計画』を令和2年9月に策定した。

3 (仮称) 君津市立貞元保育園の整備について

(仮称) 君津市立貞元保育園の整備を推進するため、(仮称) 君津市立貞元保育園整備推進委員会を設置し、協議を重ね、(仮称) 君津市立貞元保育園基本構想及び基本計画策定業務委託公募型プロポーザルを実施し、委託業者を決定した。

- ・(仮称) 君津市立貞元保育園基本構想及び基本計画策定業務委託 契約額8,800千円
(債務負担行為 令和2年度～令和3年度)

4 君津市立保育園民営化に伴う整備運営事業者の募集について

君津市保育環境整備計画に基づき、内箕輪保育園及び南子安保育園の民営化に伴う新たな認可保育園の整備及び運営を行う事業者の募集を実施した。

- ・募集期間 令和3年3月1日から令和3年5月31日まで

○地域子育て支援センター事業 【子育て支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
12,039	14,523	12,284

〈概要〉 子育て家庭に対し、育児についての相談、指導、交流の場を提供した。

〈成果〉 年間を通して相談、指導、園庭開放等、交流の充実を図った。

年間利用者数： 君津保育園はっぴー 2,211人
小櫃保育園コアラルーム 708人
君津市子育て支援センター 6,719人
宮下どろんこ保育園ちきんえっぐ 5,363人

【3款 民生費 2項 児童福祉費】

2目 保育園等費

○民間保育園運営費補助金 【保育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
34,825	115,721	61,750

〈概要〉 国や県の補助事業を活用して民間保育園等の運営費の一部を助成し、その運営の安定や職員の待遇改善、保育の質の向上等を図った。

〈成果〉

・民間保育園運営費等補助金

	延長保育事業 (国 1/3) (県 1/3)	地域子育て支 援拠点事業 (国 1/3)	一時預かり事 業 (国 1/3)	保育士配置改 善事業 (県 1/2)	保育士処遇改 善事業 (県 1/2)	新型コロナウ イルスの感染 防止対策事業 (国 10/10)
君津保育園	636,600円	8,270,000円		4,644,750円	3,920,000円	2,771,000円
宮下どろんこ 保育園	300,000円	5,510,439円	2,607,000円	3,715,800円	3,720,000円	353,101円
あい・あい保 育園 君津園				3,349,895円	3,120,000円	557,108円
ウェルネス保 育園 君津	300,000円			464,475円	1,940,000円	1,247,784円
スクルドエン ジェル保育園 もくし園				3,019,087円	2,100,000円	165,103円
スキップ小規 模保育園					960,000円	1,000,000円
サンライズキ ッズ保育園 君津園					1,440,000円	845,821円
スクルドエン ジェル保育園 南久保園					124,140円	1,460,000円
ばあばん家ば ーと2						140,800円
つばさ保育園						189,495円
げんげんどう かがやき保育 所						476,520円
鈴木病院ベベ メゾネット						500,000円
かずさみどり のもり保育園						480,620円

・宮下保育園民営化に伴う延長保育料等に関する補助金（市単独補助）

君津市立宮下保育園の民営化に伴う保護者の負担増額分（延長保育料（2人、122,500円）、主食代（57人、1,298,000円））を宮下どろんこ保育園に対し、補助金を交付した。

【3款 民生費 2項 児童福祉費】

2目 保育園等費

○病児・病後児保育事業 【保育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
9,933	10,512	10,030

〈概要〉 保護者の勤務の都合等により、病気の回復期又は回復期に至らない場合にある児童を自宅で保育することが困難な場合に、専用施設で一時的に保育する病児・病後児保育事業を委託し、子育てしやすい環境整備に努めた。

〈成果〉 平成27年1月開設（医療機関付設型1か所）

令和2年度利用登録者数 23人 延べ利用者数 40人

○子どものための教育・保育給付事業 【保育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
337,961	616,591	551,449

〈概要〉 保護者の就労環境等の理由により保育が必要な児童について、私立保育園等に保育を委託した。

〈成果〉 委託園児を保育するため、委託費及び給付費を支出し、私立保育園等の運営の充実を図った。

給付対象園児数（カッコは在園児数）

(令和3年3月31日現在)

	施設区分	施設数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
市内	私立保育園	5	33 (34)	66 (68)	60 (63)	55 (58)	43 (47)	41 (44)	298 (314)
	私立小規模 保育事業	3	7 (7)	20 (20)	15 (15)				42 (42)
市外	公立保育所	9	2	1	3	2	2	2	12
	私立保育所	7	3	5	7	5	6	15	41
	私立認定 こども園	6	3	2	5	1	5	3	19
	公立認定 こども園	1	0	1	0	0	1	0	2
	私立小規模 保育事業	2	1	0	1				2
	私立事業所内 保育施設	1	1	0	0	0	0	0	1

【3款 民生費 2項 児童福祉費】

2目 保育園等費

○保育園園舎安全対策事業 【保育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
11,880	145,838	115,808

〈概要〉 地震発生時に園舎の瞬時倒壊を防ぎ、園児等が安全に避難する時間と経路を確保するための園舎の補強工事を行った。

〈成果〉 工事が完了し、園児等が安全に避難する時間と経路を確保した。

(繰越明許分) 君津市立保育園園舎安全対策工事 108,790千円

(繰越明許分) 君津市立保育園園舎安全対策工事監理業務委託 7,018千円

3目 母子福祉費

○ひとり親家庭住宅手当助成事業 【子育て支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
7,184	7,535	6,769

〈概要〉 ひとり親家庭に住宅手当を支給し、生活の安定と経済的支援を図った。

〈成果〉 限度額 5,000円/月 助成世帯 148世帯 年間支払い延べ件数 1,354件

○ひとり親家庭等医療費等助成事業 【子育て支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
21,294	20,004	19,936

〈概要〉 母子、父子家庭等に医療費、調剤費等の一部を助成し、経済的負担を軽減した。

また、令和2年11月診療分から、自己負担額を変更。通院1回・入院1日につき300円、調剤は無料とした。市民税非課税世帯・市民税所得割非課税世帯は、通院及び入院についても無料とした。

なお、令和3年4月1日から現物給付化とするため、受給券を3月末に交付した。

〈成果〉 助成世帯 353世帯 助成人数 793人

【3款 民生費 2項 児童福祉費】

3目 母子福祉費

○児童扶養手当給付事業 【子育て支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
386,726	307,000	290,167

〈概要〉 父又は母と生計を同じくしていない児童を養育しているひとり親家庭等に児童扶養手当を支給し、生活の安定と自立支援を図った。

〈成果〉

区分	延べ受給者数
全額支給者	3,894人
一部支給者	4,322人

○ひとり親家庭自立支援給付金事業 【子育て支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,720	3,442	2,485

〈概要〉 ひとり親家庭の父又は母が就職に有利な資格の取得を促進するため、養成機関での受講期間について、高等技能訓練促進費を支給した。

〈成果〉 高等技能訓練促進費 2人 2,408,000円
 修了一時金 1人 25,000円
 教育訓練給付金 1人 51,968円

○ひとり親家庭等生活向上事業 【子育て支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
10,906	11,038	11,006

〈概要〉 ひとり親家庭等の子どもが抱える特有の課題に対応し、子どもたちが家庭環境に関わらず、将来の希望を描くことができるよう、ひとり親家庭等の子どもに対し基本的な生活習慣の習得支援、学習支援等を行った。

※当事業と3款1項1目生活困窮者等自立相談支援事業にそれぞれ学習支援事業の予算を計上している。

〈成果〉 学習支援会場 2か所 参加登録者数 29人

【3款 民生費 2項 児童福祉費】

3目 母子福祉費

○ひとり親家庭等への臨時特別給付金給付事業 【子育て支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	28,940	27,451

〈概要〉 新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親世帯等の生活を支援する独自の取組として、児童扶養手当を受給する世帯に対し、児童一人当たり、3万円を支給した。

〈成果〉 支給人数 611人 (対象児童数 912人)
支給額 27,360,000円

○ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業 【子育て支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	114,859	109,401

〈概要〉 新型コロナウイルス感染症の影響による子育て負担の増加や収入の減少に鑑み、ひとり親世帯等の生活を支援する取組として、児童扶養手当受給世帯等へ1世帯当たり5万円、第2子以降1人当たり3万円及び収入が減少した児童扶養手当受給世帯へ1世帯当たり5万円を支給した。

〈成果〉 支給人数 663人 (対象児童数 985人)

◎支給額内訳

児童扶養手当受給者 579人 (対象児童数 859人)
基本給付 37,350,000円
追加給付 20,850,000円
基本給付の再支給 37,350,000円

公的年金等受給者 25人 (対象児童数 31人)
基本給付 1,430,000円
追加給付 1,050,000円
基本給付の再支給 1,430,000円

家計急変者 59人 (対象児童数 95人)
基本給付 4,030,000円
基本給付の再支給 4,030,000円

(単位：千円)

款	項	予算現額	支出済額
3 民生費	3 生活保護費	1,478,087	1,473,467

2目 扶助費

○生活保護費 【厚生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,332,610	1,365,167	1,361,987

〈概要〉 生活に困窮し最低限度の生活を維持することのできない者に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行った。

〈成果〉 最低限度の生活を保障し、自立の助長を図った。

生活保護世帯人数の状況

(単位：世帯・人)

	令和元年度	令和2年度		
	年度末	開始	廃止	年度末
世帯数	673	101	85	689
人数	833	129	126	836

(単位：千円・世帯・人)

区分	金額	延べ世帯数	延べ人数
生活扶助費	379,458	7,206	8,877
住宅扶助費	227,145	6,616	8,110
教育扶助費	3,498	250	359
医療扶助費	682,341	7,771	9,454
介護扶助費	56,817	2,451	2,543
出産扶助費	0	0	0
生業扶助費	1,427	148	148
葬祭扶助費	2,343	24	24
施設保護事務費	8,325	48	48
委託事務費	462	18	18
就労自立給付金	171	4	4
進学準備給付金	0	0	0

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額
3 民生費	4 災害救助費	100,492	63,947

1目 災害救助費

○災害救助事業 【危機管理課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
64,004	4,769	4,768

〈概要〉 令和2年2月に災害救助法における求償の対象となる経費の要件が緩和されたことに伴い、追加で整理を行うもので、令和元年房総半島台風において、応援を受けた白岡市・船橋市に対し、その応援に要した費用の償還を行った。

〈成果〉 船橋市 非常用飲料水袋 単価 310円×1,000枚×1.1= 341,000円
白岡市 非常用飲料水袋 単価 375円×6,700枚×1.1=2,763,750円
白岡市 ブルーシート 単価2,800円× 500枚×1.1=1,540,000円
白岡市 土嚢袋 単価 14円×8,000枚×1.1= 123,200円

【3款 民生費 4項 災害救助費】

1目 災害救助費

○被災住宅応急修理事業 【住宅営繕課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
15,967	81,472	45,214

〈概要〉 令和元年房総半島台風等の災害による半壊以上（全壊・大規模半壊・半壊）又は一部損壊（損害割合10%以上、20%未満）の被災住宅に対し、千葉県より災害救助法に基づく事務委任を受け、県の負担金を活用して災害救助法に基づく応急修理を行った。

また、一部損壊（損害割合10%以上、20%未満）の被災住宅に対し、応急修理の加算分として、県の補助金を活用して被災住宅の修繕に対する支援を行った。

- 半壊以上の応急修理・・・補助対象工事費のうち59万5千円分を市から修理業者に委託した。
 - ・補助対象工事費のうち：上限59.5万円（財源：県10/10）
- 一部損壊の応急修理（損害割合10%以上20%未満）・・・補助対象工事費のうち30万円分を市から修理業者に委託した。
 - ・補助対象工事費のうち：上限30万円（財源：県10/10）
- 加算分・・・一部損壊の応急修理を実施した被災住宅に対し、補助対象工事費のうち150万円を超える部分の20%（最大20万円）を補助した。
 - ・補助対象工事費の150万円を超える部分：上限20万円（財源：県8/10、市2/10）

〈成果・進捗〉

応急修理及び加算分（現年分） 31,675千円（応急修理69件、加算分 8件）

応急修理及び加算分（繰越明許分） 13,539千円（応急修理27件、加算分16件）

新型コロナウイルス感染症の影響等により予定期間に工事が完了しないため、次年度へ繰り越した。

- ・令和3年度へ繰越明許 5,241千円（応急修理 8件、加算分11件）
- ・令和3年度へ事故繰越 400千円（ 加算分 2件）

【3款 民生費 4項 災害救助費】

1目 災害救助費

○被災者支援事業 【住宅営繕課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
9,692	13,786	13,501

〈概要〉 令和元年房総半島台風等により被災した住民の方が、一日も早く普段の生活を取り戻すことができるよう、住宅の応急修理や被災住宅修繕緊急支援事業による被災住宅の復旧等を支援した。

〈成果〉 窓口対応や申請処理等を行った。

4月 派遣職員6人
 5月 派遣職員4人
 6月 派遣職員6人
 7月から11月 派遣職員4人
 12月から3月 派遣職員2人

相談件数

申請・窓口相談等 3,402件
 電話相談 2,083件

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額
4 衛生費		5,364,785	4,914,953
	1 保健衛生費	2,422,365	2,223,672

1目 保健衛生総務費

○子ども医療費助成事業 【子育て支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
250,803	270,743	196,659

〈概要〉 中学校3年生までの子どもに掛かる医療費（保険適用分）の全額助成を実施した。

〈成果〉 入院・通院に掛かる医療費（保険適用分）の全額助成をすることにより、保護者の経済的負担の軽減と保健対策を充実させ、子育て世代の支援を図った。

件 数

区 分	県制度分	市単独分	計
通 院	56,031	40,912	96,943
入 院	432	53	485
計	56,463	40,965	97,428

金 額

(単位：円)

区 分	県制度分	市単独分	計
通 院	87,735,537	77,447,058	165,182,595
入 院	22,056,930	2,759,344	24,816,274
計	109,792,467	80,206,402	189,998,869

○保健福祉センター施設管理委託事業 【健康づくり課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
20,813	25,850	25,047

〈概要〉 保健福祉センターの衛生的な環境と安全の確保、各設備等の機能の維持、各機器等の保守点検を業者委託により実施した。

〈成果〉 保健福祉センターで実施される各種事務及び事業の円滑な運営を図った。

【4款 衛生費 1項 保健衛生費】

1目 保健衛生総務費

○保健福祉センター改修事業 【健康づくり課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	25,234	7,634

〈概要〉 保健福祉センターの老朽化した設備の更新・改修を行った。

〈成果〉 保健福祉センターの1階及び2階事務室の空調修繕、漏水による屋根・天井・床の修繕を行い、施設の機能回復を図った。

また、火災・ガス漏れ受信機更新工事については、防災システム構築に日数を要し、年度内に適正工期が確保できないため、工事請負費を次年度へ繰り越した。

・令和3年度へ繰越明許 17,600千円

○未熟児養育医療給付事業 【子育て支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
5,221	5,282	5,239

〈概要〉 未熟児に対し、養育に必要な医療の給付を行った。

〈成果〉 医療費給付 17人 (内 前年度より引き続き3人)

○産後ケア事業 【健康づくり課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,041	1,751	1,215

〈概要〉 母子保健衛生費国庫補助金を活用し、事業を実施。出産後5か月未満の母子で、育児不安のある方や支援者がいない方に対し、協力産科医療機関による産後ケアを提供し、産婦への支援を行った。

〈成果〉 産婦のニーズに合わせて支援を実施し、心身共に負担軽減を図ることができた。

産後ケア	人数	日数
宿泊型	7人(実)	32日(延)
日帰り型	3人(実)	10日(延)

【4款 衛生費 1項 保健衛生費】

1目 保健衛生総務費

○健康マイレージ事業 【健康づくり課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1, 226	2, 135	1, 655

〈概要〉 健康づくりへの関心を高めることを目的に、各種健（検）診や健康に関する事業・イベントなどへの参加、自主的な健康づくりへの取組に対してポイントを付与し、ポイントに応じた報奨品を進呈した。

また、規則正しい生活習慣の習得並びに健康の保持・増進を図ることを目的に、市内公立保育園年長児、小中学生を対象としたこども版も実施し、取組に対してポイントを付与し、報奨品を進呈した。

〈成果〉 幅広い年代の市民が健康づくりに取り組むきっかけづくりを図った。

応募総数 1, 198件（18歳以上）
706件（年長児、小中学生）

○君津中央病院負担金 【健康づくり課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
409, 800	454, 693	454, 693

〈概要〉 君津中央病院の安定的な運営を図り、地域医療の充実に資するため、君津地域4市で運営費等を負担した。

〈成果〉 君津中央病院の本院、分院、看護学校の運営費等を負担し、地域中核病院としての高度専門医療、第三次救急医療機能の充実・向上に向けた財政的支援を図った。また、新型コロナウイルス感染症患者受け入れに伴う病床や診療材料確保等に対応する経費を負担し、医療体制の強化を支援した。

(単位：円)

負担額	本院	分院	看護学校	新型コロナウイルス感染症対策	合計
	348, 042, 240	3, 550, 720	53, 473, 730	49, 626, 000	454, 692, 690

〈負担額内訳〉

*前年度(R1)8月1日現在の人口及び人口割

	利用者数		利用者割	均等割	合計	算定の基礎
本院	114, 994人	26. 51%	281, 642, 240	66, 400, 000	348, 042, 240	利用者割80%+均等割20%
大佐和分院	4, 018人	7. 62%	1, 950, 720	1, 600, 000	3, 550, 720	利用者割80%+均等割20%
看護学校	*82, 745人	25. 49%	*37, 648, 730	15, 825, 000	53, 473, 730	人口割70%+均等割30%
新型コロナ感染症対策	114, 994人	26. 51%	40, 158, 000	9, 468, 000	49, 626, 000	利用者割80%+均等割20%

【4款 衛生費 1項 保健衛生費】

1目 保健衛生総務費

○子育て世代包括支援センター運営事業 【健康づくり課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,338	6,537	6,283

〈概要〉 令和元年10月に子育て世代包括支援センターを健康づくり課内に設置し、母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、助産師等による相談や関係機関への連絡調整等を行い、妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援に努めた。

〈成果〉 母子手帳交付時に妊婦への全数面接を実施し、個々に合わせて必要な支援へつなげるとともに、出産・子育て等について気軽に相談できる場所として周知に努めた。

助産師の配置により、妊産婦のニーズに対して、よりきめ細かく適時支援ができた。

	回数	人数・組
妊婦健康相談	随時	452人(実)
マタニティクラス	12回	74人(延)
パパママクラス	6回	68組(延)
母乳相談	随時	83人(延)

○妊婦支援特別給付金給付事業 【健康づくり課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	40,110	35,759

〈概要〉 新型コロナウイルス感染症の感染予防のため負担がより大きくなることが懸念される妊産婦に対する応援事業。令和2年4月27日に妊娠していた妊産婦に対し児一人当たり10万円を支給し支援した。

〈成果〉 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が心配される中、安心・安全な出産・子育てに寄与した。

(単位：千円)

支給件数	支給額
356件(うち双胎1組)	35,700

【4款 衛生費 1項 保健衛生費】

2目 予防費

○感染症予防事業 【健康づくり課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
177,662	223,906	219,253

〈概要〉 予防接種法に基づく定期予防接種は、BCG・ヒブ・日本脳炎等を乳幼児期・学童期に実施しており、令和2年10月から新たにロタウイルス感染症予防接種が加わった。また、平成31年4月から実施している風しん第5期（対象：昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性）は令和4年3月31日までの実施予定。子宮頸がんについては、平成25年6月の国の通知により、引き続き、積極的勧奨を差し控えている。65歳以上の高齢者に対するインフルエンザ・肺炎球菌ワクチンについて、定期接種として接種費用の助成を実施した。

また、感染拡大防止策として必要な衛生関係消耗品等の購入を行った。

〈成果〉 感染症法及び予防接種法に基づき、食中毒予防の啓発や結核まん延の予防、定期予防接種の対象となる感染症の発生及びまん延の防止を図った。また、任意予防接種の対象となる感染症の発症及び重症化の予防を図った。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、マスク、手指消毒用アルコール、使い捨て防護服、使い捨て手袋、フェイスシールド、ドーム型サーマルカメラ等の購入を行い、公共施設や市内医療機関等で使用することで、感染拡大防止に努めた。

定期予防接種 (単位：人)

予防接種名	接種者数
ロタウイルス感染症	402
ヒブ	1,914
小児の肺炎球菌	1,866
B型肝炎	1,397
4種混合	1,934
BCG	477
不活化ポリオ	0
麻しん・風しん混合	1,034
水痘	960
日本脳炎	2,454
2種混合	602
子宮頸がん	86
風しん第5期抗体検査	1,843
風しん第5期予防接種	435
高齢者インフルエンザ	17,480
高齢者用肺炎球菌	847

【4款 衛生費 1項 保健衛生費】

2目 予防費

○健康診査事業 【健康づくり課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
10,277	11,824	9,163

〈概要〉 健康増進法に基づく生活習慣病予防を目的とした健康診査及び肝炎ウイルス検診、歯周疾患検診を実施した。

〈成果〉 各種健診等事業を実施及び推進することにより、市民の健康の増進を図った。

生活習慣病予防健診（18歳から39歳まで）に関しては新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

(単位：人)

項目	受診者数
生活習慣病予防健診（18歳から39歳まで）	0
生活習慣病予防健診（医療保険未加入者）	24
肝炎ウイルス検診	1,368
歯周疾患検診	163

【4款 衛生費 1項 保健衛生費】

2目 予防費

○各種がん検診事業 【健康づくり課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
84,013	62,603	60,056

〈概要〉 がんを早期発見、早期治療することで、がん死亡率の低下を図るため、胃がん、子宮がん、乳がん、結核・肺がん、大腸がんの一次検診を実施した。なお、平成21年度から、各種がん検診に掛かる自己負担金を無料としている。また、7月から12月にかけてがん検診推進事業を実施した。

〈成果〉 各種がん検診を実施し、がんの早期発見・早期治療を図るとともに、受診率の向上に努めた。

(委託料)	胃がん検診事業	5,238千円
	子宮がん検診事業	30,830千円
	乳がん検診事業	13,387千円
	結核・肺がん検診事業	3,133千円
	大腸がん検診事業	3,452千円

(単位：人)

項目	受診者数	異常なし	要精密検査	精密検査となった者の結果		
				異常なし	がん疑い	がん
胃がん	916	868	48	1	2	0
子宮がん	3,853	3,805	48	5	1	1
乳がん	2,903	2,833	70	28	1	4
結核・肺がん	1,823	1,794	29	5	5	0
大腸がん	2,127	1,986	141	21	0	6

【4款 衛生費 1項 保健衛生費】

2目 予防費

○新型コロナウイルス感染症対策事業 【高齢者支援課・健康づくり課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	53,969	26,134

・学校等PCR検査データ解析事業 【健康づくり課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	1,927	1,777

〈概要〉 学校等で新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合に、保健所によるPCR検査の対象とならない者に対しPCRデータ解析を行い、陽性疑いの有無の判定を行うことで、児童・生徒等の不安を解消し、安心した社会生活を送れるようにすることを目的に、国立大学法人千葉大学と委託契約を締結した。

〈成果〉 ・実施件数 1校 312件

・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 【健康づくり課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	39,793	23,978

〈概要〉 新型コロナウイルス感染症に係るワクチンについて、国からの供給が開始された場合に市民への円滑な接種を実施するため、必要な体制を整備した。

〈成果〉 コールセンター等業務委託（令和2年度から令和3年度債務負担行為設定）、予防接種台帳システム等の改修、接種券の印刷・郵送準備、集団接種・個別接種に必要な物品の購入等、ワクチン接種を開始できるよう準備を行うことができた。

国の当初予定よりワクチンの供給が遅れたため、年度内での執行が困難になった部分については、次年度へ繰り越した。

・令和3年度へ繰越明許 10,895千円

【4款 衛生費 1項 保健衛生費】

2目 予防費

・新型コロナウイルスワクチン接種対策事業 【高齢者支援課・健康づくり課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	8,325	377

〈概要〉 ワクチン接種が開始になった際、75歳以上の高齢者への接種会場までの交通支援策として、タクシー等で利用できる共通利用券（1人当たり4,000円）を交付するための準備を行った。

〈成果〉 タクシー等共通利用券の作成を行い、接種券の発送時に同封して75歳以上の高齢者に送付できるよう準備を行うことができた。

○医療関係団体支援金給付事業 【健康づくり課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	1,621	1,580

〈概要〉 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止等の対策を行っている君津木更津医師会、君津木更津歯科医師会、君津木更津薬剤師会薬業会に対し、支援金（市内医療機関の会員数×1万円）の給付を行った。

〈成果〉 支援金の給付により、感染拡大防止等の対策への支援に努めた。

- ・一般社団法人 君津木更津医師会 会員数85人×1万円＝85万円
- ・一般社団法人 君津木更津歯科医師会 会員数29人×1万円＝29万円
- ・特定非営利活動法人 君津木更津薬剤師会薬業会 会員数44人×1万円＝44万円

【4款 衛生費 1項 保健衛生費】

3目 保健施設活動費

○妊婦乳児健康診査事業 【健康づくり課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
50,997	55,338	48,697

〈概要〉 妊婦及び乳児の健康診査を医療機関に委託して、健康診査の一層の徹底と妊婦及び乳児の健康管理の向上を促進した。

〈成果〉 安全な出産への援助及び疾病の早期発見に努め、健やかな親子の成長に寄与した。

妊婦健康診査	乳児健康診査
5,438件(延)	830件(延)

○母子保健推進事業 【健康づくり課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
4,003	4,551	4,168

〈概要〉 少子化、核家族化、地域コミュニティの希薄化、情報の多様化など、母子を取り巻く環境の変化への対応を図り、母子の健康の保持及び増進を支援する事業を実施した。

〈成果〉 妊娠期から育児期における家庭訪問、健康相談、保健指導及び健康診査等を実施し、母子の健全な育成の支援を図った。

	回数	人数・組
母子保健推進員訪問指導数	随時	53人(実)
妊産婦・乳幼児訪問指導数	随時	1,439人(延)
赤ちゃん育児相談	25回	640人(延)
子どもの発達相談	12回	30人(延)
幼児健康相談	37回	341人(延)
むし歯予防教室	3回	6組(実)
園児むし歯予防教室	11回	558人(資料配布)

幼児健康診査名	対象者数	受診者数	精密健康診査受診者
1歳6か月児健康診査	548人	525人	19件(延)
3歳児健康診査	576人	548人	96件(延)

【4款 衛生費 1項 保健衛生費】

3目 保健施設活動費

○特定不妊治療費等助成事業 【健康づくり課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
4,394	5,197	2,480

〈概要〉 高額な特定不妊治療費等の一部を助成することにより、不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図った。

〈成果〉 治療費等の一部助成により経済的負担を軽減し、不妊治療の取組への支援を行った。

	実数	延数
特定不妊治療	25件	36件
男性不妊検査	2件	2件

4目 公害対策費

○大気汚染監視関係事業 【環境保全課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,682	2,935	2,821

〈概要〉 市民の生活環境の保全を図るため、大気汚染の常時監視、環境保全協定締結工場のばい煙の立入調査、臨海地域や山砂輸送車両が通行する沿道の浮遊粉じん及び降下ばいじんの測定を実施した。

〈成果〉 大気汚染の測定を継続的に行うことで、環境基準の適合状況や協定値の遵守状況、経年推移を確認することができた。

- ・大気汚染常時監視測定局 市内6地点 (久保、坂田、人見、宮下、糠田、俵田)
※坂田、宮下については、令和3年3月31日で測定終了
- ・降下ばいじん測定 市内14地点
- ・浮遊粉じん測定 市内6地点
- ・協定工場におけるばい煙の立入調査 日本製鉄(株) 東日本製鉄所 君津地区 (2月実施)
- ・光化学スモッグの監視 4月～10月
君津地域での注意報発令：1回
※君津地域とは、木更津市、君津市及び富津市

【4款 衛生費 1項 保健衛生費】

4目 公害対策費

○水質分析等委託事業 【環境保全課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,529	2,956	2,847

〈概要〉 市民の生活環境の保全と水質汚濁の防止を図るため、公共用水域の水質の監視、小櫃川水道水源保全条例対象事業場の排水検査及び環境保全協定締結工場の排水調査を実施した。

〈成果〉 水質の測定を継続的に行うことで、環境基準の適合状況、規制基準及び協定値の遵守状況、経年推移を確認することができた。

調査対象	調査場所	調査回数	調査地点	調査項目
河川	小糸川	月1回	6地点	pH、BOD、SS、DO、T-N、T-P (健康項目等の31物質は、小糸川2地点、小櫃川2地点、御腹川支流1地点で年1回)
	小櫃川	月1回	4地点	
	御腹川	月1回	1地点	
	小糸川支流	年2回	4地点	
湖沼	亀山湖	月1回	4地点	pH、COD、SS、DO、T-N、T-P (健康項目等の31物質は、亀山湖の2地点で年1回)
海域	東京湾	年4回	4地点	pH、COD、SS、DO、T-N、T-P (健康項目等の29物質は、1地点で年1回)
協定工場	2工場	年3回	11地点	pH、COD、SS、T-N、T-P等
ゴルフ場	3事業場	年1回	3地点	pH、BOD、COD、SS、T-N、T-P及び条例で定められた農薬68物質のうち使用されていた43物質
廃棄物最終処分場	1事業場	年1回	1地点	pH、COD、BOD、SS、T-N、T-P及び有害物質等28物質
廃棄物最終処分場及び河川	1事業場及び御腹川	月1回	3地点	塩化物イオン濃度

備考：pH（水素イオン濃度）、COD（化学的酸素要求量）、BOD（生物化学的酸素要求量）、SS（浮遊物質）、DO（溶存酸素量）、T-N（全窒素）、T-P（全りん）

【4款 衛生費 1項 保健衛生費】

4目 公害対策費

○大気汚染測定機器等整備事業 【環境保全課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,678	2,625	2,624

〈概要〉 大気汚染を常時監視している測定機器を更新することで、老朽化により発生する測定値の欠落や誤作動を防止した。

〈成果〉 測定値の欠落等を防ぐことで、市民の健康の保護と生活環境の保全を図ることができた。

更新機器及び更新箇所

- ・大気中二酸化硫黄自動測定機 (糠田局)
- ・風向風速計 (俵田局)

○廃棄物不法投棄対策事業 【環境保全課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
5,792	5,189	4,844

〈概要〉 各地区の不法投棄監視員10人による巡回(月2回)と、元警察官の環境監視員2人によるパトロール(夜間を含め週3回)を実施するとともに、監視カメラを設置し、不法投棄多発区域の監視に努めた。

監視カメラについては、新たに3台を追加で導入し、計5台体制としている。

〈成果〉 不法投棄の巡回、パトロール、監視カメラの設置等により、不法投棄の抑止や早期の発見が図られたとともに、行為者が特定された事案については厳しく対処することができた。

- ・不法投棄通報件数 58件
- ・撤去等処理済件数 54件
- ・不法投棄防止用看板設置数 45枚

【4款 衛生費 1項 保健衛生費】

4目 公害対策費

○放射能調査対策事業 【環境保全課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
648	667	622

〈概要〉 東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故に起因した放射性物質の影響について確認するため、空間放射線量の測定と廃棄物最終処分場の放流水等の放射能の検査を行い、検査結果をホームページで周知した。

〈成果〉 放射性物質による影響を調査することで、市民の安全と安心の確保に努めた。

- ・ 定点（公共施設10地点）での空間放射線量の測定 月1回
（測定結果：毎時0.03～0.06マイクロシーベルト）
- ・ 廃棄物最終処分場放射能分析委託（浸出水・放流水） 月1回
（放射性セシウムは検出されていない。）

○エコスクール認定事業 【環境保全課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
212	184	108

〈概要〉 積極的な環境配慮の取組を行う公立小中学校をエコスクールとして認定しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大によって各校における従来どおりの活動の実施が難しいとの判断に至り、事業を中止した。令和2年度の認定審査は見送り、認定更新審査の対象であった学校については、特例として認定期間（3年間）を1年間延長し、令和3年度に審査を執り行うこととした。

各校の環境活動に要する消耗品費に関しては、従来どおり支給した。

〈成果〉 消耗品費については活動再開を見据えた活用が行われ、認定事業を中止している間における各校の環境配慮意識の維持に役立った。なお、認定事業は令和3年度から再開している。

- ・ 活動用消耗品費の支給 14校 107,791円

【4款 衛生費 1項 保健衛生費】

4目 公害対策費

○住宅用省エネルギー設備等導入補助事業 【環境保全課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
6,978	7,716	6,987

〈概要〉 住宅用太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム、定置用リチウムイオン蓄電システムの設置費の一部について、設置者に補助を行った。

〈成果〉 環境への負荷が少ない自然エネルギーの利用、家庭におけるエネルギー利用の効率化・最適化の推進及び市民意識の高揚が図られ、地球温暖化の防止に寄与することができた。

また、令和元年房総半島台風以降、非常用電源としても有効な定置用リチウムイオン蓄電システムの申請件数が増加傾向にある。

住宅用太陽光発電システム（発電出力1kw当たり2万円で、上限9万円）

- ・申請件数 18件
- ・確定額総額 1,472,000円

家庭用燃料電池システム（上限5万円）

- ・申請件数 8件
- ・確定額総額 400,000円

定置用リチウムイオン蓄電システム（上限10万円）

- ・申請件数 51件
- ・確定額総額 5,100,000円

○ポリ塩化ビフェニル廃棄物等処理事業 【環境保全課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
8,234	21,435	21,127

〈概要〉 ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法に基づき、高濃度PCB含有安定器の処理期限である令和4年度までに処理を完了するため、PCB廃棄物を処理した。

〈成果〉 高濃度PCB含有安定器を適正に処理した。（ドラム缶2缶：736kg）

- ・ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理業務委託 20,764千円
- ・ポリ塩化ビフェニル廃棄物収集運搬業務委託 363千円

【4款 衛生費 1項 保健衛生費】

4目 公害対策費

○不法投棄監視車両購入事業 【環境保全課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	2,005	978

〈概要〉 不法投棄監視業務等に使用することを目的として、新たに公用車1台を購入した。

〈成果〉 4人乗りの軽トラックを導入し、搭乗部と積載スペースを分離したことで、業務の効率化と労働環境の改善が図られた。

また、四輪駆動車としたことで、従来では走行できなかった狭隘な悪路等の現場への立入りも可能な監視体制となった。

- ・購入車両 軽トラック 4人乗り4WD 防犯パトロール用青色回転灯付き

【4款 衛生費 1項 保健衛生費】

6目 環境衛生費

○上総聖苑管理運営事業 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
11,724	15,813	14,226

〈概要〉 上総聖苑の維持、管理運営を効率的に行うため、火葬業務及び施設管理を委託した。

〈成果〉 使用許可件数

(単位：件)

	12歳以上	12歳未満	死胎	改葬	四肢	免除	計
市内	261	0	2	0	0	19	282
市外	67	1	0	0	1	3	72
計	328	1	2	0	1	22	354

○富津聖苑管理運営事業負担金 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
13,120	15,420	15,258

〈概要〉 君津・小糸・清和地区の市民の利便を図るため、火葬に関する事務の管理執行を富津市に委託し、当該管理執行に係る経費について、人口や利用件数等に応じて負担金を支払った。

〈成果〉 利用件数

令和元年10月1日から令和2年9月30日までの利用件数

君津市 735件

(君津・小糸・清和地区697件、小櫃・上総地区及び君津・富津市外38件)

富津市 719件

(富津市内651件、君津・富津市外68件)

○きれいな街づくりクリーン作戦実施事業 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
358	383	18

〈概要〉 5月31日に開催を予定していた市民参加による環境美化推進事業である「散乱ごみ一掃クリーン作戦」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。

【4款 衛生費 1項 保健衛生費】

6目 環境衛生費

○合併処理浄化槽設置促進事業補助金 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
13,466	16,042	13,263

〈概要〉 生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るため、し尿と生活雑排水を併せて処理する合併処理浄化槽を設置した者に対し、補助金を交付した。

〈成果〉 交付実績

設置区分	合併処理浄化槽の種別	人槽区分	実績(基)
新規設置	高度処理型合併処理浄化槽Ⅱ	5～50人槽	13
転換を伴う設置	高度処理型合併処理浄化槽Ⅰ	5人槽	8
		6～7人槽	3
		8～50人槽	0
	高度処理型合併処理浄化槽Ⅱ	5人槽	0
		6～7人槽	1
		8～50人槽	0
計			25

○広域火葬場整備事業 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
7,972	900	701

〈概要〉 君津地域4市広域による火葬場の共同整備に向けて、事業主体である木更津市が令和2年度に実施した木更津市新火葬場整備運営事業について、負担割合に応じて負担金を支払った。

〈成果〉 負担金の支払いに係る次の事業が令和2年度内に完了するなど、事業が着実に実施された。

- ・木更津市新火葬場整備運営事業直接協定締結支援業務委託

2,805,000円/4市= 701,250円

【4款 衛生費 1項 保健衛生費】

6目 環境衛生費

○空家等対策推進事業 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
66	142	67

〈概要〉 空家等対策の推進に関する特別措置法及び君津市空家等の適切な管理に関する条例に基づき、空家等に対する対策を効果的に推進するため、君津市空家等審議会を開催した。

〈成果〉 周辺環境に悪影響を及ぼす特に状態の悪い空家1件を特定空家に認定した。

令和2年度第1回君津市空家等審議会

開催日：令和2年12月22日（火）

内 容：状態の悪い空家等に対する特定空家等の認定について

状態の悪い空家等に対する財産管理人選任の申立ての是非について

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額
4 衛生費	2 清掃費	2, 942, 420	2, 691, 281

1目 清掃総務費

○ごみ減量化・再資源化推進事業 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
177, 210	181, 728	180, 336

・資源ごみ分別収集事業 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
152, 900	156, 771	156, 132

〈概要〉 資源ごみの分別収集（14品目）を行い、ごみの排出抑制と再資源化の促進に努めた。

〈成果〉 令和2年度におけるごみのリサイクル率（集団回収を含む）は、25.2%となった。

$7, 265 \text{ t (再資源化量)} / 28, 849 \text{ t (一般廃棄物総量)} = 25.2\% \text{ (リサイクル率)}$

- ・缶、びん、紙、繊維類の収集委託（4社 収集量2, 688 t 102, 497千円）
- ・ペットボトル、容器包装プラスチックの収集委託（2社 収集量731 t 43, 032千円）
- ・廃棄物減量等推進員報償金（令和2年4月1日現在 対象者数：434人 2, 556千円）
- ・回収量に応じ自治会に交付金（1kg当たり2円）を支出（回収量：3, 309 t 6, 617千円）
- ・（公財）日本容器包装リサイクル協会等への再資源化委託（委託量1, 161 t 592千円）

・生ごみ肥料化容器購入設置事業補助金 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
187	423	422

〈概要〉 ごみの減量化を図るため、生ごみ肥料化容器等の購入者に対し、費用の一部を助成した。

〈成果〉 家庭での生ごみの再資源化によって、ごみの減量化につながった。

区 分	補助単価	数 量	補助額
コンポスト容器	3千円	22	66千円
EM容器	3千円	6	6千円
家庭用生ごみ処理機	20千円	22	345千円

※ 補助単価は上限単価

【4款 衛生費 2項 清掃費】

1目 清掃総務費

・資源ごみ集団回収推進事業助成金 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
814	1,011	259

〈概要〉 資源ごみ（古紙、缶類等の有価物）の集団回収を行った団体（PTA、子ども会等）及びその引取りをした組合に対して助成金を交付した。

〈成果〉 新型コロナウイルス感染症の影響により、回収量と実施団体数が減少した。

- ・回収量 82 t（実施団体：16団体）
- ・助成額 回収団体 1kg当たり2円 組合 1kg当たり1円

・ペットボトル・容器包装プラスチック分別事業 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
23,309	23,523	23,523

〈概要〉 容器包装リサイクル法に基づき、資源ごみとして収集したペットボトルと容器包装プラスチックを分別基準適合物とするため、圧縮、梱包、保管業務について(株)佐久間へ委託した。

〈成果〉 ペットボトルと容器包装プラスチックを資源ごみとして分別することが市民に定着し、資源循環型社会の構築及びごみのリサイクル率の向上につなげることができた。

- ・処理実績 ペットボトル 301 t
- 容器包装プラスチック 429 t

【4款 衛生費 2項 清掃費】

1目 清掃総務費

○ごみ減量化施策推進事業 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
32,894	31,127	28,821

・家庭系ごみ指定袋制推進事業 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
32,645	30,811	28,539

〈概要〉 平成28年4月から「単純従量制」によるごみ袋の有料化を実施している。

サイズ (容量)	可燃ごみ用 (10枚入り)	不燃ごみ用 (10枚入り)
ミニ袋 (10リットル)	100円	
小袋 (20リットル)	200円	200円
中袋 (30リットル)	300円	300円
大袋 (40リットル)	400円	400円

2歳6か月未満の乳幼児を養育する世帯、寝たきり老人及び寝たきり身体障害者(児)のいる世帯は、おむつ用の特例措置として、一定枚数の指定ごみ袋を無料配布した。

〈成果〉 令和2年度のごみ量を制度実施前の平成11年度と比較すると、可燃ごみで36.1%の減、不燃ごみで37.3%の減となった。

- ・指定ごみ袋の作成 3,582,500枚
- ・指定ごみ袋の販売枚数 3,404,830枚 (歳入：105,387千円)
- ・指定ごみ袋取扱店に対する取扱手数料 (80店舗)

・粗大ごみ有料化推進事業 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
249	316	282

〈概要〉 ごみステーションへの排出が困難である粗大ごみの個別収集を実施した。

〈成果〉 個別収集を実施することにより、廃棄物の適正処理の促進を図ることができた。

- ・収集実績 (1,491件、2,846点)

【4款 衛生費 2項 清掃費】

1目 清掃総務費

○広域廃棄物処理施設整備事業 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2, 888	123, 605	123, 103

〈概要〉 木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、鴨川市、南房総市及び鋸南町の6市1町による協議会の共同事業である第2期君津地域広域廃棄物処理事業を令和9年4月の操業開始に向け、各種手続きなどについて構成市町で連携を図り、計画に遅れが生じないよう事業を進めている。

〈成果〉 協議会で契約した事業者選定アドバイザー業務委託により、コンサルタントからの的確な支援を受け、適切かつ迅速に選定事務手続きを進めることができた。

- ・令和2年9月 特定事業者と事業契約及び株主間協定を締結
- ・令和2年12月 環境影響評価の手続き開始
- ・令和3年1月 特定事業者へ出資
- ・令和3年3月 事業系ごみの受入れに伴う事業契約の変更契約及び三者協定を締結

特定事業者への出資金 118, 000千円
 第2期君津地域広域廃棄物処理事業構成市町負担金 5, 103千円

○災害廃棄物処理計画策定事業 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2, 255	2, 068	2, 068

〈概要〉 大規模災害時に、多量に発生することが見込まれる災害廃棄物を円滑かつ適正に処理するため、その初動体制や処理方法等の基本的事項を示す「災害廃棄物処理計画」の策定については、令和元年房総半島台風等の経験を活かすため、令和2年度に事業を繰り越した上で策定に当たった。

〈成果〉 令和元年房総半島台風等の経験を踏まえ、計画内容を見直すことで、同規模以上の災害に対応しうる計画を策定することができた。

【4款 衛生費 2項 清掃費】

2目 塵芥処理費

○一般廃棄物収集業務委託 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
171,201	176,620	175,702

〈概要〉 家庭から排出される生活ごみの収集を円滑に行うため、収集運搬業務を委託した。

〈成果〉 収集業務を委託することにより、経費削減につながった。

区分	委託台数	収集量
可燃ごみ収集運搬	10台	12,950.27 t
不燃ごみ収集運搬	1台	429.03 t

【4款 衛生費 2項 清掃費】

2目 塵芥処理費

○広域廃棄物処理事業 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
749,204	753,565	742,714

〈概要〉 可燃物、不燃残渣、し尿汚泥について、(株) かずさクリーンシステムに中間処理を委託した。
また、中間処理後の溶融飛灰について、山形県米沢市の(株) エコス米沢と秋田県小坂町のグリーンフィル小坂(株) に最終処分を委託した。

〈成果〉 広域廃棄物処理事業として、(株) かずさクリーンシステムに中間処理委託し、処理経費及び最終処分量の縮減が図れた。

中間処理委託量 (株) かずさクリーンシステム

可燃物(破碎3品含む) 23,768.85 t

不燃残渣 606.14 t

し尿・汚泥等 314.50 t

計 24,689.49 t 703,359千円

溶融飛灰処分量 グリーンフィル小坂(株) 771.33 t 27,660千円

(4月～9月、1月中旬～3月)

(株) エコス米沢 285.89 t 11,321千円

(10月～1月上旬)

計 1,057.22 t 38,981千円

※公費解体分7.19 tは含まず

米沢市環境保全協力金(四半期搬入実績量×1,300円/t)

(10月～12月) 263 t 342千円

(1月) 25 t 32千円

計 288 t 374千円

○塵芥処理車両整備事業 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	11,759	9,393

〈概要〉 老朽化した塵芥車両等を更新し、収集運搬に支障をきたさないよう努めた。

〈成果〉 塵芥処理車両と車両備品、特殊車両を更新した。

・塵芥処理車両 2t 天蓋車

・車両備品 4t コンテナ

・特殊車両 フォークリフト

【4款 衛生費 2項 清掃費】

2目 塵芥処理費

○災害廃棄物処理事業 【環境衛生課・住宅営繕課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
111,167	630,532	421,356

〈概要〉 令和元年房総半島台風等により被災し、半壊以上の判定を受けた家屋に対して、公費解体制度と自費解体実施者への償還制度を設け、損壊家屋の解体撤去を行った。

また、災害廃棄物処理事業の実施に当たり、国の災害等廃棄物処理事業費補助金を活用した財源確保に努めるとともに、早期の復旧復興を図った。

〈成果〉 損壊家屋の解体撤去については、自費にて解体が困難なものについては、公費解体を行い、自費にて解体を行ったものについては償還払いを実施した。

また、公費解体により発生した災害廃棄物を受け入れる仮置場を市内4か所（君津市清掃工場・貞元仮運動場・久留里スポーツ広場駐車場・旧秋元小学校グラウンド）に設置し、仮置場ごとに受け入れる災害廃棄物を限定し、適正かつ円滑に処理することができた。

(繰越明許分)

・損壊家屋処理実績

公費解体	198,116千円	42件
自費解体償還	131,027千円	45件

・災害廃棄物処理実績 2,298.28 t (公費解体件数：42件)

(木くず)	766.96 t
(コンクリート)	1,098.12 t
(金属類)	67.48 t
(屋根・壁材)	148.74 t
(混合廃棄物)	89.99 t
(ガラス)	11.44 t
(畳)	13.40 t
(可燃物)	43.70 t
(草・竹)	54.98 t
(伐採木)	3.47 t

【4款 衛生費 2項 清掃費】

3目 し尿処理費

○衛生センター整備事業 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
13,342	506,024	505,659

〈概要〉 衛生センターの施設更新に向けて、令和2年度に実施した事業

〈成果〉 整備工事の着手に向け施工管理体制を構築し、実施設計及び建設工事を進めた。令和2年度は、建物の基礎及び脱水設備が完成するなど、工事の進捗率は当初予定どおり約15%となっている。新施設稼働後の施設運営方針を検討するため、長期包括運営委託に係る導入可能性調査を行った。

・君津市衛生センター整備工事（令和2年度支払分）	494,466千円
・工事監督支援業務委託（令和2年度支払分）	6,453千円
・設計・施工モニタリング支援業務（令和2年度支払分）	2,472千円
・新施設運営に係る調査検討業務	2,200千円
・その他（旅費、通信運搬費等の事務費）	68千円

合計 505,659千円

【4款 衛生費 2項 清掃費】

3目 し尿処理費

○施設管理費 【衛生センター】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
180,255	184,532	174,973

〈概要〉 衛生センターの管理運営に要した経費（光熱水費、運転用薬品、運転用消耗品、施設用燃料費、施設管理委託費等）

〈成果〉 生し尿、浄化槽汚泥搬入実績量

生し尿	1,794.47 kℓ
浄化槽汚泥	17,212.93 kℓ
計	19,007.40 kℓ

※乾燥汚泥、残渣汚泥の搬出量 194 t
(株式会社かずさクリーンシステムで処理)

○施設修繕費 【衛生センター】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
19,210	20,000	19,011

〈概要〉 衛生センターの施設修繕に要した費用

- 〈成果〉
- ・遠心濃縮機2号機分解整備業務 5,280千円
経年劣化のため補修した。
 - ・破碎機肉盛研磨業務 1,584千円
破碎機の研磨を実施した。
 - ・水中アクアレーター分解整備業務（No.3、4号機） 4,950千円
機能低下防止のため整備した。
 - ・硝酸洗浄ポンプ補修業務 3,190千円
経年劣化のため補修した。

ほか21業務

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額
5 労働費		56,233	39,505
	1 労働費	56,233	39,505

1目 労働費

○君津勤労者総合福祉センター等管理運営事業 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
31,676	33,208	33,066

〈概要〉 市民の研修、体力づくり等の活動の場として、福祉の充実と勤労意欲の向上及び健康増進のための施設、君津メディカルスポーツセンター内の勤労者総合福祉センター及び君津緩衝緑地（西君津）有料公園施設の維持管理を実施した。（公財）体力づくり指導協会を指定管理者として指定した。

〈成果〉 令和2年度施設別利用状況（令和3年3月31日現在）

・ 勤労者総合福祉センター	研修室	3,447人	トレーニングジム	11,239人
	会議室	946人	フィットネススタジオ	15,289人
	特別会議室	2,658人	サウナ	0人
	教養文化室	6人	見学・視察者	13人
合 計		33,598人		
・ 君津緩衝緑地（西君津）有料公園施設	テニスコート	4,906人		

○君津版ハローワーク管理運営事業 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
—	2,184	2,111

〈概要〉 市役所本庁舎内にて職業相談や求人の斡旋等を行うサービスを提供し、市民の就業と企業の労働力確保を支援した。

〈成果〉 相談件数：435件 紹介件数：86件 採用件数：16件

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額
6 農林水産業費		3, 213, 020	1, 819, 965
	1 農業費	3, 135, 534	1, 747, 058

1目 農業委員会費

○農業委員会委員関係費 【農業委員会事務局】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
12, 350	14, 006	12, 828

〈概要〉 農業委員会会議（委員会総会）を年13回開催し、農地法に基づく申請等処理した。
遊休農地等の拡大防止や担い手の確保など適切な指導と担い手への農地利用集積を図った。

〈成果〉 総会における処理状況

農地法第3条	142件	7, 034 a
農地法第4条	24件	114 a
農地法第5条	148件	832 a
農地法第18条	11件	631 a
農用地利用集積	150件	4, 763 a

2目 農業総務費

○農村環境改善センター管理運営事業 【農政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
6,531	20,554	6,990

〈概要〉 農家生活の改善、農業者の健康増進等を図るため、農村環境改善センターを指定管理者制度により管理運営を委託した。

〈成果・進捗〉

施設の使用許可、使用料の徴収など施設全般の管理を委託した。

施設の老朽化により雨漏りが発生したため、屋根防水の改修工事を発注したが、年度内では適正工期が確保できないため、次年度へ繰り越した。

令和3年度へ繰越明許 13,211千円

○道の駅管理事業 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
5,280	6,699	6,444

〈概要〉 南房総を訪れる人々に対して、観光施設等の地域情報やトイレ等快適な憩いの場を提供するため、道の駅「ふれあいパーク・きみつ」の管理運営を行った。

〈成果〉 道の駅「ふれあいパーク・きみつ」が、内房総の中央部に位置する本市を經由し、鴨川、館山方面等の南房総を訪れる人々に対して快適な憩いの場を提供した。

委託先 有限会社きみつふれあいの里

3目 農業振興費

○特産品奨励事業 【農政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
635	808	392

〈概要〉 地域農業の振興と活性化を図るため、地域の特産品として位置づけられる奨励品目の生産・販売を拡大し、県内外に宣伝・普及した。特産品として知名度向上を図っている切り花の水生「カラー」の消費拡大展示の委託等を行った。また、有望とされる枝もの切り花「ミモザ」の産地化に向け、苗木導入の補助を行った。

〈成果〉 カラーの消費拡大のために生花の展示を行うことで、カラーの消費拡大とカラー産地としての君津市の知名度向上を促すことができた。

また、ミモザの産地化に向けた取組への支援を行うことができた。

カラーの消費拡大・知名度向上

委 託 先 君津市小糸花卉園芸組合

委 託 費 160,000円

委 託 内 容 カラーの消費拡大展示

場 所 埼玉県白岡市役所

期 間 令和3年2月12日～令和3年2月19日

内 容 カラーの生花展示

ミモザの産地化へ向けた助成

事業主体 君津市小糸花卉園芸組合

事業内容 ミモザの苗木代の補助

実 績 ミモザ苗木 505本 生産者9名

総事業費 495,120円

補助金額 77,000円

カラー酵母の保管に係る手数料

保 存 先 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

バイオテクノロジーセンター

保 管 料 125,400円

3目 農業振興費

○中山間地域活性化対策事業 【農林整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
2,481	2,093	2,090

〈概要〉 中山間地域において、耕作放棄の発生を防止し、国土保全等の多面的機能を確保するため、農業生産活動の継続や多面的機能の増進を図ることなどの集落協定を締結した地区に対し、補助金を交付した。

〈成果〉 指定された4地区の耕作放棄の防止及び集落環境の改善につながった。

要 件 傾斜度1/20以上の急傾斜「水田」及び傾斜度15度以上の急傾斜「畑」
(指定年度及び地区)

平成17年度	西栗倉地区	1.94ha
〃	黄和田畑地区	1.08ha
平成22年度	柳城地区	6.27ha
〃	西日笠地区	1.91ha

交付面積 11.20ha

交付金額 2,088,539円

○野生猿鹿猪等被害防止対策事業 【農政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
34,084	46,810	37,920

〈概要〉 有害鳥獣による農産物等に対する被害を防止するため、有害鳥獣捕獲、被害状況調査等を実施した。

〈成果〉 被害状況調査の実施や要請出動により有害鳥獣による農産物被害状況を把握した。また、有害鳥獣捕獲を行うことで捕獲圧を維持するとともに、捕獲従事者への支援として新たに狩猟免許更新支援制度を整備した。

総事業費 37,919,884円

補助金額 17,539,800円

被害状況調査 被害金額 27,477千円、被害面積 16.5ha

捕獲従事者保険 賠償責任保険及び傷害保険 155人加入

捕獲数 5,686頭

(サル270頭、シカ1,499頭、イノシシ3,021頭、ハクビシン127頭、アライグマ397頭、タヌキ196頭、キョン176頭)

3目 農業振興費

○経営所得安定対策等推進事業 【農政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
3,948	4,923	4,412

〈概要〉 経営所得安定対策の実施に必要な経費のうち、システム運営や作付面積の確認等の地域協議会が行う推進活動等で必要となる経費を助成し、農業経営の安定と生産力の確保を図った。

〈成果〉 経営所得安定対策の加入の推進を行うとともに、大豆・麦等の戦略作物の作付転換を促し、生産力の確保を推進することができた。

水田活用の直接支払交付金受給者	77人
米・畑作物の収入減少影響緩和交付金	13人
畑作物の直接支払交付金 面積払受給者	3人
数量払受給者	2人

○市民農園整備推進事業 【農政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
248	248	248

〈概要〉 特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律に基づき、市が農地所有者から賃借した農地を民間企業「株アグリライフ倶楽部」へ賃貸することにより、市民農園の整備を推進した。

〈成果〉 市民農園の整備推進により、不耕作農地や遊休農地の有効活用と農作業の体験を通じた都市住民と農村との交流による地域の活性化を図ることができた。

賃借面積	6,198㎡ (地権者2人)
賃借料	247,920円 (40,000円/1,000㎡)
貸付区画数	157区画のうち135区画利用

3目 農業振興費

○有害獣被害防止対策事業補助金 【農政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
57,886	74,669	60,969

〈概要〉 有害獣による農産物等に対する被害を防止するため、有害獣被害防止柵の設置等に係る経費の一部を君津市野生猿鹿猪等被害対策協議会へ補助した。

〈成果〉 被害防止柵の設置を推進し、農作物被害を軽減することができた。

事業主体 君津市野生猿鹿猪等被害対策協議会（事務局 JAきみつ）

総事業費 60,968,600円

補助金額 60,388,600円

事業実績 侵入防止柵の整備（新規整備） 23か所 8,175m
 君津地区 2か所・393m、小糸地区 1か所・220m、
 清和地区 2か所・590m、小櫃地区12か所・6,372m、
 上総地区 6か所・600m

侵入防止柵の整備（再整備・令和元年房総半島台風 復旧） 5か所 1,248m
 小糸地区 4か所・1,148m、上総地区 1か所・100m

大動物用箱わなの導入 11基
 君津地区 3基、小櫃地区 6基、上総地区 2基

緊急捕獲活動支援
 イノシシ（成獣） 2,719頭、イノシシ（幼獣） 351頭
 シカ（成獣） 1,539頭、シカ（幼獣） 30頭

その他
 鳥獣害対策クラウドシステムの導入
 トレイルカメラの購入 12台
 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた獣肉処理加工施設への販売促進のための支援
 地域ぐるみ獣害対策の実施

【6款 農林水産業費 1項 農業費】

3目 農業振興費

○植物防疫事業補助金 【農政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
936	936	936

〈概要〉 水稻の病害虫被害を未然に防止し、農業生産性の向上及び良質米の生産を図るため、君津市植物防疫協会の行う農薬空中散布に係る経費の一部を助成した。

〈成果〉 農薬空中散布を実施したことにより、病害虫による被害防止が効果的に行われ、農業生産性の向上と良質米の生産につながった。

実施日 令和2年7月9日、10日、13日、15日、16日、22日、23日

面積 6,968,160㎡

総事業費 30,524,698円

補助金額 936,000円

○「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業 【農政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
24,201	17,500	17,498

〈概要〉 産地の生産力強化拡大を図るため、産地戦略・園芸産地再整備計画を策定した産地が取り組む、高品質・安定的な生産販売体制の整備に対し支援を行った。

〈成果〉 園芸施設の整備を支援することにより、収益性の高い農業の振興を図ることができた。

対象者 1人

整備内容 低コスト耐候性ハウスの新設（イチゴ）1か所

総事業費 64,020,000円

補助金額 17,498,000円

3目 農業振興費

○飼料用米等拡大支援事業 【農政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
826	1,067	933

〈概要〉 食料自給率・持久力向上のため、飼料用米、米粉用米等の新規需要米の作付けによる水田を活用した取組を行う農業者に対して助成を行った。

〈成果〉 飼料用米等を生産することで主食用米価格の安定に貢献した。

補助金額 927,000円

補助対象 24人

作付面積 3,931a

○ジビエ活用推進事業 【農政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
4,581	7,037	5,234

〈概要〉 地域資源の有効活用を図るため、君津市獣肉処理加工施設の維持管理業務と市内食肉処理加工施設で食肉加工されるイノシシの放射性物質検査を行った。

〈成果〉 県の出荷検査方針に基づき、イノシシの受入れ、全頭立会い及び放射能検査をすることで、安全安心なイノシシ肉を流通させることができた。

放射能検査検体数 イノシシ 561頭

検査結果 全て基準値内(100Bq/kg以下)

		処理頭数	販売実績
君津市獣肉処理加工施設	イノシシ	348頭	1,330kg
	シカ	192頭	604kg

【6款 農林水産業費 1項 農業費】

3目 農業振興費

○農業次世代人材投資事業 【農政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
12,750	11,250	10,500

〈概要〉 新規就農や経営継承をするに当たっては、就農準備期間や就農直後の所得の確保等が課題となっていることから、就農直後の青年新規就農者に対する交付金を交付し、青年就農者の経営を支援した。

交付金額 150万円/年 就農後最長5年間交付

※夫婦で農業経営を行っている場合、1.5を乗じて得た額(225万円/年)となる。

なお、前年の所得が100万円を超える場合は交付金額が変動する。

〈成果〉 認定新規就農者に交付金を交付し、経営安定と定着を支援した。

対象者 8人(夫婦型1組を含む。)

【6款 農林水産業費 1項 農業費】

3目 農業振興費

○強い農業・担い手づくり総合支援交付金 【農政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
6, 7 4 9	2, 4 1 5, 8 9 9	1, 1 1 4, 7 3 7

(通常事業分)

〈概要〉 人・農地プランに位置付けられた中心経営体が付加価値の増大や単収増加等に取り組む際の事業費を支援した。

〈成果〉 中心経営体の農作業効率が向上した。

事業主体 1人
 事業内容 コンバイン及びフレコン計測機の導入
 総事業費 10, 030, 000円
 補助金額 3, 000, 000円

(被災者支援分)

〈概要〉 令和元年房総半島台風等で被災した農業用ハウス等の復旧を支援した。

〈成果・進捗〉

被災した農業用施設の復旧が完了し、農業生産を開始した。

事業主体 147人
 総事業費 1, 533, 230, 666円
 補助金額 1, 111, 737, 000円
 (繰越明許分) 722, 919, 000円
 (現年分) 388, 818, 000円

被災した農業用施設の一部については、新型コロナウイルス感染症の影響により、資材等の入手や作業員の確保に想定以上の期間を要し、年度内に事業を完了することが困難となったため、次年度へ繰り越した。

事業主体 39人
 令和3年度へ繰越明許 449, 060, 000円
 令和3年度へ事故繰越 57, 183, 000円

3目 農業振興費

○農地中間管理事業 【農政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,585	6,200	5,563

〈概要〉 農地所有者と農業経営者との間に立って農地の貸借を行う農地中間管理機構（(公社)千葉県園芸協会）から業務の一部を受託し、受け手、出し手の掘り起こしや貸借契約の事務支援を行った。また、農地を貸し付けて担い手への農地集積・集約化に協力した地域や出し手に対し、協力金を交付した。

〈成果〉 農地貸借の相談窓口となることで、農地の集約化や経営規模の拡大等を支援することができた。

農地貸借契約の成立面積 28.1ha（出し手77件、受け手25件）

機構集積協力金 2,475,500円（19件）

（内訳） 地域集積協力金 1,421,000円（2件）

経営転換協力金 1,054,500円（17件）

○6次産業化ネットワーク活動交付金（農業費） 【農政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	32,960	0

〈概要〉 千葉県6次産業化ネットワーク活動事業により、県内の多様な事業者等の連携の下で、農山漁村が有する地域資源の価値を向上させ、消費者等に提供していく6次産業化の推進に取り組む事業所を指導した。

〈進捗状況〉

新たな加工品の開発・販売を目指す農業者の加工・販売施設の整備事業の導入について指導した。事業は法認定され年度内に着工されているが新型コロナウイルス感染症の影響により、受注事業者における資材等の納期に大幅な遅れが発生し、基礎工事の着工が遅れ年度内に事業を完了することが困難となったため、次年度へ繰り越した。

令和3年度へ繰越明許 32,960千円

3目 農業振興費

○農業用ハウス強靱化緊急対策事業 【農政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
—	18,669	16,348

〈概要〉 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」について、千葉県が策定した農業用ハウス災害被害防止計画に基づき実施されたハウスの補強や防風ネットの設置等の対策を支援した。

〈成果〉 農業用ハウスの補強並びに温風暖房機及び防風ネットの設置を支援し、台風や大雪等の災害に強い体制の構築に努めた。

対象者 7人
 栽培面積 29,234㎡
 総事業費 40,181,158円
 補助金額 16,348,000円

5目 農地費

○県営かんがい排水事業 【農林整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
75,792	77,228	76,733

〈概要〉 三島ダム及び人見揚水機場を中心とする揚水体系の再編並びに老朽化の著しい危険箇所の改修及び補修に係る費用の一部を受益面積に応じて負担した。

〈成果〉 危険箇所等の改修により、用水供給の安定化及び農業の保全につながった。
水管理制御システム工事 1式、人見幹線水路工事 L=82mなど

〈進捗〉 計画期間 平成8年度～令和9年度

全体延長L=42,272mのうち26,975m完了(約64%)

事業主体 千葉県

受益面積 1,606.6ha(君津市 1,049.4ha 富津市 557.2ha)

○多面的機能支払交付金事業 【農林整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
43,758	60,266	58,585

〈概要〉 高齢化等による集落機能の低下を補うため、農地や用排水施設及び農村環境の保全と向上に向けた活動を地域ぐるみで取り組む活動組織に対し、交付金を交付した。

〈成果〉 遊休農地や農業施設、農村環境の保全と向上を図ることができた。

多面的機能支払交付金

○農地維持支払

三舟の里保全会など 24組織

交付対象農地 893.59ha

交付金額 26,125,200円

○資源向上支払(共同活動)

三舟の里保全会など 17組織

交付対象農地 691.07ha

交付金額 11,392,920円

○資源向上支払(施設の長寿命化)

三舟の里保全会など 15組織

交付対象農地 535.26ha

交付金額 18,702,665円

5目 農地費

○小規模土地改良事業補助金 【農林整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,002	2,419	2,397

〈概要〉 国庫補助事業及び県単事業の採択基準に満たない小規模な土地改良事業に対して、農業基盤施設の改修整備のため補助金を交付した。

〈成果〉 農業基盤施設の整備により、農業経営の合理化と安定化が促進された。

用排水路改修	糸川水利組合など	2件
揚水機等改修	小糸川沿岸土地改良区など	5件

○水利施設整備事業（基幹水利施設保全型） 【農林整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,005	700	51

〈概要〉 国営、県営土地改良事業により造成した基幹的な農業水利施設で、老朽化の著しい施設を計画的に改修する工事等を支援した。

〈成果〉 農業水利施設の改修により、用水供給の安定化及び農業の保全につながった。

三島ダム地区（事業費の10%以内×富津市との受益面積割合）
 $783,208円 \times 10\% \times 0.653181 = 51,157円$

5目 農地費

○土地改良施設維持管理適正化事業 【農林整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,340	2,710	2,710

〈概要〉 老朽化した農業用施設を計画的に改修するため、土地改良区が行う改修工事等に対して、補助金を交付した。

〈成果〉 農業水利施設の改修により、用水供給の安定化及び農業の保全につながった。

君津市末吉土地改良区

3号井戸整備補修工事（末吉地先）

6,700,000円×10%=670,000円

小糸川沿岸土地改良区

貞元揚水機場整備補修工事（貞元地先）

16,800,000円×10%=1,680,000円

君津市小櫃南部土地改良区

小櫃南部揚水機場取水門整備補修工事（青柳地先）

3,600,000円×10%=360,000円

○地域農業水利施設ストックマネジメント事業 【農林整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
4,120	5,880	5,880

〈概要〉 老朽化した基幹的な農業水利施設を計画的に改修するため、土地改良区が行う改修工事等に対して補助金を交付した。

〈成果〉 基幹的な農業水利施設の改修により、用水供給の安定化及び農業の保全につながった。

君津市向郷土地改良区

向郷揚水機場建屋整備補修工事、機械設備工事、水門ゲート整備補修工事（向郷地先）

58,800,000円×10%=5,880,000円

6目 農道整備費

○農道補修 【農林整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
22,077	17,854	17,287

〈概要〉 農業用施設（農道・排水路・用水路）の修繕や受益者が実施する補修に必要な原材料を支給した。

〈成果〉 老朽化又は破損した農道等の基盤施設の補修及び舗装を行い、農業生産基盤の機能の回復と強化により、農業生産性と利便性が向上した。

修繕（農道舗装等）	小糸大谷地先など	18件
原材料支給、購入	宿原地先など	38件
農道除草、剪定委託	愛宕地先など	3件
重機借上げ	六手地先など	3件

○農道整備事業（保全対策型） 【農林整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
2,036	18,585	16,732

〈概要〉 基幹農道である広域営農団地農道（小櫃川地区）の改修のため、県が実施する工事等に要する費用を負担した。

〈成果〉 県営事業での道路改良実施のため、工事等に要する費用を負担した。

111,549,247円×15%≒16,732,386円

(単位：千円)

款	項	予算現額	支出済額
6 農林水産業費	2 林業費	76,164	71,769

1目 林業総務費

○ミツバツツジ保護事業 【農林整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
3,887	4,084	3,259

〈概要〉 君津市ミツバツツジ保護条例に基づく保護地域の監視員による巡視及び管理委託を実施した。

〈成果〉 ミツバツツジの生育環境を良好にするとともに、適正な保護を行うことができた。

保護地域巡視	くじら島保護地域など	3か所
案内看板修繕	音事協の森	1か所
管理委託	音事協の森など	2か所

2目 林業振興費

○林道整備事業

・林道維持管理事業 【農林整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,468	3,425	2,946

〈概要〉 林道における通行車両の安全確保と事故の未然防止のため、草刈・修繕等の維持管理を実施した。

〈成果〉 草刈りによる視距の確保、法面崩落箇所等の補修により、通行車両の安全と事故防止を図ることができた。

草刈等	諏訪線など	6路線
修繕	糸川間野線など	2路線
重機借上	梨ノ木線など	4路線
原材料支給	三川線など	5路線

2目 林業振興費

○日本一のミツバツツジの里づくり事業 【農林整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
1, 8 2 6	2, 0 0 0	1, 9 2 5

〈概要〉 観光資源の充実を図り、観光客や自然散策者、研究者等市内外からの交流人口の拡大を図ることにより地域の活性化を目指すもので、君津市小香地先（三舟山）に植栽を行い、日本一のミツバツツジの里づくりの整備充実を図った。

〈成果〉 君津市小香地先（三舟山）に植栽を実施し、植栽地の拡大が図られた。

植 栽 ミツバツツジ 246本（三舟山）

○森林環境整備事業 【農林整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
80	11, 524	11, 522

〈概要〉 森林環境譲与税を活用し、重要インフラ施設周辺の森林整備を実施した。

〈成果〉 倒木による停電を未然に防止するため、市道大井・小糸大谷線に隣接する民有林の伐採を行った。

委託料 大井地先 伐採工 64本

(単位：千円)

款	項	予算現額	支出済額
6 農林水産業費	3 水産業費	1,322	1,138

1目 内水面漁業振興費

○淡水魚かい類種苗放流事業補助金 【農政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,140	1,314	1,138

・小糸川漁業協同組合 【農政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
33	36	33

〈概要〉 小糸川流域の淡水魚族資源の維持培養と漁場環境の保全を図るため、小糸川漁業協同組合が実施する有用漁族の種苗放流事業に補助金を交付した。

〈成果〉 漁業協同組合の種苗放流等を支援することで、漁場環境の保全を図ることができた。

アユ	フナ	ウナギ	ニジマス	ワカサギ
—	140kg	—	—	—

総事業費 107,800円

補助金額 33,000円

・小櫃川漁業協同組合 【農政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,107	1,278	1,105

〈概要〉 小櫃川流域の淡水魚族資源の維持培養と漁場環境の保全を図るため、小櫃川漁業協同組合が実施する有用漁族の種苗放流事業に補助金を交付した。

〈成果〉 漁業協同組合の種苗放流等を支援することで、漁場環境の保全を図ることができた。

アユ	フナ	ウナギ	ニジマス	ワカサギ
50,000尾	2,500kg	105kg	10,000尾	卵8千万粒

総事業費 6,584,900円

補助金額 1,105,000円

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額
7 商工費		1, 1 2 8, 1 3 3	9 1 9, 7 2 1
	1 商工費	1, 1 2 8, 1 3 3	9 1 9, 7 2 1

2目 商工振興費

○副次核整備事業 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
9 0 6	1, 0 0 9	5 3 5

〈概要〉 商店街を訪れる観光客へのサービス向上とにぎわいの創出により、観光交流拠点の具現化を図った。

〈成果〉 副次核推進対策協議会による、伝統伝承事業、久留里ボランティアガイド事業、久留里駅前電飾事業などを内容とする商店街活性化事業を実施し、まちのにぎわいの創出を図ることができた。

・君津市副次核推進対策協議会補助金 5 3 5, 4 4 5 円

○企業誘致推進事業 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
3 1, 6 5 2	2 6, 5 7 6	2 5, 1 1 5

〈概要〉 地域経済の発展と活力ある街づくりを推進するため、千葉県や金融機関などの関係機関と連携し、企業訪問や物件紹介等、企業誘致活動を実施するとともに、君津市企業誘致条例（現君津市企業立地促進条例）に基づき、指定企業4社に対して立地奨励金の交付を行った。

〈成果〉 本市への企業進出のきっかけを作り、就業機会の拡大や定住人口の増加、地域経済の発展等につながる活動ができた。

・企業誘致奨励金 2 4, 9 9 2, 0 0 0 円

・その他支出 1 2 3, 2 8 8 円

【7款 商工費 1項 商工費】

2目 商工振興費

○中心市街地商店街活性化推進事業 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
840	420	420

〈概要〉 商店街のにぎわいを創出する集客性のあるイベントやJR君津駅周辺の市街地の活性化に寄与する商店会が行う事業等を支援した。

〈成果〉 イルミネーション事業を支援し、商店会のにぎわい創出を図った。

- ・第20回きみつ七夕祭り 中止
- ・第9回きみコン 中止
- ・イルミネーション (中野、坂田、久保商店会)

○中小企業資金融資及び利子補給事業 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
221,959	225,287	223,274

・中小企業利子補給金 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
21,959	25,287	23,274

〈概要〉 中小企業の設備資金、運転資金等の融資に係る利子の一部を補給し、中小企業者の経営安定化を支援した。

〈成果〉 中小企業資金融資制度預託金による融資を受けた市内中小企業者の利子と信用保証料の一部を補給し、経営負担を軽減することで中小企業者の育成と市内産業の振興を図ることができた。

- ・中小企業利子補給金等 利子補給270件、信用保証料補助1件

【7款 商工費 1項 商工費】

2目 商工振興費

・中小企業融資制度預託金 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
200,000	200,000	200,000

〈概要〉 金融機関に預託した金額の10倍を限度に、中小企業の設備資金、運転資金等の融資を行い、中小企業者の経営安定化を支援した。

〈成果〉 市内中小企業者の経営の安定、事業拡大のための資金の融資をすることで、中小企業者の育成と市内産業の振興を図ることができた。

- ・中小企業融資制度預託金 6金融機関に預託
- ・事業設備資金 8件 70,140千円 事業運転資金 15件 93,000千円
- 創業設備資金 2件 8,200千円 創業運転資金 1件 5,000千円
- 特別小口運転資金 1件 4,000千円 経営安定設備資金 1件 10,000千円
- 経営安定運転資金 4件 24,500千円

○商工団体育成事業 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
14,135	14,934	14,891

・商工会議所育成補助金 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
14,000	14,800	14,800

〈概要〉 君津商工会議所の育成、健全な発展を図るため補助金を交付した。

〈成果〉 君津商工会議所を育成することにより、市内商工業の振興を図った。

また、商工会議所が行う外国人技能実習生受入に係る監理団体設立のための事業に対し、補助金を交付した。

【7款 商工費 1項 商工費】

2目 商工振興費

・かずさ青年会議所負担金 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
92	91	91

〈概要〉 青年経営者の育成を図るため負担金を交付した。

〈成果〉 地域経済の研究、講演会等の実施により地域社会の産業、市民意識の高揚を図った。

○ふるさとときみつ応援寄附金事業 【経済振興課・財政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
351,034	367,009	267,421

〈概要〉 ふるさと納税（寄附金）の推進と本市の特産品等の普及促進を図った。

〈成果〉 ふるさと納税（寄附金）を募り、地元特産品等を贈呈することにより財源確保及び市内経済の活性化を図った。

寄附件数 52,058件

寄附額 565,256,108円

○創業支援事業 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,915	3,520	3,520

・きみつ魅力あふれるお店づくり事業 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,395	3,000	3,000

〈概要〉 魅力あるお店づくりを推進し、まちのにぎわいの創出と市内経済の活性化を図るため、市内の空き店舗や空き家を活用して、新たにお店を始める方に対し、出店に係る経費の一部を補助した。

〈成果〉 市内で新たにお店を始める事業者に対し、出店に係る経費の一部を補助したことで、まちのにぎわいの創出と市内経済の活性化を図った。

・新規出店事業 6件 3,000,000円

(飲食料品小売業1件、飲食店2件、持ち帰り飲食サービス業2件、美容業1件)

【7款 商工費 1項 商工費】

2目 商工振興費

・特定創業支援事業 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
520	520	520

〈概要〉 君津市創業支援事業計画に基づく特定創業支援事業として、君津商工会議所に委託し、創業セミナーを実施した。

〈成果〉 創業セミナーを開催し、創業者の心構えやビジネスプラン等について講義を行った。

- ・創業セミナー 参加者数 8人

○産業支援センター運営事業 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
4,950	8,009	6,875

〈概要〉 中小企業や創業希望者への総合的な支援窓口として産業支援センターを設置し、市内で活動する中小企業等の経営の安定化を図った。

〈成果〉 市内の中小企業や創業希望者が抱える様々な課題への早期解決を図るとともに、最新情報を発信し活用を促した。

- ・相談件数 247件

○中小企業等事業継続支援事業 【経済振興課・農政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	166,235	135,858

〈概要〉 新型コロナウイルス感染症を起因とする経済活動の休止・縮小の影響を受けている中小企業等に対し、千葉県中小企業再建支援金に一律10万円を上乗せ補助した。

〈成果〉 補助件数 1,291件

【7款 商工費 1項 商工費】

2目 商工振興費

○中小企業等感染防止対策事業 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	46,336	31,209

〈概要〉 事業者と消費者が安心して経済活動を継続できるよう、市内の中小企業者等が新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じる際に必要となる経費の一部を補助した。補助対象経費の3/4、上限10万円（千円未満切捨て）

〈成果〉 補助件数 399件 補助金額 30,101千円

○地域ポータルサイトを通じた消費喚起事業 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	33,000	30,718

〈概要〉 ポータルサイト「きみなび」で店舗ごとに利用できるデジタルクーポンを発行し、新型コロナウイルス感染症の拡大によって落ち込んだ市民や近隣住民の消費意欲を取り戻し、市内経済の活性化を図った。

〈成果〉 参加店舗数 280店舗 クーポン発行総額 25,718千円

○中小企業テレワーク導入支援補助金 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	5,440	5,378

〈概要〉 中小企業がテレワークを導入する際に掛かる経費を補助することで、職場における三密を回避するとともに、多様で柔軟な働き方を推進した。補助対象経費の2/3、上限40万円（千円未満切捨て）

〈成果〉 補助件数 19件 補助金額 5,378千円

3目 観光費

○観光推進事業 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
6,842	9,362	8,363

〈概要〉 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、例年実施しているイベントの多くが中止となった。

〈成果〉 観光パンフレットの配架やポスター掲示、特産品の提供など感染対策のため、限られた形で実施した。

市原市、大多喜町と連携して房総さとやまGO(11月7日から12月6日までの土日祝運行の観光バス)運行事業については、例年どおり実施した。

- ・観光キャンペーンの実施 2回 (家たびスタンプラリー、千葉県アンテナショップ「ちばI・CHI・BA2020」) ※令和元年度11回

○観光施設維持管理事業 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
9,452	13,917	13,242

〈概要〉 市内の観光施設を適切に維持管理し、観光客等の利便性・快適性を提供するため、観光トイレの清掃や浄化槽の維持管理委託をはじめ、電気水道料、し尿の汲取り、浄化槽法定検査等を行った。また、観光トイレの浄化槽や設備の修繕を実施した。

〈成果〉 市内の観光施設を適切に維持管理したことで、観光客等の利便性・快適性の向上を図ることができた。

- 観光トイレ 9か所
- 公園・広場等 3か所

3目 観光費

○久留里観光交流センター管理運営事業 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
4,684	3,840	3,744

〈概要〉 指定管理者制度により、久留里地区を中心とした地域の観光に関する情報の提供、物産の展示及び紹介等により観光客と地域住民との交流を促進し、地域経済の発展に寄与する施設として建設した久留里観光交流センターの管理運営を行った。

〈成果〉 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、施設を閉鎖した期間があったことから、年間の利用者数は減少したものの、地場産品等の展示紹介や観光客と地域住民との交流を促進する場として、広く活用された。

(年間利用者数 9,228人)

○観光協会育成補助金 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
4,386	33,247	22,038

〈概要〉 観光事業の振興及び観光産業の発展を図るため、推進団体である観光協会に対し、事業運営に要する経費の助成を行った。また、君津市への誘客促進と地域産品の認知度向上を図り、再訪につなげることを目的とした「おもてなし提供事業」を実施することに対し、当該事業に係る経費の助成を行った。

〈成果〉 本市の観光推進団体である一般社団法人君津市観光協会を育成するため、運営に係る経費について助成を行うとともに新型コロナウイルス感染症対策として同協会が県の補助事業（補助率2/3）として実施した「おもてなし提供事業」について市としても助成を行った。

3目 観光費

○郡ダム湖面活用推進事業 【経済振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
—	1, 5 9 4	1, 5 1 7

〈概要〉 郡ダムの湖面を水上スキー競技に活用することで、学生を中心とした交流人口が増え、地域活性化につながる契機とするため、全日本学生水上スキー連盟による実証実験を行い、水上スキー場としての適正や課題を検証した。

〈成果〉 【検証実施期間】 令和2年11月5日～令和3年3月31日

令和2年11月21日から23日まで東京都水上スキー連盟主催の君津水上スキー大会を無観客開催（参加者：3日間合計174人）。その他に水質検査（5回）や待機場所の整地、コンテナ等の設置による影響の検証を行った。

なお、これまでの検証の範囲では、ダム施設や周辺環境への影響は認められていない。

4目 消費生活費

○消費生活相談事業 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
2, 8 2 1	3, 3 5 0	2, 9 1 9

〈概要〉 消費生活センターを開設し、消費生活の実態の把握と市民生活の安定強化に努めた。

- ・消費生活相談員 2人

〈成果〉 消費生活におけるトラブルに対し、的確な指導と迅速な対応を行い、市民生活の安定に寄与することができた。

- ・相談日 週4日（月、水、木、金曜日）
- ・相談件数 延べ298件
- ・相談内容 インターネット通販に関する相談（約3割）、各種契約に関する解約についてのトラブル、契約先と連絡不能の相談など

○消費者啓発事業 【市民活動支援課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
6 6 7	1, 2 6 7	4 7 9

〈概要〉 消費生活において、複雑多様化している消費者問題に対応するため、消費者を守る法律や制度の基礎知識を学び、自らの確に判断する力の向上に努めた。

〈成果〉 木更津市と淑徳大学との共催事業で啓発資料の作成・配布を行い、相談窓口としての消費生活センターの周知が図れた。

消費者大学は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止とした。

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額
8 土木費		4,082,817	3,248,266
	1 土木管理費	592,402	586,210

1目 土木総務費

○地籍調査事業 【管理課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
41,132	108,242	108,201

〈概要〉 地籍調査の実施により、登記情報が更新され正確な地図が法務局に備え付けられた。

(1工区当たり3年を目途に調査を実施)

〈成果・進捗〉

(現 年 分) 62,806千円

・貞元地区(第4工区)

3年目の工程として、成果の数値情報化、国・県による成果の認証及び法務局への送付を行い、調査が完了した。

調査面積 : 73ha (1,518筆)

境界同意率 : 100%

・上湯江I地区(第5工区)

2年目の工程として、一筆地調査(境界の確認)、地籍測量及び成果の閲覧を実施した。

調査面積 : 65ha (934筆)

境界同意率 : 100%

(繰越明許分) 45,395千円

・貞元地区(第4工区)

2年目の工程のうち、成果の閲覧等の一部(令和元年度から繰越した作業)を実施した。

調査面積 : 73ha (1,518筆)

(単位：千円)

款	項	予算現額	支出済額
8 土木費	2 道路橋梁費	2,140,204	1,390,794

1目 道路維持費

○市道維持補修事業 【道路維持課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
172,995	208,552	205,991

〈概要〉 道路及び河川等の維持補修を行い、交通の安全及び排水機能の維持を図った。

〈成果〉 舗装、排水路等の維持管理を実施した。

・補修関係費 【道路維持課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
50,186	54,068	52,322

道路修繕 東坂田北線 ほか31件

排水修繕 大井戸、砂押線 ほか19件

除草等業務 小糸・久留里線 ほか34件

・道路及び排水維持工事関係費 【道路維持課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
122,809	154,484	153,669

修繕費

・道路維持 人見四丁目8号線 ほか63件

・排水維持 末吉中央線 ほか24件

工事請負費

・排水整備工事 作木地先 ほか4件

L=75.7m、鉄筋コンクリート管 L=61.3m

【8款 土木費 2項 道路橋梁費】

1目 道路維持費

○道路照明改修整備事業 【道路維持課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
27,516	59,288	59,264

〈概要〉 道路照明の整備等により、交通の安全を図った。

〈成果〉 水銀灯照明をLED灯に更新し消費電力の低減を図った。

・LED灯及び老朽化したポールの更新 君津台地先など 85灯

〈行革等に伴う見直し〉

水銀灯をLED灯に更新したことで、電気料が削減された。

○トンネル長寿命化事業 【道路整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
544,074	115,599	111,486

〈概要〉 長寿命化修繕計画に基づき、清水トンネルに係る道路改良工事、照明灯設置工事、法面工事などを実施し、交通の安全を確保した。

〈成果・進捗〉

(現年分) 2,044千円

需用費：清水トンネルpH処理装置に係る電気料及び消耗品

使用料：清水トンネルpH処理装置に係るリース料 リース期間6か月

(繰越明許分) 109,442千円

工事請負費：清水トンネル道路改良工事

取付道路部 L=48.5m トンネル部 L=247.0m

アスファルト舗装工 A=471m²、コンクリート舗装 A=1,443m²

清水トンネル照明灯設置工事 トンネル照明灯 37台、坑口照明灯 2台

清水トンネル照明灯設置工事(付帯工) 仮設照明灯 8台

清水トンネル整備工事(法面対策工) 吹付法枠工 A=818m²

清水トンネル道路改良工事、照明灯設置工事が完了した。

【8款 土木費 2項 道路橋梁費】

1目 道路維持費

○交通安全施設整備事業 【道路維持課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
19,200	60,794	50,322

〈概要〉 交通安全施設の修繕や通学路の安全対策を行い、交通事故の防止を図った。

〈成果〉 道路反射鏡や区画線等の設置を行い交通の安全対策を行った。

(現年分)

修繕費

・道路区画線設置 L=5,472m

・道路反射鏡設置 N=14基

交通安全施設設置工事 23,917千円

・薄層カラー舗装 A=914㎡

・道路区画線設置 L=646m

・車止め設置 93本

(繰越明許分)

交通安全施設設置工事 13,517千円

・薄層カラー舗装 A=204㎡

・車止め設置 242本

○舗装法面等長寿命化事業 【道路整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
20,102	63,900	10,175

〈概要〉 第三者被害のおそれのある事故を防止し、安全かつ円滑な道路交通の確保を図るため、法面補修工事に向けて、測量及び詳細設計のほか、横断歩道橋管理計画を策定した。

〈成果〉 委託料：市道高水大橋線法面補修測量業務委託

基準点測量、路線測量 L=0.05km

市道高水大橋線法面補修詳細設計業務委託

法面工詳細設計

君津市横断歩道橋管理計画策定業務委託

横断歩道橋管理計画策定

市道高水大橋線の測量及び詳細設計のほか、横断歩道橋管理計画策定が完了した。

国の経済対策の補正予算による追加配分により、年度内では適正工期が確保できないため、委託料、工事請負費を次年度へ繰り越した。

・令和3年度へ繰越明許 50,700千円

【8款 土木費 2項 道路橋梁費】

2目 道路新設改良費

○道路新設改良工事 【道路整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
189,248	783,807	384,425

〈概要〉 道路ネットワークの充実・強化及び道路利用者の安全確保を図るため、主要道路及び生活道路の整備工事や用地取得などを実施した。

〈成果・進捗〉

・小山野・山高原線道路改良（山高原地先） 【道路整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
17,090	55,392	40,101

(現 年 分) 12,409千円

工事請負費：道路改良工事（その2） L=297.7m

舗装工 A=1,230㎡、かごマット工 A=30㎡

道路改良工事（その1）

取付道路工 1式、メッシュフェンス L=106m

補 償 金：電柱移転

道路改良工事について、農業用水路の移設に伴う関係者との調整に不測の日数を要したため工事請負費を次年度へ繰り越した。

・令和3年度へ繰越明許 15,289千円

(繰越明許分) 27,692千円

工事請負費：道路改良工事 L=483m

モルタル吹付工 A=1,152㎡、舗装工 A=1,384㎡

道路改良工事（その1）

取付道路工 1式、メッシュフェンス L=106m

公有財産購入費：用地取得 5人 A=592.62㎡

事業延長L=1,050mのうち、道路改良工事や用地取得などを実施した。

【8款 土木費 2項 道路橋梁費】

2目 道路新設改良費

・中島、和田下線道路改良（中島地先） 【道路整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	5,700	5,615

(繰越明許分) 5,615千円

委託費：道路詳細設計 L=360m

事業延長L=360mのうち、道路詳細設計が完了した。

・八重原線道路新設改良（三直～宮下地先） 【道路整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
120,812	558,350	239,985

(現年分) 74,083千円

委託料：分筆登記業務委託 分筆登記 7筆

資材価格調査業務委託 資材価格調査 4品目

工事請負費：橋梁上部工桁製作・架設工事 橋長 L=56.2m

形式 鋼単純非合成箱桁橋

道路改良工事（三直工区その2）

路体盛土 V=2,300m³、プレキャスト擁壁 L=44m

道路改良工事（三直工区その3） L=81m

平ブロック張 A=713m²、プレキャストU型側溝 L=143m

道路改良工事（三直工区その4） L=353.1m

路体盛土 V=8,100m³、コンクリートブロック積 A=209m²

道路改良工事（常代工区その2） L=463.7m

路体盛土 V=1,500m³、コンクリートブロック積 A=348m²

道路改良工事（常代工区その3） L=117.2m

掘削 V=2,900m³、コンクリートブロック積 A=327m²

道路改良工事（常代工区その4） L=429.9m

路体盛土 V=2,300m³、舗装 A=3,750m²

公有財産購入費：用地取得 12人 A=3,186.05m²

補償金：物件補償 4人 立竹木等補償

電柱移転

関連する先行工事の遅れにより、工事計画の見直しに不測の日数を要したため、工事請負費を次年度へ繰り越した。また、橋梁上部工桁製作・架設工事の継続費について、支出未済額を次年度へ逡次繰越した。

【8款 土木費 2項 道路橋梁費】

2目 道路新設改良費

・令和3年度へ繰越明許 200,909千円

・令和3年度へ通次繰越 116,770千円

(繰越明許分) 165,902千円

委託料：境界標設置業務委託 境界標設置 99本

道路設計業務委託 取付道路設計 2か所、自立式土留工設計 1式

物件調査業務委託 附帯工作物の調査及び算定 1戸、独立工作物 1か所

支障工作物移設業務委託 工作物撤去 3個、工作物再設置 2個

地質調査業務委託 サウンディング試験 3か所

工事請負費：常代側橋台築造工事 逆T式橋台 1基、安定処理 A=1,340m²

道路改良工事（三直工区その2）

路体盛土 V=2,300m³、プレキャスト擁壁 L=44m

道路改良工事（三直工区その3） L=81m

平ブロック張 A=713m²、プレキャストU型側溝 L=143m

道路改良工事（常代工区その1） L=241.5m

路体盛土 V=1,600m³、安定処理 A=679m²

事業延長L=1,340mのうち、常代側橋台築造工事、道路改良工事、地権者12人の用地取得などを実施した。

・俵田・山本線歩道整備事業（賀恵淵地先） 【道路整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	23,100	23,069

(繰越明許分) 23,069千円

工事請負費：歩道整備工事 L=197.4m

大型蓋設置 100枚、歩車道境界ブロック設置 L=120m

事業延長L=450mについて、本年度で事業が完了した。

【8款 土木費 2項 道路橋梁費】

2目 道路新設改良費

・大山野、奥谷線歩道整備（大山野地先） 【道路整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
4, 7 6 5	4 4, 4 1 5	1 7, 8 5 4

(現 年 分) 5, 8 5 4千円

委 託 料：境界標設置業務委託 境界標設置 6 2本

工事請負費：歩道整備工事 L=3 0 7. 3m

歩道舗装 A=1 8 1 m²、車道舗装 A=3 4 9 m²

歩道整備工事（その2） L=1 7 8. 4

歩道舗装 A=2 5 4 m²、L型擁壁 L=2 4m

補 償 金：電柱移転

自噴井戸の存在が確認され、切り回しの設計施工に不測の日数を要したため、工事請負費を次年度へ繰り越した。

・令和3年度へ繰越明許 2 6, 5 5 9千円

(繰越明許分) 1 2, 0 0 0千円

工事請負費：歩道整備工事 L=3 0 7. 3m

歩道舗装 A=1 8 1 m²、車道舗装 A=3 4 9 m²

事業延長L=4 0 0mのうち、L=3 0 7. 3mの歩道整備工事などを実施した。

【8款 土木費 2項 道路橋梁費】

2目 道路新設改良費

・笹藤林線道路改良（笹地先） 【道路整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
20,396	79,200	47,881

(現年分) 16,781千円

委託料：境界標設置業務委託 境界標設置 86本

工事請負費：道路改良工事（その2） L=219.8m

コンクリートブロック積 A=273㎡、車道舗装 A=846㎡

道路改良工事（付帯工）

取付舗装 A=18㎡、車道舗装 A=104㎡

支障となる電柱の移転先の交渉に不測の日数を要したため、委託料、工事請負費を次年度へ繰り越した。

・令和3年度へ繰越明許 31,318千円

(繰越明許分) 31,100千円

工事請負費：道路改良工事 L=91.4m

コンクリートブロック積 A=152㎡、車道舗装 A=550㎡

補償金：電柱移転

事業延長L=280mのうち、L=91.4mの道路改良工事などを実施した。

・六手・中島線歩道整備（上地先） 【道路整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,031	17,650	9,920

役務費：不動産鑑定評価業務 不動産鑑定 2地点

委託料：土地評価業務委託 標準地価格算定 2標準地、各画地の評価格算定 19画地
分筆登記業務委託 分筆登記 3筆

公有財産購入費：用地取得 3人 A=181.68㎡

補償金：物件補償 3人 工作物等補償

物件補償の移転先の調整に不測の日数を要したため、委託料、公有財産購入費、補償金を次年度へ繰り越した。

・令和3年度へ繰越明許 7,702千円

事業延長L=270mのうち、3人の用地取得、物件補償を実施した。

【8款 土木費 2項 道路橋梁費】

2目 道路新設改良費

○神門地区道路拡幅事業

・生活道路道路改良事業 【道路整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
5,731	39,424	22,174

〈概要〉 神門地区の道幅が狭く見通しが悪い道路について、安全性の確保及び利便性向上のため、現道拡幅に向けて用地取得、物件補償などを実施した。

〈成果・進捗〉

役 務 費：不動産鑑定評価業務 不動産鑑定 2地点

委 託 料：土地評価業務委託 標準地価格算定 2標準地、各画地の評価格算定 20画地
分筆登記業務委託 分筆登記 4筆

公有財産購入費：用地取得 19人 A=425.51m²

補 償 金：物件補償 14人 工作物等補償

用地交渉に不測の日数を要したため、委託料、工事請負費、公有財産購入費、補償費を次年度へ繰り越した。

・令和3年度へ繰越明許 17,249千円

市道1号幹線15号支線(4工区) 事業延長L=230mのうち、19人の用地取得などを実施した。

○生活道路対策エリア事業 【道路整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	5,300	4,376

〈概要〉 国からETC2.0のビッグデータによる速度超過、急ブレーキ箇所などの解析結果の提供を受け、道路安全診断を行い、効果的な安全対策を実施した。

〈成果・進捗〉

工事請負費：安全対策工事(泉地区)

薄層カラー舗装 A=187m²、標識設置 2基

安全対策工事(その2)

薄層カラー舗装 A=42m²、標識設置 1基

小糸小学校の周辺について、交差点3か所、1路線の安全対策工事を実施した。

【8款 土木費 2項 道路橋梁費】

3目 橋梁維持費

○橋梁長寿命化事業 【道路整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
123,904	772,676	518,371

〈概要〉 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、事後保全的対応から予防的対応に転換し橋梁の長寿命化によるコストの削減を図り、持続的な道路網の安全性を確保するため、定期点検や補修工事などを実施した。

〈成果・進捗〉

(現 年 分) 272,097千円

役 務 費：戸越橋撤去による迂回路整備に伴う不動産鑑定評価業務 不動産鑑定 3地点
ドローンに係る機体及び賠償責任保険料

委 託 料：館山自動車跨道橋に係る橋梁点検業務委託 みのうかいづか橋ほか4橋
JR内房線、JR久留里線跨線橋に係る橋梁点検業務委託 北子安跨線橋ほか4橋
橋梁点検測量業務委託 大和田跨線橋ほか3橋

市道坂田・九十九坊線ほか橋梁点検業務委託 北子安跨線橋ほか3橋

市道平山四ノ宮線ほか橋梁点検業務委託 高畑橋ほか6橋

映像データストリーミングサービス業務委託 橋梁点検映像データ保存
資材価格調査業務委託 資材価格調査 1品目

戸越橋撤去による迂回路整備に伴う土地評価業務委託

標準地価格算定 3標準地、各画地の評価格算定 13画地

戸越橋撤去による迂回路整備に伴う分筆登記業務委託 分筆登記 12筆

大盛橋架け替えに伴うIRU設備移設

架空ケーブル 撤去 L=134m、新設 L=25m

大盛橋橋梁整備工事工作物設計業務委託 構造形式の検討、構造計算、図面作成

大盛橋橋梁整備地質調査業務委託 サウンディング試験 1か所

使 用 料：ノートPC賃貸借(長期継続契約) ドローン点検専用PC 1台
ドローン機体賃貸借 ドローン 1台

工事請負費：小糸橋橋梁整備工事(上部工桁製作・架設工) 橋長 L=49.3m
形式 鋼単純合成鉄桁橋

大盛橋橋梁整備工事(下部工外) 仮架橋工 旧橋撤去工 下部工 護岸工

大盛橋橋梁整備工事(上部工桁製作・架設工) 橋長 L=39.9m

形式 鋼単純合成鉄桁橋

大盛橋橋梁整備工事(取付道路付帯工) L=24m

石積擁壁撤去再設置 L=21m

JR委託工事による中野跨線橋補修工事 塗装塗替 A=800㎡

中野跨線橋橋梁補修工事 歩道部塗装塗替 A=860㎡ 階段補修 A=63㎡

【8款 土木費 2項 道路橋梁費】

3目 橋梁維持費

上川橋橋梁補修工事 塗装塗替 $A=95\text{ m}^2$ 、伸縮装置工 $L=9\text{ m}$
正木橋橋梁補修工事 ひび割れ注入 $L=12\text{ m}$ 、断面修復 1.1 m^3
公有財産購入費：戸越橋撤去による迂回路整備に伴う用地取得 8人 $A=884.27\text{ m}^2$
備品購入費：橋梁点検に係る備品購入

ドローン 1台、バッテリー、iPad mini、SfMソフトウェア
補償金：戸越橋撤去による迂回路整備に伴う物件補償 1名 工作物等

大盛橋架け替えに伴う通信設備の移転に関する補償

架空ケーブル $L=0.16\text{ km}$ 、架空光ケーブル $L=0.30\text{ km}$

橋梁補修工事について、施工方法の変更による工期の調整に不測の日数を要したため、委託料、工事請負費、公有財産購入費、補償金を次年度へ繰越明許した。

また、継続費の小糸橋橋梁整備工事（上部工桁製作・架設工）、大盛橋橋梁整備工事（下部工外）、大盛橋橋梁整備工事（上部工桁製作・架設工）については、支出未済額を次年度へ通次繰越した。

・令和3年度へ繰越明許 97,346千円

・令和3年度へ通次繰越 154,698千円

（通次繰越分） 42,420千円

工事請負費：大盛橋橋梁整備工事（下部工外） 仮栈橋工 旧橋撤去工 下部工 護岸工
（繰越明許分） 203,854千円

工事請負費：小糸橋橋梁整備工事（小糸川左岸橋台築造工） 逆T式橋台 1基

大盛橋橋梁整備工事（解体工） 建物解体撤去、工作物撤去

豊田大橋橋梁補修工事 塗装塗替 $A=1,461\text{ m}^2$

防護柵部材取替 24か所、高力ボルト取替 5,178本

中橋橋梁補修工事 支承取替 4基、伸縮装置取替 $L=14.5\text{ m}$

塗装塗替 $A=350\text{ m}^2$

中原橋橋梁補修工事 重力式擁壁 15 m^3 、エアモルタル充填 45 m^3

かごマット $A=117\text{ m}^2$ 、ブロック積 $A=17\text{ m}^2$

小糸橋橋梁整備工事（上部工桁製作・架設工）、大盛橋橋梁整備工事（下部工外）、大盛橋橋梁整備工事（上部工桁製作・架設工）、中野跨線橋ほか5橋の補修工事、31橋の橋梁点検などを実施した。

(単位：千円)

款	項	予算現額	支出済額
8 土木費	3 河川費	28,249	26,885

1 目 河川新設改良費

○梅田川河川改修事業 【道路維持課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	17,963	17,600

〈概要〉 災害の発生予防などを目的として、護岸整備を実施した。

〈成果〉 普通河川梅田川河川改修工事

工事延長 L = 93m (左岸)

かごマット工 A = 197m²

○尾車川河川改修事業 (尾車地先) 【道路整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,114	10,286	9,285

〈概要〉 市内を流れる二級河川小糸川・小櫃川は、千葉県により管理されているが、小糸川の中・上流部や支流は川幅が狭い区間もあるため、浸水被害のない河川環境の整備を図り、地域住民の安全性を確保するため、尾車川に架かる橋梁の上部工、橋台工などを実施した。

〈成果・進捗〉

尾車川は素掘りの普通河川で、降雨時には河川兩岸の耕地が冠水するため、平行する千葉県施工の一般県道荻作君津線の道路改良工事に併せ、千葉県との協定に基づき千葉県69%、君津市31%の負担割合で事業を行った。

基本協定：平成26年2月締結

全体計画：延長L = 1,740m

(現年分) 5,640千円

負担金：橋梁上部工、A1橋台工、電柱移転

A1橋台築造に伴い支障となる電柱の移設先の調整に不測の日数を要したため、負担金を次年度へ繰り越した。

・令和3年度へ繰越明許 85千円

(繰越明許分) 3,645千円

負担金：A2橋台工

事業延長L = 1,740mのうち、橋梁上部工、橋台工などを実施した。

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額
8 土木費	4 都市計画費	1,047,055	994,548

1目 都市計画総務費

○都市計画調査・検討事業 【建設計画課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
611	6,990	6,605

〈概要〉 時代の変化に対応した持続可能なまちを目指すため、立地適正化計画及びバリアフリー基本構想の策定に向けた基礎調査を実施した。

〈成果〉 君津市立地適正化計画基礎調査業務委託 3,740千円
君津市バリアフリー基本構想調査検討業務委託 2,607千円

○景観事業 【公園緑地課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
94	238	67

〈概要〉 地域の景観資源の保全・活用を図るため、景観条例等に基づく届出事務等を実施した。

〈成果〉 景観法・景観条例による届出受付、景観審議会開催

令和2年度届出件数 建築物 3件
工作物 48件 (うち太陽光パネル46件)
開発行為 2件
土石の採取等 4件
合 計 57件

2目 建築指導費

○木造住宅耐震化促進事業 【住宅営繕課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
1, 0 5 6	3, 9 1 9	3, 5 5 0

〈概要〉 耐震相談会の開催や木造住宅の耐震診断に要する費用の補助を行い、建築物の安全性に対する市民意識の向上を図るとともに、木造住宅の耐震改修及び併せて行うリフォームに要する費用の一部を補助することにより、耐震化の促進、住環境の質の向上を図った。

令和2年度から戸建て住宅の耐震診断に要する費用を市が全額負担とし、除却費用に対する補助を新たに補助対象に加え、制度の拡充を行った。

〈成果〉 ・耐震相談会 委託料 240千円
 耐震相談会開催回数 7回 (相談組数 37組)
 出前耐震相談開催日数 2日 (相談組数 2組)
 ・木造住宅耐震診断申請 委託料 1,750千円 (21件)
 ・木造住宅耐震化促進申請 補助金 862千円 (3件)
 ・耐震改修と併せて行うリフォーム工事申請 補助金 660千円 (2件)

【8款 土木費 4項 都市計画費】

4目 街路事業費

○都市計画街路整備事業 【道路整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
19,688	53,300	19,360

〈概要〉 市街化区域における舗装の劣化が著しい路線について、改修を行い、交通事故防止及び交通の安全を図った。

〈成果〉 工事請負費：市道人見、高山1号線舗装補修工事

工事延長 L=124.9m

アスファルト舗装工 A=1,190㎡

路上路盤再生工 A=1,190㎡

国の経済対策の補正予算による追加配分により、年度内では適正工期が確保できないため、工事請負費を次年度へ繰り越した。

・令和3年度へ繰越明許 33,300千円

市道人見、高山1号線 事業延長L=380mについて、L=124.9mの舗装補修を実施した。

○街路樹等維持管理事業 【道路維持課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
21,636	23,000	22,996

〈概要〉 市街化区域における幹線道路の中央分離帯や植樹柵内の除草及び植栽の剪定を実施し、生活環境や都市景観の向上を図った。

〈成果〉 外箕輪・人見線ほか16路線の分離帯、植樹柵内の除草を実施した。

高木剪定 777本 (1回)

高木伐採 13本 (1回)

低木剪定 7,100㎡ (1回)

除草工 26,000㎡ (2回)

小糸川沿岸歩行者専用道

人力除草 13,100㎡ (3回)

機械除草 27,700㎡ (3回)

低木剪定 9,000㎡ (1回)

【8款 土木費 4項 都市計画費】

5目 公園費

○都市公園施設改修事業 【公園緑地課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
3,842	14,682	13,047

〈概要〉 公園利用者等の利便性の向上や安全を図るため、施設の改修を実施した。

〈成果〉

(現年分) 8,074千円

君津緩衝緑地野球場バックネット改修 1基

市民体育館多目的トイレ改修(オストメイト対応) 一式

(繰越明許分) 4,973千円

高畑公園トイレ設置

女性用トイレ2室(水洗洋式2基)

男性用トイレ1室(水洗洋式1基)

○西ノ作公園整備事業 【公園緑地課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	22,583	21,505

〈概要〉 周辺居住者の増加に伴い、公園の必要性が高まっている郡三丁目地先において、良好な都市環境の形成を図るため公園を整備し、令和3年4月1日に開園した。

〈成果〉

(現年分) 14,778千円

西ノ作公園整備(園路広場工、遊具施設工、休息施設工、照明設備工)

(繰越明許分) 6,727千円

西ノ作公園整備(敷地造成工、管理施設工、給排水設備工)

5目 公園費

○公園施設長寿命化対策事業 【公園緑地課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
158,536	8,338	7,975

〈概要〉 内みのお運動公園の施設が安全・安心に利用できるよう長寿命化計画に基づき、市民体育館屋根・外壁の改修の実施設計などを実施した。

〈成果〉 市民体育館屋根・外壁改修実施設計
 屋根面積 A=3,771㎡ (主体育室 3,338㎡、小体育室 433㎡)

○公園照明灯改修整備事業 【公園緑地課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
7,810	20,790	18,454

〈概要〉 公園照明灯を水銀灯からLED灯へ計画的に更新した。

〈成果〉 水銀灯照明をLED灯に更新し消費電力の低減を図った。
 LED灯に更新 56灯

〈行革等に伴う見直し〉

水銀灯をLED灯に更新したことで、電気料が削減された。

(単位：千円)

款	項	予算現額	支出済額
8 土木費	5 住宅費	270,362	245,290

1目 住宅管理費

○市営住宅管理事業 【住宅営繕課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
5,941	6,506	6,307

〈概要〉 9団地110戸の維持管理を行った。

〈成果〉 施設等維持補修 5,494千円(49件)
 新規入居 0件
 集約転居(団地内移転) 1件
 退去 2件
 入居率 約72%

団地名	管理戸数	入居戸数
市場団地	1戸	0戸
新町団地	20戸	15戸
小市部団地	10戸	5戸
千鳥団地	4戸	4戸
あけぼの団地	15戸	8戸
藤林団地	7戸	7戸
平山団地	20戸	7戸
古川団地	2戸	2戸
外箕輪団地	31戸	31戸
計	110戸	79戸

【8款 土木費 5項 住宅費】

1目 住宅管理費

○中古住宅取得補助事業 【住宅営繕課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	12,018	12,018

〈概要〉 中古住宅の利活用を促進し、管理されない空き家の発生を抑制するため自ら住む目的で戸建て中古住宅を取得した者に、取得に要した費用の一部を補助した。

〈成果〉 中古住宅取得補助金 12,000千円 (26件)

○被災住宅修繕緊急支援事業 【住宅営繕課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
58,206	247,265	222,703

〈概要〉 令和元年房総半島台風等による一部損壊（損害割合10%未満）の被災住宅に対し、国の交付金・県の補助金を活用して被災住宅の修繕に対する支援を行った。

- 耐震性向上を含む修繕・・・補助対象工事費の20%（最大50万円）を補助
 - ・補助対象工事費の150万円以下の部分：上限30万円（財源：国5/10、県3/10、市2/10）
 - ・補助対象工事費の150万円を超える部分：上限20万円（財源：県8/10、市2/10）

- 耐震性向上を含まない修繕・・・補助対象工事費の20%（最大50万円）を補助
 - ・補助対象工事費の20%：上限50万円（財源：県8/10、市2/10）

〈成果・進捗〉

(現年分) 被災住宅修繕支援 197,827千円 (1,108件)
 (繰越明許分) 被災住宅修繕支援 24,876千円 (126件)

新型コロナウイルス感染症の影響による工事の停滞等により予定期間に工事が完了しないため、次年度へ繰り越した。

- ・令和3年度へ繰越明許 5,875千円 (18件)
- ・令和3年度へ事故繰越 5,092千円 (23件)

(単位：千円)

款	項	予算現額	支出済額
9 消防費		2,494,639	2,125,404
	1 消防費	2,494,639	2,125,404

1目 常備消防費

常備消防は、1本部・1署・3分署が配置され、車両31台を配備し、職員数160人で組織されており、令和2年度中の出動状況等は次のとおりとなっている。

火災出動 67件

救急出動 4,171件 (うち高度救命処置 123件)
(消防隊等との連携活動 458件 (PA連携370件・救急支援88件))
(Drヘリ要請 30件 (うち搬送 9件))

救助出動 40件

○予防業務関係費 【予防課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,120	853	845

〈概要〉 春・秋季火災予防運動を中心に火災予防チラシの回覧やポスターの掲示、住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理の広報を実施した。

また、防火対象物や危険物施設への立入検査等を実施した。

〈成果〉 市民や市内事業所に対して防火、防災に対する意識の高揚を図った。

- ・住宅用火災警報器設置率 81%
- ・防火対象物立入検査 72件
- ・危険物施設立入検査 25件
- ・自治会回覧による火災予防チラシ 3回 (6月、11月、12月)

【9款 消防費 1項 消防費】

1目 常備消防費

○庁舎管理・保守点検等委託 【消防総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
8,383	8,819	7,019

〈概要〉 消防庁舎の維持管理のため、清掃業務及び各設備等の保守点検等を業者委託により実施した。

〈成果〉 消防庁舎内の衛生的な環境確保及び各設備等の機能維持を図った。

主な委託業務

- ・消防庁舎総合管理業務 2,101千円
- ・消防庁舎冷暖房機保守 937千円
- ・消防庁舎昇降機保守 ほか 3,981千円

○職員教育研修費 【消防総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
3,928	4,770	3,732

〈概要〉 消防職員としてより高度な専門的知識や技術を習得するため、千葉県消防学校に14人、消防大学校に1人、救急救命東京研修所に1人、その他の研修・講習等に130人の研修を実施した。

〈成果〉 各研修課程において、基礎的、専門的知識及び技術を習得することができた。

また、消防大学校では、全国の消防職員とともに研修を実施することで、相互に情報交換しながら、より高度で専門的な知識と最新の技術を習得することができた。

	研修課程	人員	研修期間	研修経費
千葉県 消防学校	救急科	2人	41日間	285千円
	救助科	2人	23日間	220千円
	火災調査科	2人	13日間	169千円
	予防査察科	1人	11日間	46千円
	特殊災害科	2人	10日間	78千円
	中級幹部科	2人	8日間	62千円
	水難救助科	1人	5日間	41千円
	はしご自動車等講習会	2人	4日間	28千円
消防大学校	幹部科	1人	45日間	367千円
救急救命 東京研修所	救急救命士新規養成課程	1人	127日間	2,193千円
その他	その他の研修・講習等	130人	4日間ほか	243千円
合計		146人	—	3,732千円

【9款 消防費 1項 消防費】

1目 常備消防費

○ちば消防共同指令センター関係費 【消防総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
62,702	21,672	19,621

〈概要〉 千葉県北東部・南部の20消防本部で共同運用を行っている「ちば消防共同指令センター」の運用に要する経費や指令関係機器の部品交換に係る負担金を支出した。

〈成果〉 指令管制システム機器及び車載端末装置等の部品交換により、ちば消防共同指令センターの安定的な稼働に寄与することができた。

・運営負担金分 19,621千円

○常備消防感染防止対策事業 【消防総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	20,804	20,488

〈概要〉 新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、必要な物品の配備や施設の改修等を実施した。

〈成果〉 新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、消防庁舎における手洗器の自動水栓化等の改修や職員の衛生管理のため、仮眠室で使用する寝具の追加リース等により、職員の新型コロナウイルス感染症への感染リスク軽減を図った。

また、新型コロナウイルス感染症患者や疑いのある患者を救急搬送した際に、配備した物品を活用することにより、新型コロナウイルス感染症感染防止及び安全対策を図った。

・消防本部庁舎及び松丘分署手洗器水栓改修（自動水栓化） 2,296千円
 ・本署仮眠室カーテン設置改修 3,273千円
 ・消耗品（マスクほか）購入 1,019千円
 ・仮眠用寝具追加リース 276千円
 ・オゾンガス式除染装置購入 4,831千円
 ・陽・陰圧装置付搬送具購入 8,793千円

【9款 消防費 1項 消防費】

2目 非常備消防費

非常備消防は、1本部・5個支団・44個分団をもって組織し、定数960人に対して、令和2年度末の実員は859人となっている。

(うち、女性消防分団18人、機能別市役所分団30人、機能別消防OB団員86人)

新型コロナウイルス感染症の影響により、訓練等は実施できなかったが、より安全で効果的な活動ができるよう消防団活動マニュアルの改正を行うとともに、新型コロナウイルス感染症感染防止対策品や消防団活動上必要な装備品等を貸与することで災害対応力の充実強化を図った。

○消防団運営関係費 【消防総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
60,136	59,613	49,728

〈概要〉 消防団員の報酬（機能別市役所分団を除く。）や出動手当の支給、消防団運営交付金の交付及び消防団機庫の光熱水費など施設の適正な維持管理に係る経費等を支出した。

〈成果〉 消防団の運営や消火活動等を円滑に遂行するとともに、機庫や車両の適正な維持管理を行った。また、雨衣などの消防団活動に必要な装備品等を貸与し、災害対応力の強化を図った。

- ・報酬・出動手当等 28,610千円
- ・光熱水費・燃料・被服等 12,473千円
- ・運営交付金 8,645千円

(出動実績)

- ・火災出動 49件
- ・警戒出動 2件

出動分団数(延べ)

- 175個分団
- 6個分団

【9款 消防費 1項 消防費】

2目 非常備消防費

○消防団活性化対策事業 【消防総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
731	485	469

〈概要〉 消防団OBで編成された消防協力隊の活動をサポートするとともに、地域ぐるみで消防団を応援するという趣旨のもと、消防団員の士気の高揚及び加入促進を図るため、消防団応援の店事業を展開した。

〈成果〉 消防協力隊員の活動に係る傷害保険の加入等を行った。

消防団応援の店については、新たに2店舗の登録申込みがあった。また、広報きみつやホームページでの広報により、消防団員の加入促進を図った。

消防協力隊保険料	247千円
消防団応援の店表示証(30枚)	73千円
消防団応援の店利用証(100枚)	82千円
消防協力隊用ジャンパー(10着)	67千円
令和3年3月31日時点	29店舗登録

○消防団感染防止対策事業 【消防総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	3,905	3,854

〈概要〉 新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、消防団の感染防止対策に必要な物品を配備した。

〈成果〉 新型コロナウイルス感染症感染防止対策品を消防団に配備したことにより、消防団活動における新型コロナウイルス感染症への感染リスクの軽減を図った。

・シールド付きヘルメット購入	1,632千円
・防護服購入	946千円
・消耗品(マスクほか)購入	1,276千円

【9款 消防費 1項 消防費】

3目 消防施設費

○消防水利整備事業 【消防総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
23,148	42,325	39,545

〈概要〉 消防力の充実強化を図るため、消防水利の不足している地域に消火栓を新設したほか、消防水利の維持補修を行った。

〈成果〉 令和2年度に40m³型耐震性貯水槽を1基、地下式消火栓を1基新設し、消防水利の拡充を図った。

また、既存消火栓及び防火水槽等の適切な維持管理を行うことができた。

(現年分) 28,655千円

- ・地下式消火栓 1基 笹地先 1,682千円
- ・消火栓の維持管理に係る負担金ほか 26,973千円

(繰越明許分) 10,890千円

- ・40m³型耐震性貯水槽 1基 郡三丁目地先 10,890千円

○消防自動車購入事業 【消防総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
47,643	226,152	216,016

〈概要〉 常備消防車両2台(消防ポンプ自動車、救助工作車)を更新した。

〈成果・進捗〉

消防ポンプ自動車、救助工作車の更新により、多様化する災害への対応強化を図った。

また、消防団車両については、新型コロナウイルス感染症の影響により、部品の供給等が困難となり艱装に不測の日数を要したため、次年度へ繰り越した。

- ・消防ポンプ自動車 1台 49,360千円
- ・救助工作車 1台 166,656千円
- ・令和3年度へ繰越明許(消防団小型動力ポンプ付積載車 1台) 9,488千円

【9款 消防費 1項 消防費】

3目 消防施設費

○ホース乾燥塔整備事業 【消防総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,852	1,743	1,705

〈概要〉 老朽化した第34分団の三脚鉄式ホース乾燥塔をポール式ウインチ付乾燥塔に更新した。

〈成果〉 乾燥塔の更新により、地上での作業が可能となり、高所作業が不要となったことで、消防団員の安全を確保し、負担を軽減することができた。

○消防団機庫整備事業 【消防総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	30,030	29,788

〈概要〉 消防団の活動拠点となる分団機庫の機能維持を図るため、17分団機庫の建替え工事及び第10分団機庫の建替えに向けた用地測量業務委託を実施した。

〈成果〉

(現年分) 1,771千円

昭和56年3月に建築され、老朽化が著しい第10分団機庫の建替えに向けて、買収予定地の用地測量業務委託を実施した。

(事故繰越分) 28,017千円

第17分団機庫の建替えにより、地域防災力及び消防力の強化を図った。

4目 災害対策費

○防災訓練関係費 【危機管理課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
99	928	490

〈概要〉 自治会や自主防災会などが行う自主防災訓練及び防災講座に職員を派遣した。

なお、総合防災訓練や地域別防災訓練等については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止とした。

〈成果〉 自主防災訓練及び防災講座については、防災意識を高め、災害時における行動等について、認識を新たにすることができた。

件名	回数	参加者数
自主防災訓練	6回	141人
防災講座	6回	127人

○非常災害時用備蓄品購入事業 【危機管理課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
12,312	105,395	105,395

〈概要〉 避難所の電源環境を強化するため、LPガス対応ハイブリッド発電機、可搬型リチウムイオン蓄電池を購入したほか、バリアフリー化のため、段差解消用のスロープ、車椅子対応型トイレ、オストメイト専用トイレ、新型コロナウイルス感染症対策のため、間仕切り、サーマルカメラ、大型扇風機、各種衛生用品等、その他の備蓄品として、保存食や段ボールベッド等の購入を行った。

〈成果〉 新型コロナウイルス感染症対策用品を含め、避難所の開設・運営に必要となる消耗品や備品等を強化することができた。

○防災行政無線施設維持管理事業 【危機管理課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
9,046	17,001	14,228

〈概要〉 防災行政無線施設を常時安定稼働させるため、基地局・中継局・屋外拡声子局の保守点検や修繕工事等を行った。

〈成果〉 各施設について点検や修繕等を行い、年間を通して安定稼働させることができた。

・基地局(1)、中継局(1)、屋外拡声子局(226)

※屋外拡声子局のうち2局は再送信局を兼ねる。

4目 災害対策費

○防災情報フリーダイヤル事業 【危機管理課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
2, 2 2 4	2, 4 4 6	2, 4 4 6

〈概要〉 防災行政無線放送を聞き逃した方等に対し、テレホンガイドサービス（フリーダイヤル）により、情報発信を行った。

〈成果〉 防災行政無線の放送を補完することで、情報提供手段の多重化に資することができた。

○デジタル防災行政無線施設整備事業 【危機管理課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
1 2 0, 9 8 0	6 0 3, 4 2 1	2 9 2, 2 7 4

〈概要〉 技術基準の改正により、現在、アナログ波で運用している防災行政無線施設が使用できなくなることから、防災行政無線施設のデジタル波対応工事を行う事業であるが、成果・進捗に示した理由により、繰越実施することとなった。

〈成果・進捗〉

新型コロナウイルス感染症の影響等により、第2期工事が遅れ、適正な工期を確保することができなくなったことから、次年度へ繰り越した。

(繰越明許費) 工事請負費 ほか 2 8 6, 6 7 5 千円

(現 年 分) 委託料 5, 5 9 9 千円

・令和3年度へ繰越明許 2 9 9, 5 5 9 千円

4目 災害対策費

○災害時通信機器整備事業 【危機管理課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
687	6,252	3,921

〈概要〉 災害対応に係る情報通信環境を整えるため、新たに公用スマートフォンのリース、ポケットWi-Fiの購入（通信契約含む。）、災害対応用GISの整備等を行ったほか、引き続き、各拠点施設用の衛星携帯電話のリースを行った。

〈成果〉 公用スマートフォンについては、グループチャット機能を活用することで、避難所担当者と本部事務局間での効率的な情報共有が可能となった。

ポケットWi-Fiについては、庁内LANを介さないインターネット環境を整えることで、他市町村等からの応援職員用に通信環境を提供するとともに、君津市のインターネット通信用システムに障害が発生した場合でも情報発信等が可能となった。

災害対応用GISについては、各種情報を視覚的に共有することで、迅速な災害対応につなげるとともに、わかりやすい情報発信が可能となった。

衛星携帯電話については、通信障害発生時でも拠点間での通信が可能な環境を維持することができた（市役所本庁舎、各行政センター（4）、消防署（1署3分署）の計9か所）。

○地区防災計画策定事業 【危機管理課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	12,416	12,408

〈概要〉 住民自らの手で地区防災計画を策定できるよう、地区防災計画策定の手引きを作成した。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、ワークショップの実施は見送り、防災対策に必要な基礎資料を作成した。

〈成果〉 今後実施予定の勉強会やワークショップ等の効果を高め、地区防災計画の策定促進につながる成果物を作成することができた。

○災害用トイレトレーラー配備事業 【危機管理課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	28,994	28,965

〈概要〉 クラウドファンディングを活用のうえ、トイレトレーラーを配備した。

〈成果〉 災害発生時におけるトイレ環境の改善及び自治体間の相互応援体制の強化が図られた。

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額
10	教育費	5,254,594	4,067,959
	1 教育総務費	696,783	665,471

1目 教育委員会費

○特別支援教育推進事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
502	605	503

〈概要〉 特別支援教育アドバイザーを任用し、幼児を中心に就学に関する検査や園訪問などを行った。相談窓口としての「ほほえみ相談室」の運営を行った。

〈成果〉 特別な支援を必要とする児童生徒への支援の継続と充実を図る校内支援体制の整備を推進した。

- ・市内小中学校における交流及び共同学習の実施状況を把握
- ・特別支援チームの学校派遣：(巡回訪問)中止(要請訪問)就学に関わるもののみ10件
- ・県立君津特別支援学校との連携による「ほほえみ相談室」の運営(緊急事態宣言期間休止)相談延べ回数(幼児21回、小学生63回、中学生3回 計87回)
- ・就学相談・検査、就園相談、園の訪問支援の実施

○奨学金貸付事業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
8,060	9,360	8,560

〈概要〉 経済的な理由により修学が困難な学生に対し、修学に必要な資金の貸付けを行い、有為な人材の育成に努めた。

〈成果〉 新たに大学生2人及び専門学校生1人に貸付けを行った。

継続	月額50千円	11人	6,600千円
	月額30千円	1人	360千円
新規	月額50千円	3人	1,600千円
計		15人	8,560千円

【10款 教育費 1項 教育総務費】

1目 教育委員会費

○学校再編推進事業 【教育総務課・学校再編推進課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
15,020	16,326	11,604

〈概要〉 少子化により学校の過度の小規模化が懸念されている中、学校の適正規模、適正配置を目指して、学校の統合、通学区域の見直し、小中一貫教育等を視野に入れた学校再編を推進し、「子どもたちにとってよりよい教育環境」を目指した。

〈成果〉 統合準備室を運営し、円滑な統合に向けた取組を推進した。

市民を対象とした各種説明会や意見交換会を開催し、丁寧な説明を行った。

統合対象校同士で事前交流を行うことで円滑な接続を推進することができ、統合校での教育活動の充実を図ることができた。

・統合準備室運営事業 【学校再編推進課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
331	369	250

小糸地区、上総地区、大和田小・坂田小の統合準備室において、円滑な統合に向けた会議を実施した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、書面開催を行う等の工夫をした。

内 容	対 象	開催回数
市民説明会	周西中学校区、小糸地区、上総地区	6回
統合準備室	小糸地区	8回
〃	上総地区	12回
〃	大和田小・坂田小	15回

・事前交流事業 【学校再編推進課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
2,268	2,117	920

児童の円滑な接続に向け、統合前に学校間で合同学習等の交流を通し、互いの学校や地域の理解を進めた。新型コロナウイルス感染症の影響により、交流事業の実施回数が予定より減少した。

地 区	実施回数
小糸地区	8回
上総地区	3回

【10款 教育費 1項 教育総務費】

1目 教育委員会費

・統合関係費 【学校再編推進課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
12,308	13,684	10,434

上総小学校及び小糸小学校の開校に伴い、引っ越し業務の委託、校旗等の備品の購入や校章・校歌の制作を行った。また、再編に伴った備品の移設や再分配を行った。

(繰越明許分) 300千円

(現年分) 10,134千円

2目 事務局費

○私立幼稚園教育振興費補助事業 【保育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,283	1,325	1,274

〈概要〉 市内の私立幼稚園の適正な運営に資するため、教材費等の一部を補助した。

〈成果〉 市内の私立幼稚園に対し、教材費等の一部を補助することにより、適正な運営を維持する一助とするとともに、幼児教育の振興を図った。

市内私立幼稚園 4園

【10款 教育費 1項 教育総務費】

2目 事務局費

○学校図書館司書補助員配置事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
8,500	8,147	8,014

〈概要〉 学校図書館に司書補助員を配置し、図書館担当職員の補助及び図書館運営に関する支援を行った。

(司書補助員23人配置：任用は、年間70～100日 1日4時間勤務 週2～3日程度)

〈成果〉 児童生徒の読書意欲を高めるとともに、学校図書館システムを活用して、学校図書館機能を高め、蔵書の有効活用及び読書教育の推進を図ることができた。

中央図書館と連携し、学校団体貸し出しセットや団体貸し出しセットを用意して、読書活動や学習で活用することができた。(貸し出し実績：32回)

学校図書館が、気持ちを落ち着かせて読書活動に取り組む場となるよう、環境整備を行うことができた。

新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえ、できる範囲で学校図書館運営を行った。

○伝統音楽教育推進事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
205	227	180

〈概要〉 和楽器(箏)に触れることにより、日本の伝統音楽に興味・関心を持たせ、伝統と文化を尊重する児童生徒の育成を図った。

〈成果〉 新型コロナウイルス感染症の影響により年間の箏配置は休止したが、10月から、希望校に箏を配置し、出前授業を実施した。5小学校で児童が箏の体験学習を経験した。

生田流大師範を講師として招聘することで、質の高い指導と生演奏を鑑賞する機会を得ることができた。

生演奏を聴いたり実際に演奏をしたりすることにより、箏に親しみ、日本の伝統音楽への興味・関心を深めたり成就感を得たりすることができた。

師範とのふれあいも大切にすることができた。

【10款 教育費 1項 教育総務費】

2目 事務局費

○小中一貫教育推進事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
87	189	181

〈概要〉 周南小中一貫教育校において、9年間を一貫したカリキュラムで行う実践研究を行い、教育活動の充実を図った。

〈成果〉 周南小・中学校が、共有する教育目標や学習規律等を定め、連携を図るために必要となる体制を構築することができた。また、中学校教員による小学校6年生算数科、小学校5・6年生外国語科や小学校教員による中学校1年生数学科の乗り入れ授業や異学年交流など、9年間の学びと育ちの充実を図ることができた。

消耗品費

小学校教科書及び指導書（算数、外国語）・・・ 180,993円

○幼児教育無償化事業 【保育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
129,655	282,367	272,040

〈概要〉 君津市に在住する私立幼稚園児の保護者について、保育料等は無償とし、保護者の負担の軽減を図った。

〈成果〉 保護者の経済的な負担を軽減することにより、幼児教育の振興を図った。

区 分	支給額 (千円)	園児数 (延べ人数)
保育料	263,264	11,021
預かり保育	5,096	611
副食費	2,515	236

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額
10 教育費	2 小学校費	1,448,039	880,512

1目 学校管理費

○校舎等維持補修事業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
40,795	79,443	77,735

〈概要〉 校舎等の維持補修、校内樹木の伐採などを行った。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、トイレ及び手洗い場の蛇口を自動水栓やレバー式水栓に交換した。

〈成果〉 補修修繕を迅速に行い、児童の安全で快適な学校生活に寄与することができた。

補修修繕 16校 380件 70,189千円

委託 10校 17件 2,496千円 ほか

○学校施設警備委託料 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
1,479	1,405	1,404

〈概要〉 夜間等における施設管理のため、機械警備を実施した。

〈成果〉 夜間等の警備を行い、学校施設及び児童の安全確保を図った。

○施設整備事業 【教育総務課・学校再編推進課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
783,570	824,761	337,956

〈概要〉 各小学校からの施設整備の要望に基づき、計画的に施設整備を行った。また、子どもたちにとってよりよい教育環境を目指した学校再編の実施に伴い、統合後の使用校舎の施設整備を行った。

〈成果〉 学校施設の整備を行い、教育環境の向上を図った。

(繰越明許分) 160,406千円

(逡次繰越分) 113,344千円

(現年分) 64,206千円

・令和3年度へ繰越 476,724千円

【10款 教育費 2項 小学校費】

1目 学校管理費

・貞元小学校普通教室棟整備事業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	62,262	61,133

(繰越明許分) 61,133千円

普通教室棟の増築工事を実施し、児童の増加に伴う教室不足の解消を図った。

・小学校消防設備改修事業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
501	77	77

期限切れとなる消火器の撤去及び新規消火器の設置を行った。

・(仮称)上総地区小学校統合施設整備事業 【学校再編推進課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
49,297	585,751	151,052

旧久留里小学校の大規模改造工事及び一部改築を実施。また、仮設校舎への不足分エアコンの導入やシンクの整備を行った。

(遡次繰越分) 113,344千円

(現年分) 37,708千円

・令和3年度へ遡次繰越 434,396千円

・小学校空調設備設置事業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
530,301	8,256	8,255

猛暑等に伴う児童の体調管理への配慮及び快適な学習環境を確保するため、大和田小学校、小糸小学校、松丘小学校、坂畑小学校の普通教室にレンタルエアコンを設置した。

【10款 教育費 2項 小学校費】

1目 学校管理費

・南子安小学校敷地整備事業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
5,610	106,686	98,838

(繰越明許分) 98,838千円

湧き水の影響等により、水捌けが悪化したグラウンドの改修工事を行った。

・大和田・坂田小学校統合施設整備事業 【学校再編推進課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	11,021	11,000

周西の丘小学校施設整備の方向性を示した基本構想・基本計画を策定した。この計画を基に、令和3年度以降、基本・実施設計を行う。

・貞元小学校特別教室棟機能改善事業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	3,145	3,145

有効活用されていない和室等を改修し、保健室の移転を行うなど、円滑な学校運営を図るための改修に係る実施設計を行った。

・小学校屋内運動場LED照明改修事業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	15,521	0

周西小学校において、次年度に実施予定だった工事を前倒し事業として補助金の交付決定を受けたため、次年度へ繰り越した。

・令和3年度へ繰越明許 15,521千円

【10款 教育費 2項 小学校費】

1目 学校管理費

・小学校屋内運動場非構造部材耐震化事業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	26,873	0

八重原小学校において、次年度に実施予定だった工事を前倒し事業として補助金の交付決定を受けたため、次年度へ繰り越した。

・令和3年度へ繰越明許 26,807千円

○管理備品購入事業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
4,083	5,938	5,316

〈概要〉 学校の管理運営に必要な備品を計画的に更新し、教育環境の充実を図った。

〈成果〉 小学校管理備品21件を整備した。

○スクールバス運行事業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	38,006	38,005

〈概要〉 学校再編に伴う、生徒の通学手段としてスクールバスを運行した。

〈成果〉 児童の登下校における安全を確保した。

運行車両台数 : 清和小学校 4台

【10款 教育費 2項 小学校費】

2目 教育振興費

○振興備品購入事業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
7,644	8,242	8,152

〈概要〉 授業に必要な教材を購入した。

〈成果〉 授業の効率化を促進するため、各種教材備品等の整備充実を図った。

- ・備品等 5,024千円
- ・図書等 3,128千円

○特別支援教育就学奨励事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,959	3,782	3,781

〈概要〉 特別支援学級に在籍する児童又は通常学級に在籍する学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を補助した。

対象者数 102人 給食費の1/2を支給、学用品費・修学旅行費等を一部支給

〈成果〉 保護者の経済的な負担を軽減することにより、特別支援教育の振興を図った。

○就学援助事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
19,844	22,992	22,677

〈概要〉 経済的な理由により就学困難な児童の保護者に対し、就学に必要な援助を行った。

対象者数 304人 給食費・学用品費・修学旅行費等を認定月から全額支給

〈成果〉 保護者の経済的な負担を軽減することにより、義務教育の振興を図った。

2目 教育振興費

○ICT活用推進事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
49,120	68,424	67,614

〈概要〉 情報化時代に対応した迅速な事務処理及び学校教育を推進した。

〈成果〉 教育イントラの積極的な活用が図られ、コンピュータの操作技能が身に付いてきたことにより文書作成・表計算・プレゼンテーションソフトの活用技能が高まり、コンピュータを活用した授業を行う教員が増えてきた。また、児童には、コンピュータや電子黒板等のICT機器を活用した授業を行うことができた。学校用ホームページについては、各校の更新回数も大幅に増え、タイムリーな記事を公開することができ、地域に開かれた学校づくりを推進することができた。

○子ども支援・介護事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
10,218	11,329	11,067

〈概要〉 小学校に「生活体験指導員」を配置し、支援を必要とする児童の学習活動の補助、体験学習の支援及び介護を必要とする児童への支援等を行った。

(任用は、年間85日 1日6時間以内・週15時間以内の勤務 週2～3日程度)

〈成果〉 介護・支援が必要な児童にとって、学校での学習や生活の場面において、豊かな人間性や社会性を育成し、きめ細かな教育活動が可能となった。

特別支援学級に在籍する児童だけでなく、通常の学級に在籍する支援の必要な児童に対しても、一人一人のニーズに応じた支援をすることができた。

・小学校11校に21人配置

八重原小、南子安小、周西小、大和田小、坂田小、貞元小、周南小、中小、小櫃小、北子安小、外箕輪小

2目 教育振興費

○指導補助教員配置事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
12,058	15,405	15,155

〈概要〉 学力低下や問題行動等が問題視され、生きる力・確かな学力の育成が重要課題となっている中、市独自で教員資格を有する会計年度任用職員を配置した。

〈成果〉 少人数指導を推進することで、きめ細かな指導を充実させ、学力の向上を図った。

また、指導内容も校外学習・各種大会等への引率など、活動内容も広がり児童一人一人の個性に応じた指導・支援を推進することができた。

・小学校5校に5人配置

南子安小、周西小、貞元小、周南小、中小

○校内通信ネットワーク整備事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	176,667	138,974

〈概要〉 国より出されたGIGAスクール構想に基づき、校内通信の高速LAN化をするためにネットワークを整備した。

〈成果〉 小学校11校の整備（周西の丘小・上総小については、校舎の整備後実施予定）

（繰越明許分） 138,974千円

○ICT学習環境整備事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	37,701	11,590

〈概要〉 国より出されたGIGAスクール構想に基づき、児童が1人1台端末を使用するための校内通信機器等を整備した。

〈成果〉 整備内容は以下の通りである。

- ・校内通信機器及び学習支援ソフトの調達（ベネッセ「ミライシード」）
- ・ICT支援員の設置：各校月2回（1日の訪問時間3時間程度）
- ・モバイルルーターの調達（Wi-Fi環境がない家庭）
- ・端末、システム保守及び導入費用（児童用iPad3562台、授業者用iPad252台）
- ・リース料

(単位：千円)

款	項	予算現額	支出済額
10 教育費	3 中学校費	1,082,474	632,885

1目 学校管理費

○校舎等維持補修事業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
25,694	40,713	39,853

〈概要〉 校舎等の維持補修、校内樹木の伐採などを行った。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、トイレ及び手洗い場の蛇口を自動水栓やレバー式水栓に交換した。

〈成果〉 補修修繕を迅速に行い、生徒の安全で快適な学校生活に寄与することができた。

補修修繕 8校 201件 34,283千円

委託 4校 8件 1,296千円 ほか

○学校施設警備委託料 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,031	1,565	1,546

〈概要〉 夜間等における施設管理のため機械警備を実施するとともに、防犯カメラによる警備を行った。

〈成果〉 夜間等の警備及び防犯カメラによる警備を行い、学校施設及び生徒の安全確保を図った。

○施設整備事業 【教育総務課・学校再編推進課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
927,941	602,948	202,408

〈概要〉 各中学校からの施設整備の要望に基づき、計画的に施設整備を行った。また、子どもたちにとってよりよい教育環境を目指した学校再編の実施に伴い、統合後の使用校舎の施設整備を行った。

〈成果〉 学校施設の整備を行い、教育環境の向上を図った。

(繰越明許分) 146,442千円

(繰次繰越分) 53,550千円

(現年分) 2,416千円

・令和3年度へ繰越 379,298千円

【10款 教育費 3項 中学校費】

1目 学校管理費

・中学校消防設備改修事業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
66	49	44

期限切れとなる消火器の撤去及び新規消火器の設置を行った。

・中学校トイレ改修事業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
162,149	139,214	130,550

(繰越明許分) 130,550千円

老朽化した周南中学校の教室及び管理棟、屋内運動場のトイレ改修に係る実施設計及び改修工事を実施し、教育環境の改善を図った。

・周西南中学校屋内運動場整備事業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	416,393	69,499

老朽化した周西南中学校屋内運動場の改修に係る実施設計及び改修工事を行った。

また、令和3年度に実施予定だった工事を前倒し事業として補助金の交付決定を受けたため、次年度へ繰り越した。

(繰越明許分) 周西南中学校屋内運動場大規模改造実施設計業務 15,397千円

(現年分) バasketボール購入等 552千円

(通次繰越分) 周西南中学校屋内運動場大規模改造工事等 53,550千円

・令和3年度へ通次繰越 340,504千円

【10款 教育費 3項 中学校費】

1目 学校管理費

・上総小櫃中学校屋内運動場整備事業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	23,216	0

老朽化した上総小櫃中学校屋内運動場の改修に係る実施設計を行った。
また、設計条件の変更に伴う検討に不測の日数を要したため、次年度へ繰り越した。
・令和3年度へ繰越明許 17,454千円

・中学校屋内運動場LED照明改修事業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	7,645	0

周東中学校において、次年度に実施予定だった工事を前倒し事業として補助金の交付決定を受けたため、次年度へ繰り越した。
・令和3年度へ繰越明許 7,645千円

・中学校屋内運動場非構造部材耐震化事業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	13,739	0

八重原中学校において、次年度に実施予定だった工事を前倒し事業として補助金の交付決定を受けたため、次年度へ繰り越した。
・令和3年度へ繰越明許 13,695千円

○管理備品購入事業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,684	3,745	3,530

〈概要〉 学校の管理運営に必要な備品を計画的に更新し、教育環境の充実を図った。
〈成果〉 中学校管理備品20件を整備した。

【10款 教育費 3項 中学校費】

1目 学校管理費

○スクールバス運行事業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
34,394	115,853	115,720

〈概要〉 学校再編に伴う、生徒の通学手段としてスクールバスを運行した。

〈成果〉 生徒の登下校における安全を確保した。

運行車両台数： 周東中学校 3台、上総小櫃中学校 7台

2目 教育振興費

○振興備品購入手業 【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
5,459	3,820	3,787

〈概要〉 授業に必要な教材を購入した。

〈成果〉 授業の効率化を促進するため、各種教材備品等の整備充実を図った。

・備品等 2,225千円

・図書等 1,562千円

○特別支援教育就学奨励事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,859	2,040	2,039

〈概要〉 特別支援学級に在籍する生徒又は通常学級に在籍する学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を補助した。

対象者数 38人 給食費の1/2を支給、学用品費・修学旅行費等の一部支給

〈成果〉 保護者の経済的な負担を軽減することにより、特別支援教育の振興を図った。

【10款 教育費 3項 中学校費】

2目 教育振興費

○就学援助事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
24,809	26,669	25,352

〈概要〉 経済的な理由により就学困難な生徒の保護者に対し、就学に必要な援助を行った。

対象者数 223人 給食費・学用品費・修学旅行費等を認定月から全額支給

〈成果〉 保護者の経済的な負担を軽減することにより、義務教育の振興を図った。

○ICT活用推進事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
32,434	42,642	42,322

〈概要〉 情報化時代に対応した迅速な事務処理及び情報教育の推進を図った。

〈成果〉 教育イントラの積極的な活用が図られ、コンピュータの操作技能が身に付いてきたことにより文書作成・表計算・プレゼンテーションソフトの活用技能が高まってきた。特に英語や社会科の授業では、コンピュータや電子黒板を活用して授業を行う教員が増えた。また、生徒にはコンピュータや電子黒板等のICT機器を活用した授業を行うことができた。学校用ホームページについては、各校の更新回数も大幅に増え、タイムリーな記事を公開することができ、地域に開かれた学校づくりを推進することができた。

○運動部活動地域連携実践事業 【体育振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
820	1,076	222

〈概要〉 生徒数の減少や指導者の高齢化等、中学校運動部活動が抱える諸課題を解消するため、合同部活動により生徒の個性伸張を図った。

〈成果〉 周南中学校・周東中学校・上総小櫃中学校において、合同練習会を実施した。また、県駅伝大会出場に当たり、試走練習を実施した。ただし、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、教育活動全般に活動制限がかかり、最小限の執行となった。

2目 教育振興費

○指導補助教員配置事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
19,650	25,044	24,764

〈概要〉 学力低下や問題行動等が問題視され、生きる力・確かな学力の育成が重要課題となっている中、市独自で教員資格を有する会計年度任用職員を配置した。

〈成果〉 少人数指導を推進することで、きめ細かな指導を充実させ、学力の向上を図った。

また、指導内容も校外学習・宿泊学習・各種大会等への引率など活動内容も広がり、生徒一人一人の個性に応じた指導・支援を推進することができた。

・中学校7校に8人配置

君津中(2人)、周西中、周南中、周東中、小櫃中、周西南中、八重原中

○中学校合同生徒会事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
21	21	9

〈概要〉 「学校を越えた様々な仲間との交流を通し、自主性、協調性、コミュニケーション能力などの社会性を身につけた生徒の育成を図る。また、全体協議会、全体研修会を実施し、学校間の交流を深めるとともに、市内一斉の生徒会活動を展開する。」を目標に計画したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施できなかった。

〈成果〉 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施できなかった。

2目 教育振興費

○子ども支援・介護事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
2, 0 6 0	2, 1 5 7	2, 1 5 3

〈概要〉 中学校に「生活体験指導員」を配置し、支援を必要とする生徒の学習活動の補助、体験学習の支援及び介護を必要とする生徒への支援等を行う。

(任用は、年間85日 1日6時間以内週15時間以内勤務 週2～3日程度)

〈成果〉 介護・支援が必要な生徒にとって、学校での学習や生活の場面において、豊かな人間性や社会性を育成し、きめ細かな教育活動が可能となった。

特別支援学級に在籍する生徒だけでなく、通常の学級に在籍する支援の必要な生徒に対しても、一人一人のニーズに応じた支援をすることができた。

- ・中学校4校に4人配置（君津中、周東中、上総小櫃中、周西南中）

○校内通信ネットワーク整備事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
—	9 0, 9 3 2	7 3, 5 2 5

〈概要〉 国より出されたGIGAスクール構想に基づき、校内通信の高速LAN化をするためにネットワークを整備した。

〈成果〉 7校すべてで高速LANを整備した。

(繰越明許分) 73, 525千円

2目 教育振興費

○ICT学習環境整備事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
—	22,588	5,930

〈概要〉 国より出されたGIGAスクール構想に基づき、児童が1人1台端末を使用するための校内通信機器等を整備した。

〈成果〉 整備内容は以下の通りである。

- ・校内通信機器及び学習支援ソフトの調達（ベネッセ「ミライシード」）
- ・ICT支援員の設置：各校月2回（1日の訪問時間3時間程度）
- ・モバイルルーターの調達（Wi-Fiがない家庭）
- ・端末、システム保守及び導入費用（生徒用iPad1865台、授業者用iPad156台）
- ・リース料

○準要保護世帯高校進学等支援事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
—	5,600	5,600

〈概要〉 高校進学者等がいる準要保護世帯に対して支援金を支給した。

〈成果〉 高等学校への進学、就業等を予定している準要保護生徒1人につき70,000円を支給した。
対象者：80人

(単位：千円)

款	項	予算現額	支出済額
10 教育費	4 社会教育費	958,179	888,378

1目 社会教育総務費

○子どもの読書活動推進事業 【生涯学習文化課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
415	436	400

〈概要〉 平成30年3月に策定した「第三次君津市子ども読書活動推進計画」に基づき、すべての子ども達が、楽しく充実した読書ができる環境づくりを進めている。行政の関連機関等との連携を図りながら、乳児期、幼児期、児童期と年代に応じた読書活動の推進事業を行った。

- 〈成果〉
- ・「君津市子どもの読書活動推進委員会」の開催
事務局会議及び年齢別担当者会議の実施
 - ・「子どもが初めて本に出会うための事業（ブックスタート事業）」の実施
新型コロナウイルス感染症対策として読み聞かせは行わず、絵本の手渡しのみを行った。
手渡した数 518人
 - ・ブックスタート事業の君津市ホームページへの掲載
 - ・マタニティクラス内での読み聞かせの実施（年3回）
 - ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため「一日だけの、森の童話館」は中止した。

○まちづくりふれあい講座 【生涯学習文化課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
18	18	12

〈概要〉 まちづくりに対する自治意識の高揚を図るため、市職員等が講師として、市政の説明や専門知識を活かした講座等を行った。

- 〈成果〉 受講者からの評価も良好であり、市民の市政に関する理解を深めるものとなっているが、新型コロナウイルス感染症の影響から受講数が大幅に減少となった。
- ・講座数 60講座
 - ・受講講座 10件 受講者数 388人
 - ・受講団体 自治会、公民館（サークル含む）、各協議会、学校等
 - ・主な講座 防火・防災、健康、悪質商法についての受講が多かった。

1目 社会教育総務費

○生涯学習バス管理運営事業 【生涯学習文化課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
13,576	13,557	12,531

〈概要〉 生涯学習バスを移動教室と位置付け、利用マナーの向上や環境学習を深める機会とする生涯学習バスの管理運営を委託し、運行した。

〈成果〉 生涯学習活動の広がりや文化圏の拡大に伴う市民ニーズに対応し、学習活動の充実を図った。また、抽選会の際に利用説明の時間を設け、生涯学習バスの趣旨について利用者と共通認識を図った。新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に引き続き運行停止や利用キャンセルが多くなった。

生涯学習バス運行状況

(単位：回・人)

区 分		ふれあい号	かがやき号	計
実 運 行 回 数	社教施設・行政	3	4	7
	学 校	39	51	90
	社教団体ほか	40	38	78
	計	82	93	175
利 用 者 数	大 人	307	192	499
	子 ども	1,235	1,105	2,340
	計	1,542	1,297	2,839

○つどいの広場事業 【生涯学習文化課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,697	3,364	2,988

〈概要〉 子育てについて幅広い知識を持つ広場サポーターを配置し、子育てに関する相談業務や事業を実施した。また、利用者による運営委員と協議を重ね、プレイルームの環境作り、各事業の企画・運営を行った。(拠点施設：小糸公民館プレイルーム)

〈成果〉 新型コロナウイルス感染症の影響により外出自粛制限がかかる中、ママチャレンジ等の事業のネット配信やプレイルームサポーターによる電話相談などを行った。地域における子育て中の親子の交流を図り、子育ての拠点づくりとして、地域の教育力の向上を図った。

・プレイルーム利用者数 延べ1,226人

1目 社会教育総務費

○コミュニティ・スクール推進事業 【生涯学習文化課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
353	556	354

〈概要〉 周西小学校・周西南中学校に学校運営協議会を設置し、「地域とともにある学校」づくりを通じて、活力ある地域コミュニティを目指した。

- 〈成果〉
- ・新型コロナウイルス感染症の影響下でも学校運営協議会の役割を果たすために、書面開催2回を含む全4回会議を開催し、より良い学校運営について協議を行った。
 - ・学校と地域が情報を共有することで、相互理解を深め、新たな連携や活動に結び付けていくことをねらいとしてコミュニティ・カレンダーを作成した。
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響で、ボランティア活動は実施を見合わせた。

2目 公民館費

○公民館管理運営事業 【生涯学習文化課・各公民館】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
58,319	69,781	58,155

〈概要〉 公民館の管理に関する経費（光熱水費、電話料、設備等の管理・保守委託費）であり、地域住民の利用に供するため施設の維持管理を図り、快適かつ安全な利用に努めた。

〈成果〉 学習活動や相互交流活動の場を継続的に提供でき、計画的な活動ができる環境を提供できた。

電気事業法に基づく自家用電気工作物保守管理、浄化槽法に基づく浄化槽維持管理、消防法令に基づく消防設備保守点検など、法令に基づく施設管理を行うことで、不特定多数の市民が毎日利用する施設としての性能を維持できた。

各公民館の利用状況

(単位：回・人)

区分	主催事業		登録団体		その他一般・個人		計	
	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数
君津中央公民館	9	80	1,600	14,071	1	8	1,610	14,159
八重原公民館	65	648	1,332	12,007	347	1,912	1,744	14,567
周西公民館	62	1,324	711	6,983	39	4,187	812	12,494
周南公民館	39	660	511	2,900	164	3,920	714	7,480
小糸公民館	53	1,340	914	7,398	111	7,375	1,078	16,113
清和公民館	48	614	272	1,757	124	2,906	444	5,277
小櫃公民館	53	957	422	3,325	186	4,268	661	8,550
上総公民館	82	1,439	654	5,527	237	5,559	973	12,525
計	411	7,062	6,416	53,968	1,209	30,135	8,036	91,165

(注) 中央公民館は、貞元分館の利用状況を含む。上総公民館は、松丘・亀山分館の利用状況を含む。

○公民館維持補修事業 【生涯学習文化課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
9,179	19,524	18,932

〈概要〉 利用者が快適かつ安全に利用できるよう、公民館の維持補修事業を実施した。

〈成果〉 八重原、周西、周南、小糸、清和、小櫃公民館に対して、計42件の維持修繕を実施した。

八重原公民館ギャラリー空調設備改修工事などの計画的な修繕を行うとともに、清和公民館雨漏り修繕などの突発的な設備故障等に対応した。また、新型コロナウイルス感染症対策で、各館の手洗い蛇口を自動水栓にした。

3目 図書館費

○中央図書館資料購入事業 【中央図書館】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
22,154	22,300	22,247

〈概要〉 中央図書館、移動図書館、分室で図書館資料（図書、雑誌、新聞、視聴覚資料）を購入した。

〈成果〉 様々な分野の資料を広く市民に提供し、課題解決に応えた。

一般書：6,888冊 児童書：2,264冊 新聞：26紙 雑誌：147誌
CD：72点 DVD：85点

○中央図書館資料貸出事業 【中央図書館】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
41,405	48,815	45,115

〈概要〉 図書館業務の根幹をなす資料貸出を円滑に行うため、会計年度任用職員を任用した。また、移動図書館車について、運行管理を業務委託した。

〈成果〉 会計年度任用職員の適切な配置及び移動図書館の運行により、読書環境の充実を図った。

(単位：冊・人)

	貸出冊数	新規登録者数	利用者数	入館者数
中央図書館	326,160	665	70,279	108,226
移動図書館	17,747	147	6,997	
分室	12,766	32	3,621	
計	356,673	844	80,897	108,226

※新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館 4/1～5/31、1/19～3/21

中央図書館の開館日数 200日

3目 図書館費

○中央図書館読書推進事業 【中央図書館】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
361	384	361

〈概要〉 ハンディのある利用者のための資料を購入し、点訳本作成のボランティアを養成した。また、図書館で所蔵するDVDを映画鑑賞会や子ども映画会で活用するため、公共図書館向け映画作品の上映会許諾サービスと契約した。

〈成果〉 大活字本21タイトル(38冊)

点訳講座 11回開催 延べ188人参加

新型コロナウイルス感染症対策のため、映画鑑賞会等の集会事業を中止とした。

○中央図書館施設管理事業 【中央図書館】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
19,827	29,535	27,431

〈概要〉 施設全体の維持管理のため、総合管理、昇降機、空調設備等の保守、夜間警備等を委託した。設備の部品や消耗品を交換し、必要に応じて設備補修を行った。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、サーマルカメラの設置、トイレの手洗いの自動水栓化、消毒用消耗品の購入を行った。

〈成果〉 施設を適切に維持管理し、来館者に安全で快適な利用環境を整備した。

○図書館「知の拠点化」推進事業 【中央図書館】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,414	1,257	1,161

〈概要〉 図書館を市民の知の拠点とするため、課題解決支援やWi-Fi導入による環境整備を行い、来館者の利便性向上を図った。

〈成果〉 インターネット接続データベース(5種)の提供 合計33回

くらしに役立つ法律・判例情報講座 ※県立中央図書館共催

「災害の時に役に立つ法律の話」 参加者15人

館内無料Wi-Fiサービスの提供

国立国会図書館デジタルコレクション送信サービスの提供 合計7回

3目 図書館費

○中央図書館空調設備更新事業 【中央図書館】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	17,380	5,390

〈概要〉 現在使用している冷媒ガスの生産終了に伴い空調設備を更新するため、改修工事の実施設計を行った。

〈成果・進捗〉

設計を進めるなかで、空調設備と照明設備を同時に改修することにより工期や費用を抑え、効率的な施工方法や利用者負担の軽減を図ることができることから、令和3年1月に変更契約をした。また、必要となる工期を確保するため次年度へ繰り越した（令和3年7月完成）。

実施設計業務委託 4,950千円

冷温水配管劣化調査業務委託 440千円

・令和3年度へ繰越明許 実施設計業務委託 11,990千円

○中央図書館照明設備更新事業 【中央図書館】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	4,686	0

〈概要〉 生産終了等により今後交換が難しくなることが想定される水銀灯、蛍光灯を省エネ効果も期待できるLEDに照明設備を更新するための実施設計を行った。

〈成果・進捗〉

空調設備の更新と同時に行うことにより、費用を抑え効率的な施工方法とするため、照明設備の設計業務を追加契約した。また必要となる工期を確保するため次年度へ繰り越した（令和3年7月完成）。

・令和3年度へ繰越明許 実施設計業務委託 4,686千円

4目 文化財保護費

○漁業資料館管理運営事業 【生涯学習文化課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
3,706	5,366	5,147

〈概要〉 資料館事務、施設の点検・整備や漁業等に関する資料の保存管理を行い、資料館管理の充実を図った。

〈成果〉 館内の職員による虫害等環境調査（年4回／6月・9月・12月・3月）のほか、空調修繕、空調機保守点検、浄化槽管理、清掃業務、消防設備点検及び警備業務を実施した。

○文化財活用事業 【生涯学習文化課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
603	2,971	2,304

〈概要〉 新型コロナウイルス感染症の影響により、出土遺物公開展、体験教室、関連講演会は中止した。松本ピアノの修理、新井白石パネルミニ展示を実施した。

〈成果〉 (現年分)

- ・歴史kids隊（市内小中学生対象） 中止
- ・出土遺物公開展 中止
- ・文化財講演会 中止
- ・市所有「松本ピアノ」の補修
- ・新井白石パネルミニ展示（森林体験交流センター等にて展示）

(繰越明許分)

- ・市指定文化財「建暦寺阿弥陀堂」（浜子所在）の調査記録作成 1,969千円

令和元年房総半島台風で被災した市指定文化財「建暦寺阿弥陀堂」（浜子所在）の調査記録を作成した。

4目 文化財保護費

○スクールミュージアム事業 【生涯学習文化課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
79	83	49

〈概要〉 学校周辺の自然・文化等を、児童が専門家等の指導を受けながら学ぶ、観察会・体験学習等の機会を設定し、坂畑小・小櫃小・八重原小の3校と希望校で実施した。また、社会教育指導員が「スクールミュージアムだより」を作成して、実施した内容を市内各小学校に発信し、実施校以外でも情報、成果の共有を図った。希望校では、体験プログラム実施を支援した。

〈成果〉 坂畑小スクールミュージアム

- ・ 東京大学千葉演習林見学会（5・6年生）
- ・ 森林インストラクター会の指導による学校周辺の自然観察会（3・4年生）

小櫃小スクールミュージアム

- ・ 森林インストラクター会の指導による学校周辺の「小櫃の森」の自然観察会（1・2年生）

八重原小スクールミュージアム

- ・ 生涯学習文化課の指導による学校周辺の史跡等の見学会（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止）
- ・ 森林インストラクター会の指導による学校周辺の内みのわ運動公園内の自然観察会（1年生）

3校共通プログラム

- ・ 中央博物館職員の指導によるプール水生生物観察会（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止）
- ・ 千葉県教育庁教育振興部文化財課職員の指導による土器の観察や勾玉作り体験（坂畑小：5・6年生、小櫃小：6年生、八重原小：5年生）

希望校

- ・ 周南小：地域の歴史学習（5年生）

5目 青少年対策費

○地域コミュニティ推進事業 【生涯学習文化課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
115	129	110

〈概要〉 青少年をめぐる諸問題と今後の取組について検討するとともに、青少年の健全育成について様々な分野から支え、地域の自主的な取組を推進した。また、「子ども110番の家」協力者の保険に加入するとともに、新規協力者に対し「子ども110番の家」プレートを設置した。

〈成果〉 新型コロナウイルス感染症の影響下においても、関連団体の青少年健全育成に係る情報を共有するために、青少年健全育成団体合同研修会を書面により開催し、団体の活動状況や君津警察署による青少年を取り巻く犯罪状況などについて認識を深めた。研修を通して、家庭・地域・学校の相互の連携強化に繋げることができた。

○放課後子ども教室事業 【生涯学習文化課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
134	167	69

〈概要〉 放課後の子どもたちの安全・安心な居場所作りと地域住民との世代間交流を目的として、地域ボランティアの協力を得て勉強やスポーツ・文化活動等の取組をした。平成28年度の実験期間を経て、平成29年度に学校と連携を図りながら、八重原小学校1～3年生を対象にした放課後子ども教室「やえっ子ひろば」を開設した。

〈成果〉 八重原小学校において、放課後子ども教室「やえっ子ひろば」を年間計2回実施。

対象学年を小学4年生まで拡大した。また、新型コロナウイルス感染症の影響下においても安全に活動できるよう、1・4年生、2・3年生の2学年ごとに分けた実施とし、3密を避けながら実施した。

- ・登録者：八重原小学校1～4年生78人
- ・地域ボランティア登録者数：16人

6目 博物館費

○常設展示事業 【久留里城址資料館】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
307	537	531

〈概要〉 博物館法に基づき、各種の歴史関係資料を収集・保管し、その調査研究の成果を生かした展示・普及事業を実施した。

〈成果〉 「ふるさとの歴史と自然をたずねて」をメインテーマに久留里城に関する資料をはじめ、市内の歴史資料を展示し、市民や県内・県外からの来館者、校外学習等の児童生徒などに展示解説を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月1日～5月31日と1月19日～3月21日を臨時休館とし、強風により7月4日を城山封鎖したため、開館日数は195日であった。

入館者数 12,130人 市内 1,321人
 県内 7,431人 (市内を除く。)
 県外 3,378人

○企画展示事業 【久留里城址資料館】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
92	443	356

〈概要〉 久留里城や市内の歴史をテーマとして、特別に期間を定めて展示を開催した。

〈成果〉 秋の企画展は「疫病ときみつの信仰-道切りを中心に-」と題し、新型コロナウイルス感染症の影響下の中、関心の高まる歴史的な感染症や、君津市域の疫病除けのまじないなどを、屋外展示を含めて紹介した。

また、上総掘りで縁のある熊本県人吉地方をとりあげたミニ展示「人吉温泉と上総掘り」は、館だけでなく、公民館(小糸・小櫃)や市民文化ホールへの巡回展も行った。

7目 文化振興費

○市民文化ホール関係費 【生涯学習文化課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
147,783	156,021	148,745

〈概要〉 新型コロナウイルス感染症の影響下の中、市民文化ホールを円滑かつ効率的に運営するため、(公財)君津市文化振興財団を指定管理者に指定して管理運営を行い、感染対策をとりつつ、可能な限り地域文化の振興を図った。

〈成果〉 緊急事態宣言による臨時休館等のため、利用貸出可能日及び利用者が減少した。
大ホール舞台上の一斉解放の修理について、部品が特別注文で工期を要し、年度内に完了することができなかつたため、次年度へ繰り越した。

・令和3年度へ繰越明許 大ホール一斉解放修繕 1,298千円

(1) 主要施設利用状況

施設名	利用可能日	利用日数	稼働率	利用回数			利用人数
				午前	午後	夜間	
大ホール	197	125	63.5 %	88	91	71	16,237 人
中ホール	204	110	53.9 %	81	57	41	11,475 人
リハーサル室	202	166	82.2 %	108	70	98	2,796 人
小計	603	401	66.5 %	277	218	210	30,508 人
練習室1	202	173	85.6 %	89	117	76	665 人
練習室2	202	125	61.9 %	72	74	46	387 人
会議室	207	114	55.1 %	66	88	37	534 人
和室1	98	16	16.3 %	8	15	8	10 人
和室2	98	10	10.2 %	6	9	7	3 人
和室3	98	10	10.2 %	6	9	7	3 人
ギャラリー	203	61	30.0 %	57	50	21	363 人
合計	1,711	910	53.2 %	581	580	412	32,473 人

(注) 稼働率は利用日数を利用可能日で除したもの

7目 文化振興費

(2) 市民文化ホールの自主事業・共催事業・後援事業

事業名称	公演数	来場者数・参加者数
文化芸術の鑑賞の機会の提供 (こころの劇場・各種コンサート中止、きみぶんシネマ実施)	7公演	1,660人
地域文化活動の協働及び創造性を育む機会の提供 (スクールコンサート・水と緑のコンサート中止、松本ピアノ実施)	3公演	553人
文化芸術に関する講座等の開催及び体験の機会の提供 (ワークショップ等)	1公演	27人
優れた文化芸術活動の担い手の育成 (きみぶん演劇祭実施、LIVE FOREST中止)	1公演	132人
共催事業	0公演	0人
後援事業	0公演	0人
合計	12公演	2,372人

○君津市民文化ホール改修事業 【生涯学習文化課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
13,142	30,998	28,919

〈概要〉 市民文化ホールの施設整備の性能を維持するため、空調設備修繕を実施した。

- ・リハーサル室ダンパモータ開度更新 770千円
- ・大ホール空調機コイル修繕 16,500千円
- ・楽屋エアコン修繕 1,991千円
- ・中ホール空調機コイル修繕 7,590千円
- ・空冷フレックスモジュールチラー修繕 2,068千円

〈成果〉 新型コロナウイルス感染症対策の「新しい生活様式」のもとで市民文化ホールが正常に機能するため、設備の不具合を回避し、施設利用を提供することができた。

7目 文化振興費

○きみつ青少年少女合唱団育成事業 【生涯学習文化課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
5,240	3,240	2,500

〈概要〉 本市の子ども文化の代表として活躍する合唱団の育成と活動の支援を図った。

〈成果〉 新型コロナウイルス感染症対策をとりつつ、合唱技術の向上に努めた。オリンピック・パラリンピック関連及びその他のイベントがほぼ中止となったが、定期演奏会（関係者のみ）を開催した。

8目 地域交流センター費

○生涯学習交流センター管理運営事業 【生涯学習交流センター・生涯学習文化課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
13,872	20,306	17,086

〈概要〉 生涯学習交流センターの施設の維持管理を行い、利用者が快適に利用できるよう努めた。

〈成果〉 施設管理委託等一覧

- ・昇降機設備管理業務（エレベーターの遠隔監視、定期メンテナンス）
- ・夜間警備業務（長期継続契約）
- ・消防設備点検業務
- ・自家用電気工作物保安管理業務
- ・設備保守管理業務（床、ガラス、空調点検）
- ・受水槽清掃業務委託（年1回）
- ・修繕（非常用発電機、和室畳替ほか）
- ・光熱水費、ガス・電話料金、AED賃貸借料等

生涯学習交流センター利用状況

(単位：回・人)

主催事業		利用団体		その他		計	
延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数
21	177	1,801	15,704	833	3,377	2,655	19,258

(注) 貞元分館を除く中央公民館利用状況を含む。

8目 地域交流センター費

○市民相互交流促進・生涯学習促進事業 【生涯学習交流センター】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
477	545	162

〈概要〉 生涯学習交流センターを利用する機会を幅広く提供するとともに、市民の生涯学習活動や家庭教育の促進を図った。

〈成果〉 様々な年齢層を対象とした事業やイベント、生涯学習に親しみやすい講座など幅広い事業を展開することを目標としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、やむを得ず開催できない事業も多くあった。

そのような中でIT講習会やZoomを活用した家庭教育講演会など、諸団体との連携により感染対策を講じながら事業を運営し、より親しみやすく効果的に事業運営を行うことができた。

講座名	実施回数(実施日)	受講者数
生涯学習講演会	3回	延べ293人
IT講習会	9回	延べ49人

○子ども相互交流事業 【生涯学習交流センター】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
588	758	669

〈概要〉 各種体験学習を通して子ども同士や世代間の交流を深めながら、社会のルールやマナーを学び、豊かな心を育てた。

また、親子がふれあう場所を提供することにより、親同士の交流や相談などの子育て支援の充実を図った。

〈成果〉 「こっこる一む」では、様々な団体と協力し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底の上、親子でふれあうことのできるイベントを実施した。また、家庭教育指導員が中心となり、市内の子育て支援事業の情報を収集・発信する中で、子育て支援の環境づくりを進めることができた。

こっこる一む 利用者数	延べ1,333人
イベント実施回数	10回
イベント受講者数	延べ51人

8目 地域交流センター費

○上総地域交流センター管理運営事業 【生涯学習文化課・上総地域交流センター】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
12,105	16,283	14,290

〈概要〉 上総地域交流センターの快適かつ安全な利用環境を確保するため、管理運営を行った。

〈成果〉 利用者に快適かつ安全な環境を提供することができた。また、各公民館と同様に節電に取り組み、維持管理費の削減と節電意識の向上に努めた。

施設管理委託等一覧

- ・昇降機設備管理業務（エレベーターの遠隔監視、定期メンテナンス）
- ・夜間警備業務（長期継続契約）
- ・消防設備点検業務
- ・自家用電気工作物保安管理業務
- ・設備保守管理業務（床、ガラス、空調点検、浄化槽維持点検）
- ・浄化槽清掃業務委託（年1回）
- ・夜間・土日開館業務委託（（公社）君津市シルバー人材センターに委託）等その他管理経費
- ・光熱水費、ガス・電話料金、AED貸借料等

上総地域交流センター利用状況

(単位：回・人)

主催事業		利用団体		その他		計	
延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数	延回数	延人数
47	1,184	482	3,538	247	7,029	776	11,751

(注) 松丘分館・亀山分館を除く上総公民館利用状況を含む。

(単位：千円)

款	項	予算現額	支出済額
10 教育費	5 保健体育費	916,701	850,521

1目 保健体育総務費

○学校保健事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
22,464	101,449	76,581

〈概要〉 学校保健法に基づき、幼児・児童・生徒及び教職員の健康維持管理と学校環境衛生の確保を図った。

〈成果〉 幼児・児童・生徒及び教職員の健康維持増進と適切な学校環境を確保した。

生活習慣病予防検診（対象 小学4年生 519人、中学2年生 574人）

教職員健康診断（基本健診）336人

心電図（対象 小学1年生 551人、中学1年生 601人）

学校再開に当たり、新型コロナウイルス感染症対策のため各校に用品を購入した。

国の補正予算で計上された感染症対策等の学校教育活動継続支援事業が令和2年度で完了しなかったため次年度へ繰り越した。

・令和3年度へ繰越明許 21,600千円

○学校開放事業 【体育振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,173	1,027	1,027

〈概要〉 管理指導員23人を任命し、利用者の危険防止及び学校体育施設の管理と利用者の指導に当たった。

〈成果〉 小学校及び中学校の体育施設をスポーツの場として市民に開放し、体力づくりと社会体育の振興普及を図った。また、各学校に管理指導員を置き利用者の危険を防止し、施設及び備品を管理した。

学校開放利用状況

(単位：日・人)

施設名	開放日数	利用人数
屋外（グラウンド）23校	601	27,051
屋内（体育館）23校	2,588	64,131
計	3,189	91,182

【10款 教育費 5項 保健体育費】

1目 保健体育総務費

○スポーツ広場等管理経費 【体育振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
26,217	20,963	20,062

〈概要〉 市内5か所のスポーツ広場、君津グラウンド・ゴルフ場及び2か所の仮運動場の適正な維持管理を行った。小糸スポーツ広場、君津グラウンド・ゴルフ場及び久留里市民プールは指定管理者を指定し、施設を運営した。

〈成果〉 市民が快適に利用できる施設環境の維持を図ることができた。ただし、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、一部又は全部の期間において、施設を休場とした。

○生涯スポーツ推進事業 【体育振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
357	412	44

〈概要〉 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、ニューイヤーマラソン大会など多くのスポーツイベントが中止となり、開催は中学生軟式野球大会のみとなった。

〈成果〉 市民一人一人が健康で活力あふれる生活や人と人とのふれあい、さわやかな心の充実を求めて、それぞれの年代やライフスタイルに応じて、スポーツ・レクリエーションに親しむことができるよう推進体制の整備を図った。ただし、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、多くの大会が中止となったことから、最小限の執行となった。

参加状況

(単位：人)

種 目	参加人数	備 考
グラウンド・ゴルフ大会	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
スポーツ・レクリエーション祭	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
中学生軟式野球大会	59	5チーム(7校)
3×3バスケットボール大会	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
中学生野球教室	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
中学生サッカー教室	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
ニューイヤーマラソン大会	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
なわとび大会	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
合 計	59	

1目 保健体育総務費

○体力向上プロジェクト事業 【体育振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
2,032	45	34

〈概要〉 全国・関東大会出場選手激励会を行い、2校2種目、21人の選手に激励書と記念品を贈呈した。
持久走ランキングを小学校5・6年生、中学校1・2・3年生を対象に、1回実施し、各学年男女別トップ20の児童生徒へ記録書を贈呈した。

〈成果〉 各競技団体が開催した全国大会の出場選手激励会をオンラインで行い、君津中学校の選手2名が、全国入賞を果たした。

○学校体育活動指導補助者活用事業 【体育振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
156	306	138

〈概要〉 生徒数の減少・指導者の高齢化や専門性等、学校体育活動や運動部活動が抱える諸課題の解消を図るため、地域在住の指導者を養成し市内各小・中学校へ派遣した。

〈成果〉 指導補助登録者数 44人
活動者数 22人 延べ199回
派遣先 君津中、周西中、上総小櫃中、周西南中、八重原中

○オリンピック・パラリンピック教育推進事業 【体育振興課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
669	650	80

〈概要〉 2020年東京オリンピック・パラリンピックの周知を図るとともに、インクルーシブ教育の観点からパラリンピックへの理解を深めるため、オンラインによる講演会を行った。

〈成果〉 オリンピック・パラリンピック教育推進校2校 八重原小、周西南中

【10款 教育費 5項 保健体育費】

2目 学校給食費

○その他管理費 【学校給食共同調理場】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
5,327	9,676	8,535

〈概要〉 給食業務の円滑な管理運営を行った。

〈成果〉 学校給食費徴収管理システムを導入した。

○給食運営管理費 【学校給食共同調理場】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
345,266	338,919	332,369

・運営管理費 【学校給食共同調理場】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
53,504	55,293	49,716

〈概要〉 調理に係る光熱水費、ボイラー燃料費

〈成果〉 調理業務の円滑な運営を図った。

・調理用消耗品 【学校給食共同調理場】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
1,464	1,204	700

〈概要〉 調理用消耗品の購入

〈成果〉 消耗・劣化した調理器具等を適切に買い替えることができた。

・調理等業務委託費 【学校給食共同調理場】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
290,298	279,295	279,287

〈概要〉 調理場における調理等業務委託を行った。

〈成果〉 調理・配送・配膳業務を円滑に行うことができた。

2目 学校給食費

・学校給食食物アレルギー対応事業 【学校給食共同調理場】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
—	3,127	2,666

〈概要〉 食物アレルギーを有する児童生徒へ代替食の提供を行った。

〈成果〉 食物アレルギー代替食を安全かつ衛生的に提供することができた。

○給食賄材料費 【学校給食共同調理場】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
275,542	305,956	284,326

〈概要〉 給食の食材費

〈成果〉 地産地消を推進し、安全安心でおいしい給食を提供した。

地産地消割合 米100%、野菜 43.78% (近隣4市産)

残渣発生量 87,180kg

給食訪問 23校 77回

個別指導 15校 70人

食指導 12校 21時間

(単位：千円)

款	項	予算現額	支出済額
10 教育費	6 教育センター費	152,418	150,192

1目 教育センター費

○適応指導教室管理運営事業 【適応指導教室】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
4,608	4,938	4,571

〈概要〉 不登校が長期化している児童生徒に対して、相談活動や様々な体験活動を通して、通級児童生徒の自主性や人間関係の改善を行い、社会復帰、学校復帰を目指した取組を行った。

〈成果〉 個々の状況に応じた対応や学校や他機関との連携により、児童生徒への適切な支援が行えた。

- ・午前中1時間から2時間の個に応じた、学習時間の確立を図った。
 - ・コミュニケーション能力の向上のために、レクやスポーツを活動に取り入れた。
 - ・保護者及び学級担任との連携を深められた。(保護者面談・学級担任面談実施)
 - ・管理職を含めた学校との連携・共通理解を図った。(学校訪問実施)
 - ・精神科医による「さわらび相談」を行い、医療行為が必要な児童生徒に医療機関とのつながりをもたせることができた。
 - ・四市適応指導教室との連携を図った。(連絡協議会、高校説明会など)
- 通級者9人(中学生4人 小学生5人)

○外国人英語助手活用事業 【教育センター】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
44,328	49,619	49,619

〈概要〉 外国人英語助手を小・中学校へ派遣契約により配置した。(外国人英語指導助手 10人)

- 〈成果〉
- ・10人を小中兼務とし中学校週2～5日、小学校週1～2日配置した。
 - ・児童生徒の英語における実践的コミュニケーション能力の育成を図るとともに、英語教員の指導力の向上を目指した。中学校では、週4時間ある英語の授業のうち2時間程度は外国人英語助手とのコミュニケーション中心の授業を実施できるようになっている。また、小学校では、中・高学年の授業の8割以上に外国人英語指導助手が入り、言語活動を通して表現を身につける授業を実施している。
 - ・本市独自の英語教育施策である「小中学校イングリッシュ・デイ・キャンプ」は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から動画配信の形で実施した。

【10款 教育費 6項 教育センター費】

1目 教育センター費

○社会科副読本作成事業 【教育センター】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
19	2,322	999

〈概要〉 新型コロナウイルス感染症の影響により、作成委員会は中止となり、14訂版の編集は見送りになったが、令和3年度使用の13訂版を増刷した。

〈成果〉 君津市の伝統や文化、そして地域を学ぶに当たって幅広く取り上げることができた。

○国際化推進コーディネーター活用事業 【教育センター】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
2,532	1,780	1,738

〈概要〉 英会話能力を有する指導員5人を任用した。3人は外国語科・外国語活動の指導員として小学校に派遣し、英語教育の充実を図るとともに国際教育の推進に努めた。また、2人は日本語指導が必要な外国人等の児童生徒のために派遣した。

〈成果〉 コーディネーターと授業を行うことで、コミュニケーションの手段としての英語教育が充実するとともに、新学習指導要領の全面实施に向け教員の英語活動に対する意識や授業力の向上が図られた。

- ・英語活動の指導員は、市内小学校16校を3ブロックに分けて、学校規模により各校年間4日～9日、合計100日派遣した。
- ・日本語指導の指導員は、要請があった小学校5校、中学校3校に対して年間92日派遣した。
- ・全体として合計年間192日派遣した。

【10款 教育費 6項 教育センター費】

1目 教育センター費

○ICT活用推進事業 【学校教育課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
37,323	44,148	44,147

〈概要〉 情報化時代に対応した迅速な事務処理及び情報教育の推進を図った。

〈成果〉 教育イントラの積極的な活用が図られ、コンピュータの操作技能が身に付いてきたことにより文書作成・表計算・プレゼンテーションソフトの活用技能が高まってきた。特に英語や社会科の授業では、コンピュータや電子黒板を活用して授業を行う教員が増えた。また、生徒にはコンピュータや電子黒板等のICT機器を活用した授業を行うことができた。学校用ホームページについては、各校の更新回数も大幅に増え、タイムリーな記事を公開することができ、地域に開かれた学校づくりを推進することができた。

○いじめ防止・虐待貧困対策事業 【教育センター】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
1,786	1,504	1,494

〈概要〉 いじめ防止のため教育相談窓口の1つとして、平成31年1月から中学生を対象にSNSを活用した相談を開設した。また虐待や貧困対策のため、学校と福祉機関等との繋ぎ役となるスクールソーシャルワーカー（SSW）を配置した。

〈成果〉 SNS相談は、市内全中学校に出前授業を実施し、登録人数75人、相談件数3件であった。友達や学校、家庭で言えないことを、SNSの窓口をとおして相談できるので、子どもたちにとって不安や悩みを相談できる場を増やすことができた。

また、SSWは、教育センターに1人配置し、学校の要請により学校や家庭を訪問した。令和2年度は、小学校8校、中学校4校から派遣申請があり、合わせて22件に対応した。学校ではできない支援を、必要な関係諸機関に繋ぎ、児童生徒支援や家庭支援をすることができた。

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額
11	災害復旧費	886,296	670,246
	1 農林水産業施設災害復旧費	252,025	151,474

1目 農業施設災害復旧費

○農業施設災害復旧事業 【農林整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
13,391	137,430	96,127

〈概要〉 令和元年房総半島台風等により被災した農道等の農業用施設の災害復旧を実施した。

〈成果・進捗〉

被災した農業生産基盤施設等の早期復旧により、農業経営の安定化及び利用者の安全を図ることができた。

(繰越明許分) 83,135千円

- ・修繕 東猪原地先 ほか 41件
- ・借上げ(重機) 平田地先 ほか 59件
- ・工事 大井戸地先 ほか 5件

(現年分) 12,992千円

- ・借上げ(重機) 作木地先 ほか 32件

被災箇所数が多く、年度内では適正工期が確保できないほか、工法変更のため国や県との協議に不測の日数を要し、年度内の完了が困難となった箇所が生じたため、修繕費、借上料、工事請負費を次年度に繰り越した。

- ・令和3年度へ繰越明許 24,100千円
- ・令和3年度へ事故繰越 3,017千円

【11款 災害復旧費 1項 農林水産業施設災害復旧費】

2目 林業施設災害復旧費

○林業施設災害復旧事業 【農林整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
9,288	85,594	38,201

〈概要〉 令和元年房総半島台風等により被災した林道等の林業施設の災害復旧を実施した。

〈成果・進捗〉

被災した林業施設の早期復旧により、利用者の安全を図ることができた。年度内の完了が見込めない工事等について次年度へ繰り越した。

(繰越明許分) 29,998千円

- ・修繕 大戸見地先 ほか 11件
- ・委託(調査・倒木撤去) 大戸見地先 ほか 5件
- ・借上げ 大戸見地先 ほか 3件
- ・工事 糸川地先 1件

(現年分) 8,203千円

- ・修繕 山滝野地先 ほか 2件
- ・委託(設計) 機械ボーリング L=15.0m、仮設設計業務 一式
- ・借上げ(重機) 糸川地先 ほか 6件

被災箇所数が多く、年度内では適正工期が確保できないほか、地質調査及び工法検討に不測の日数を要し、年度内の完了が困難となった箇所が生じたため、修繕費、工事請負費を次年度に繰り越した。

- ・令和3年度へ繰越明許 3,807千円
- ・令和3年度へ事故繰越 35,757千円

【11款 災害復旧費 1項 農林水産業施設災害復旧費】

3目 農地災害復旧費

○農地災害復旧事業 【農林整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
3,892	29,001	17,147

〈概要〉 令和元年房総半島台風等により被災した農地の災害復旧を実施した。

〈成果・進捗〉

被災した農地の早期復旧により、農業経営の安定化を図ることができた。

(繰越明許分) 17,147千円

・工事 根本地先 ほか 9件

工法変更のため国や県との協議に不測の日数を要し、年度内の完了が困難となった箇所が生じたため、工事請負費を次年度に繰り越した。

・令和3年度へ事故繰越 1,756千円

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額
1 1 災害復旧費	2 土木施設災害復旧費	5 0 1, 5 8 2	4 3 2, 8 8 2

1 目 道路橋梁災害復旧費

○道路橋梁災害復旧事業 【道路維持課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
1 4 9, 8 3 8	2 4 8, 4 0 7	2 0 2, 1 1 4

〈概要〉 令和元年房総半島台風等により、被災した道路施設の復旧を実施し、交通の安全を図った。

〈成果・進捗〉

年度内の完了が見込めないため、繰り越していた復旧工事等が完了した。

(繰越明許分)

2 0 1, 8 3 1千円

・修繕	馬登地先	ほか	1 5 件
・委託	広岡地先	ほか	3 件
・借上げ(重機)	白駒地先	ほか	9 2 件
・工事	奥米地先	ほか	1 3 件

(現 年 分)

2 8 3千円

・委託	融雪剤散布	ほか	8 件
-----	-------	----	-----

2 目 河川災害復旧費

○河川災害復旧事業 【道路維持課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
8, 4 2 6	9 9, 7 0 1	7 9, 9 8 5

〈概要〉 令和元年房総半島台風等により被災した河川施設の復旧を実施し、河川機能の回復を図った。

〈成果・進捗〉

年度内の完了が見込めないため、繰り越していた復旧工事等が完了した。

(繰越明許分)

7 9, 9 8 5千円

・修繕	尾車地先	ほか	9 件
・借上げ(重機)	白駒地先	ほか	1 3 件
・工事	川谷地先	ほか	3 件

【11款 災害復旧費 2項 土木施設災害復旧費】

3目 公園施設災害復旧費

○公園施設災害復旧事業 【公園緑地課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
51,779	153,474	150,783

〈概要〉 令和元年房総半島台風等により被災した公園施設の復旧を実施し、公園機能の回復を図った。

〈成果・進捗〉

年度内の完了が見込めないため、繰り越していた復旧工事等が完了した。

(繰越明許分) 150,783千円

- ・修繕 亀山湖畔公園 ほか 19件
- ・委託 君津緩衝緑地 ほか 14件
- ・工事 君津緩衝緑地 ほか 3件

(単位：千円)

款	項	予算現額	支出済額
11 災害復旧費	3 文教施設災害復旧費	127,393	80,984

1目 文教施設災害復旧費

○文教施設災害復旧事業

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
57,970	127,393	80,984

【教育総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
26,607	120,393	74,492

〈概要〉 令和元年房総半島台風等により被災した学校施設の復旧を実施した。

〈成果〉 学校施設の被災箇所が復旧し、児童生徒等の安全を図ることができた。

(繰越明許分) 74,492千円

- ・修繕 外箕輪小学校校舎屋根災害復旧修繕 ほか 8件
- ・委託 周東中学校台風被害倒木処理業務 ほか 2件
- ・工事 周西南中学校特別教室棟屋根災害復旧工事 ほか 13件

【久留里城址資料館】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
23,306	7,000	6,492

〈概要〉 令和元年房総半島台風により地割れなどが発生した久留里城二の丸(資料館)～本丸(天守閣)間の遊歩道を復旧整備した。

〈成果〉 被災箇所の復旧が完了したことで、城山来訪者への安全が図られた。

- ・委託 久留里城遊歩道災害復旧設計業務委託 1件
- ・工事 久留里城遊歩道災害復旧工事 1件

(単位：千円)

款	項	予算現額	支出済額
11 災害復旧費	4 その他公共施設・公用施設 災害復旧費	5,296	4,906

1目 その他公共施設・公用施設災害復旧費

○その他公共施設・公用施設災害復旧事業

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
54,704	5,296	4,906

【消防総務課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決算額	予算現額	決算額
10,657	5,296	4,906

〈概要〉 令和元年房総半島台風等の影響により被災した防火水槽7基の復旧を実施した。

〈成果〉

(繰越明許分)

令和元年度より繰越明許した防火水槽7基を復旧させ、消防水利の機能回復を図った。

・修繕 防火水槽フェンス災害復旧（大戸見地先他6件） 4,906千円

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額
12 公債費		1,604,303	1,602,234
	1 公債費	1,604,303	1,602,234

1目 元金

○長期借入金償還金 【財政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
1,716,033	1,557,264	1,557,263

〈概要〉 事業完了に伴い、借り入れた地方債に係る元金243件の償還を行った。

令和2年度末借入金現在高 14,714,357千円

2目 利子

○長期及び一時借入金 【財政課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
55,250	46,977	44,910

〈概要〉 長期借入金に係る利子321件の償還を行った。

※元金との償還件数の差

元金償還なし：79件（据置期間）

利子償還なし：1件（無利子）

主要施策の成果説明

特別会計

(単位：千円)

会 計 名	予 算 現 額	支 出 済 額
国民健康保険特別会計（事業勘定）	8, 7 5 6, 1 3 5	8, 3 9 4, 7 2 3

令和2年度の決算額は、予算現額87億5,613万5千円（前年度比1億333万7千円、1.2%の減）に対し、歳入総額92億1,577万4千円（前年度比2億2,646万4千円、2.4%の減）、歳出総額83億9,472万3千円（前年度比3億4,488万6千円、3.9%の減）で、実質収支は8億2,105万1千円（前年度比1億1,842万2千円、16.9%の増）であり、国民健康保険加入者に対し、医療の給付のほか、高額療養費の支給、人間ドック補助や特定健診などの事業を行った。

加入者が医療機関を受診した際などに保険者として支払った費用は、50億3,626万1千円で、前年度比2億4,426万3千円、4.6%の減となった。

また、医療費が高額となったときに申請により支給する高額療養費のほか、出産したときに支給する出産育児一時金などのその他の保険給付で、8億469万3千円を支出し、加入者の負担軽減を図ることができた。

保険給付費全体では、58億5,203万1千円で、前年度比2億5,189万7千円、4.1%の減となった一方、加入者一人当たりにより要した保険給付費は32万円で、前年度比4千円、1.2%の減となった。

国民健康保険は、平成30年度からスタートした国保広域化により、県と市町村がともに保険者となり運営を行っているが、県は、市町村ごとの国保事業費納付金の決定や保険給付に必要な費用の交付を行い、市は、保険証の発行や保険給付の決定、保険税率の決定、賦課・徴収、特定健診など、被保険者に密着した業務を行った。

伸び続ける一人当たりの保険給付費を抑制するため、医療費適正化対策として、診療報酬明細書の内容点検を業者委託したほか、増加傾向にある人工透析患者を減少させるため、地域医師会と連携して、慢性腎臓病地域連携パスを発行し、重症化予防に努めた。また、ジェネリック医薬品利用促進のため、差額通知を行うとともに、医療機関等で提示できるジェネリック医薬品希望カードの配布や、協会けんぽが行う強化月間に合わせた広報など、利用促進のための効果的な周知・啓発に努めた。

保健事業では、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、特定健診を予定どおりに行えない期間も生じたが、感染症予防に留意した予約制での集団健診や健診期間の延長等の対応を図るとともに、AIを活用した効果的な受診勧奨により、受診率の向上に努めた。また、特定保健指導についても感染症予防対策を図りながら、生活習慣病の発症予防、早期発見、重症化予防等の保健指導を行った。

収納率向上対策では、令和2年11月から新たにLINE Pay、PayPayによるスマホ決済を導入し納付方法の拡充を図ったほか、窓口で手軽に申込みのできるペイジー口座振替受付サービスやコンビニ収納を積極的に周知するとともに、休日・夜間納税相談を月1回開催することで、納付機会の確保に努めた。

また、督促状等の文書催告を早期に実施し、納付意思を見せない滞納者に対しては、速やかに差押を行うなど、滞納の長期化、肥大化にならないよう初期における対策の実施に努めた。

さらに、滞納繰越分の滞納者に対しては、納税相談と財産調査により滞納原因、納税誠意、資力を把握したうえで差押、換価、執行停止を適切・迅速に行い、併せて延滞金の適正徴収を実施することで、早期完納の促進と滞納繰越額の縮減に努めた。

○国民健康保険の状況（国への報告基準によるデータから抜粋）

1 世帯数・被保険者数の状況

（単位：世帯・人）

区 分		年 度 末			年 間 平 均		
		R 元年度	R 2 年度	増 減	R 元年度	R 2 年度	増 減
世 帯 数		11,885	11,797	△88	12,113	11,864	△249
被 保 険 者 数	総 数	18,360	18,044	△316	18,848	18,274	△574
	一般被保険者数	18,358	18,044	△314	18,825	18,274	△551
	退職被保険者数	2	0	△2	23	0	△23

介護保険第2号被保険者数	5,527	5,304	△223	5,805	5,462	△343
--------------	-------	-------	------	-------	-------	------

2 被保険者の異動状況

（単位：件）

R 2 年度に おける増	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期離脱	その他	計
	669	2,228	29	40	0	231	3,197
R 2 年度に おける減	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期加入	その他	計
	510	1,807	61	151	675	309	3,513

3 医療給付の状況（返納金等調整後）

（単位：件・千円）

区 分		件 数	費 用 額 (医 療 費)	給 付 額 (保 険 者 負 担 分)	一 部 負 担 金 (患 者 負 担 分)	他 法 負 担 分
療養の給付等	一 般	285,325	6,814,053	5,002,389	1,634,543	177,121
	退職者	4	136	95	41	0
	計	285,329	6,814,189	5,002,484	1,634,584	177,121
療養費等	一 般	3,156	33,653	26,506	7,147	0
	退職者	0	0	0	0	0
	計	3,156	33,653	26,506	7,147	0
合 計		288,485	6,847,842	5,028,990	1,641,731	177,121

4 高額療養費・その他保険給付の状況（返納金等調整後）（単位：件・千円）

区 分		件 数	給付額
高 額 療 養 費	一 般	15,011	777,388
	退 職 者	0	0
	計	15,011	777,388
高 額 介 護 合 算 療 養 費	一 般	29	751
	退 職 者	0	0
	計	29	751
そ の 他 の 保 険 給 付	出産育児一時金	42	17,640
	葬 祭 費	145	7,250
	計	187	24,890
合 計		15,227	803,029

5 療養の給付の内訳

区 分		件 数	日 数	費 用 額 (千円)	一件当たり費用額 (千円)	一人当たり費用額 (千円)
入 院	一 般	4,021	60,175	2,341,110	582	128
	退職者	0	0	0	0	0
入 院 外	一 般	145,543	224,950	2,648,348	18	145
	退職者	2	2	△5	△2	※2 -
歯 科	一 般	29,838	51,813	398,839	13	22
	退職者	0	0	0	0	0
調 剤	一 般	105,553	(123,255 枚)	1,299,401	12	71
	退職者	2	(2 枚)	143	71	※2 -
食事療養	一 般	(3,724)	(154,946 回)	103,355	28	6
	退職者	(0)	(0 回)	0	0	0
訪問看護	一 般	370	2,138	23,000	62	1
	退職者	0	0	0	0	0
合 計		285,329 ※1 ()は除く	339,078 ※1 ()は除く	6,814,191	24	373

※1 調剤の処方せん枚数や食事療養の食事件数・回数は、外来・入院件数の再掲扱いのため、合計から除く

※2 遡及による件数はあるが、令和2年度の退職被保険者数は0人のため

(単位：千円)

会 計 名	予 算 現 額	支 出 済 額
国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）	122,000	96,372

直営診療施設勘定の令和2年度の決算額は、予算現額1億2,200万円（前年度比2,000万円、14.1%の減）に対し、歳入総額1億376万7千円（前年度比1,617万円、13.5%の減）、歳出総額9,637万2千円（前年度比1,822万7千円、15.9%の減）で、実質収支は739万5千円（前年度比205万7千円、38.5%の増）であった。

直営診療施設勘定では、各診療所で地域住民の健康保持に必要な治療に加え、各疾病の予防に努めるとともにジェネリック医薬品の利用促進や在庫管理の徹底により、医薬材料費の抑制を図った。

小櫃診療所においては、令和2年度から指定管理者制度を導入した。それに伴い、令和2年3月まで開院日が週3日だったところを、4月から週5日とした。また、利用者の利便性を考慮して土足を可能とし、さらに、いずれも水曜日に、5月から午後に訪問診療、10月からは夜間診療も開始するなど、地域のかかりつけ医としての定着と充実に努めた。

松丘診療所においては、火曜日に夜間診療として19時まで診療を行うとともに、水曜日の午前中は笹診療所に出向き、地域医療を充実させた。

新型コロナウイルス感染症対策としては、各診療所で検温と手指消毒の徹底、パーティションを設置しソーシャルディスタンスの確保に努めた。松丘診療所には空気清浄機も導入した。

診療の状況

区 分	開院日数	レセプト 件 数	延 べ 受 診 者 数	診療収入 (千円)	1日当り 受診者数
小櫃診療所	240	-	4,721	-	19.7
松丘診療所	253	3,629	4,188	38,677	16.6
笹診療所※	45	-	210	-	4.7
合 計	493	-	8,909	38,677	18.1

※笹診療所のレセプト件数、診療収入は松丘診療所に含む。

(単位：千円)

会 計 名	予 算 現 額	支 出 済 額
聖地公園事業特別会計	63,000	57,593

平成6年度から第1期分の販売区画2,313基を君津市民のみを対象に販売し、平成8年度からは君津市民以外の者も販売の対象とした。

平成23年度には、墓地の残基数の減少を理由に第2期整備事業を実施し、普通墓地、芝生墓地のほか、市民の意見を反映した壁墓地、合葬墓地を合わせた1,007区画を整備し、平成24年6月から販売を開始した。

令和元年8月に壁墓地の残基数が少なくなったため5基増設したほか、令和2年度においては、合葬墓地1体用の納骨壇80体を増設した。

施設管理については、指定管理者制度により、適正に管理運営を行った。

令和2年度の決算額は、予算現額6,300万円に対し、歳入総額6,076万4千円、歳出総額5,759万3千円で、歳入から歳出を差し引いた実質収支は317万1千円であった。

【1款 墓地公園事業費 1項 総務管理費】

1目 一般管理費

○施設維持管理事業 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
5,434	8,120	6,375

〈概要〉 墓地経営に関する一般事務、施設維持管理を行った。

〈成果〉 施設の維持管理や適切な事務の執行ができた。

○聖地公園管理委託関係費 【環境衛生課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
11,657	11,764	11,764

〈概要〉 管理棟における事務、施設管理、見学者の対応等を行った。

〈成果〉 指定管理者制度により、施設の設置目的を効果的に達成するとともに、適切な管理を行うことができた。

墓地使用許可状況

第1期整備分

区 分	総設置数	令和元年度末許可数	令和2年度増減		令和2年度末		
			許可数	返還数	許可数	残基数	
普通墓地	4㎡	2,004	1,962	4	15	1,951	53
	8㎡	95	91	1	1	91	4
芝生墓地	4㎡	214	211	1	2	210	4
計	2,313	2,264	6	18	2,252	61	

【1款 墓地公園事業費 1項 総務管理費】

1目 一般管理費

第2期整備分

区 分	総設置数	令和元年 度末許可数	令和2年度増減		令和2年度末	
			許可数	返還数	許可数	残基数
普通墓地4㎡	506	146	8	0	154	352
芝生墓地4㎡	251	126	12	0	138	113
壁墓地2㎡	55	49	3	0	52	3
合葬墓地1体用	160	66	6	1	71	89
合葬墓地2体用	120	44	9	0	53	67
計	1,092	431	38	1	468	624

(単位：千円)

会 計 名	予 算 現 額	支 出 済 額
農業集落排水事業特別会計	33,500	32,074

本事業は、農業集落におけるし尿、生活雑排水など汚水排水を処理することにより、農業用排水の水質保全を図るとともに、農村地域の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図ることを目的として、平成10年4月に事業が採択され、建設事業が平成18年度で完了した。令和2年度の事業内容は、汚水処理場などの適正な維持管理を図るための業務委託等を実施した。

令和2年度の決算額は、予算現額3,350万円に対し、歳入総額3,372万8千円、歳出総額3,207万4千円で、実質収支は165万4千円であった。

【1款 農業集落排水事業費 2項 事業費】

1目 維持管理費

○折木沢地区維持管理費 【農林整備課】

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	
決 算 額	予 算 現 額	決 算 額
18,112	21,015	19,599

〈概要〉 汚水処理場や中継ポンプなど施設の維持管理業務を実施した。

〈成果〉 汚水処理場の適正な運転管理が図れたため、農業集落排水の水質保全と農村地域の生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図ることができた。

・委 託

折木沢地区農業集落排水処理施設維持管理業務委託

農業集落排水処理場周辺清掃等業務委託

農業集落排水施設使用料徴収等事務委託

・接続可能戸数 119戸

・水洗化戸数

平成18年度から平成24年度 100戸

平成25年度 1戸

平成26年度から令和2年度 0戸

計 101戸 (うち利用戸数 93戸)

(単位：千円)

会 計 名	予 算 現 額	支 出 済 額
介護保険特別会計	7, 3 4 9, 4 6 5	7, 0 5 4, 8 4 4

介護保険は、加齢に伴って生じる心身の変化に起因する疾病等により要介護又は要支援の認定を受けた方が、自立した日常生活を営んでいくために必要となる居宅介護サービスや施設介護サービスなどを提供する制度で、これに係る財源は、被保険者（40歳以上）が納める保険料と国・県・市からの負担金等により運営されている。

介護保険の第1号被保険者（65歳以上）は、令和3年3月末で26,333人であり、前年同月比で、0.9%の増となっている。

要介護等認定申請件数は、3,209件であり、要介護状態区分等を審査する介護認定審査会を105回開催し、2,496件の審査を行った。令和3年3月末の認定者数は4,461人であり、前年同月比で、0.9%の増であった。

居宅介護（予防）サービスは、延べ75,216件、給付額29億3,146万3千円、地域密着型介護（予防）サービスは、延べ5,148件、給付額8億7,293万5千円であり、施設介護サービス（介護老人福祉施設、介護老人保健施設及び介護療養型医療施設）は延べ7,971件、給付額21億2,351万3千円であった。

また、高額介護サービス等費は、医療保険制度と同様に低所得者に配慮し、一定額を超えた場合に償還払いされるもので、延べ13,650件、給付額は1億5,750万6千円、施設利用者の居住費及び食費について、低所得者の負担軽減を図るための特定入所者介護サービス等費は延べ6,863件、給付額2億6,062万2千円であった。

高齢化の進展に伴う要介護等認定者数の増加によりサービス利用が増加したことにより、保険給付費は前年比3.0%の増となった。

増加傾向にある保険給付費に対しては、利用者に適切な介護サービスを提供するため、介護給付費適正化事業を実施し、縦覧点検・医療情報との突合、ケアプランの点検、介護給付費の通知を行った。

地域支援事業費では、地域の支え合いの体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とするため介護予防・日常生活支援総合事業を実施した。

また、3か所の地域包括支援センターでは包括的支援事業として高齢者の総合相談及び権利擁護等の支援や、介護予防支援として要支援者に対するケアプランの作成を実施するほか、生活の質の向上を図ることを目的とした自立支援型、小地域、個別事例の地域ケア会議等を行い、地域の課題の把握に努めた。

さらに、介護保険制度の根幹であるケアマネジメントのあり方を、市と介護支援専門員及び地域包括支援センターとで共有し、ケアマネジメントの質の向上とよりよい介護保険制度の運営を図ることを目的として「君津市ケアマネジメントに関する基本方針」を策定した。

令和2年度の決算額は、予算現額73億4,946万5千円に対し、歳入総額72億8,882万1千円、歳出総額70億5,484万4千円で、実質収支は2億3,397万7千円であった。

1 要介護等認定の申請・審査等の状況（令和2年4月～令和3年3月）

認定申請受付状況 (単位：件)

申請件数	申 請 別 内 訳		
	新 規	更 新	区分変更
3,209	1,340	1,453	416

審査件数等

審査件数	介護認定審査会開催回数
2,496 件	105 回

2 認定者数の状況

認定者数（令和3年3月末）

（単位：人）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
認定者数	480	582	909	803	667	655	365	4,461

3 保険給付費の状況

保険給付費 6,489,106千円

区分	種別	件数	給付額 (千円)	区分	件数	給付額 (千円)	
介護サービス等諸費	居宅サービス	訪問サービス	19,408	738,278	介護予防サービス等諸費	906	13,217
		通所サービス	13,980	1,017,484		1,056	33,901
		短期入所サービス	2,634	332,181		43	1,769
		福祉用具貸与及び購入	15,188	214,484		3,306	20,206
		住宅改修費	176	16,441		90	9,596
		特定施設入居者生活介護	1,470	288,213		308	21,300
		居宅介護支援	22,360	324,382		4,054	18,171
		計	75,216	2,931,463		9,763	118,160
	地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	477	75,788		0	0
		夜間対応型訪問介護	74	1,212		0	0
		地域密着型通所介護	1,862	176,607		0	0
		認知症対応型通所介護	312	22,610		0	0
		小規模多機能型居宅介護	328	64,027		20	1,310
		認知症対応型共同生活介護	820	209,036		0	0
		地域密着型介護老人福祉施設	941	247,942		0	0
		複合型サービス（看護小規模多機能型居宅介護）	334	75,713		0	0
		計	5,148	872,935		20	1,310
	施設サービス	介護老人福祉施設	4,761	1,239,713			
		介護老人保健施設	2,899	784,575			
		介護療養型医療施設	311	99,225			
		計	7,971	2,123,513			
	計		88,335	5,927,911		9,783	119,470
	高額介護サービス等費		13,650	157,505			
	高額医療合算介護サービス等費		680	18,745			
	特定入所者介護サービス等費		6,863	260,622			
	審査支払手数料		97,061	4,853			

4 介護予防・日常生活支援総合事業の状況

種 別		件 数	給付額 (千円)
介護予防・生活支援サービス事業費	訪問型サービス	1,875	35,080
	通所型サービス	3,323	94,956
	高額介護サービス費相当	59	142
	高額医療合算介護サービス費相当	7	181
介護予防ケアマネジメント事業費		2,957	16,320
審査支払手数料		8,152	408

5 地域包括支援センターの設置状況（令和3年3月末）

名 称	運営主体	人員（人）			
		主任介護 支援専門員	社会福祉士 等	保健師等	事務職
君津市地域包括支援室	君津市	1	3	2	0
君津市中部地域包括支援センター	医療法人	1	2	3	1
君津市東部地域包括支援センター	社会福祉法人	2	2	1	1

(単位：千円)

会 計 名	予 算 現 額	支 出 済 額
後期高齢者医療特別会計	1, 199, 880	1, 166, 298

後期高齢者医療制度は、75歳以上の方と、一定の障害がある65歳から74歳までの方を対象とする医療制度として、平成20年4月から施行された。療養の給付は、千葉県後期高齢者医療広域連合が行い、市は、各種申請の受付と保険料の徴収を行っている。

後期高齢者医療の費用は5割が公費、4割が現役世代の他の保険制度からの支援金でまかなわれ、残りの1割を後期高齢者からの保険料で負担する仕組みである。本市の令和2年度平均加入者数は1万3,102人(前年度比149人、1.2%増)となっている。

令和2年度の決算額は、予算現額11億9,988万円に対し、歳入総額11億6,980万円(前年度比8,151万5千円、7.5%の増)、歳出総額11億6,629万8千円(前年度比8,127万5千円、7.5%の増)で、実質収支は350万2千円(前年度比24万円、7.4%の増)であった。

主な歳入は、後期高齢者医療保険料8億6,373万8千円(前年度比7,253万7千円、9.2%の増)であり、歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金10億6,094万3千円(前年度比7,285万円、7.4%の増)であった。

○加入者の状況

(単位：人)

区 分	年間平均 加入者数	内 訳			
		現役並み 所得者(※2)	一 般(※3)	区分Ⅰ(※4)	区分Ⅱ(※5)
65歳～69歳	36	3	20	4	9
70歳～74歳	83	2	47	10	24
75歳～79歳	5,295	369	3,523	485	918
80歳～84歳	3,749	149	2,335	541	724
85歳～89歳	2,448	74	1,313	600	461
90歳～94歳	1,148	36	537	360	215
95歳～99歳	293	10	109	118	56
100歳～	50	0	16	26	8
計(※1)	13,102 (12,953)	643 (638)	7,900 (7,884)	2,144 (2,108)	2,415 (2,323)

※1.()内は前年度の数値

※2.現役並み所得者：保険証の自己負担割合が3割の加入者

※3.一般：保険証の自己負担割合が1割で区分Ⅰ、Ⅱ以外の加入者

※4.区分Ⅰ：保険証の自己負担割合が1割で世帯全員が個人市県民税非課税であり、かつ、その世帯全員の個々の所得が0円となる加入者

※5.区分Ⅱ：保険証の自己負担割合が1割で世帯全員が個人市県民税非課税の加入者(区分Ⅰ以外の加入者)

資 料

一般会計歳入決算の推移

款	平成 29 年 度			平成
	収入済額	構成比	前年比	収入済額
1 市税	17,356,364	55.8	3.5	17,387,097
2 地方譲与税	526,725	1.7	1.4	525,711
3 利子割交付金	16,785	0.1	56.0	16,480
4 配当割交付金	64,536	0.2	36.8	54,081
5 株式等譲渡所得割交付金	75,439	0.2	117.1	49,798
6 法人事業税交付金	—	—	—	—
7 地方消費税交付金	1,532,514	4.9	3.8	1,681,444
8 ゴルフ場利用税交付金	155,854	0.5	1.5	150,660
9 自動車取得税交付金	120,243	0.4	49.6	109,879
10 環境性能割交付金	—	—	—	—
11 地方特例交付金	49,013	0.2	12.8	55,957
12 地方交付税	36,537	0.1	△ 66.8	26,567
13 交通安全対策特別交付金	13,071	0.0	△ 3.1	12,655
14 分担金及び負担金	650,780	2.1	△ 2.5	640,487
15 使用料及び手数料	480,988	1.5	△ 3.9	488,809
16 国庫支出金	4,112,932	13.2	9.5	3,871,563
17 県支出金	1,845,412	5.9	4.9	2,797,398
18 財産収入	51,869	0.2	4.8	75,174
19 寄附金	52,760	0.2	237.1	108,662
20 繰入金	761,983	2.4	23.4	461,477
21 繰越金	1,000,689	3.2	△ 42.5	1,795,549
22 諸収入	638,765	2.1	4.2	606,345
23 市債	1,577,500	5.1	73.8	2,689,900
合 計	31,120,759	100.0	4.1	33,605,693

(単位：千円・%)

30年度		令和元年度			令和2年度		
構成比	前年比	収入済額	構成比	前年比	収入済額	構成比	前年比
51.7	0.2	17,426,734	48.8	0.2	17,951,896	38.3	3.0
1.6	△ 0.2	545,356	1.5	3.7	533,246	1.1	△ 2.2
0.1	△ 1.8	8,763	0.0	△ 46.8	9,395	0.0	7.2
0.2	△ 16.2	60,973	0.2	12.7	56,146	0.1	△ 7.9
0.1	△ 34.0	40,077	0.1	△ 19.5	68,089	0.1	69.9
—	—	—	—	—	79,708	0.2	皆 増
5.0	9.7	1,635,360	4.6	△ 2.7	1,962,256	4.2	20.0
0.4	△ 3.3	133,355	0.4	△ 11.5	136,384	0.3	2.3
0.3	△ 8.6	63,535	0.2	△ 42.2	8	0.0	△ 100.0
—	—	18,565	0.1	皆 増	37,760	0.1	103.4
0.2	14.2	214,621	0.6	283.5	85,398	0.2	△ 60.2
0.1	△ 27.3	606,863	1.7	2184.3	26,962	0.1	△ 95.6
0.0	△ 3.2	12,106	0.0	△ 4.3	12,955	0.0	7.0
1.9	△ 1.6	504,271	1.4	△ 21.3	436,354	0.9	△ 13.5
1.5	1.6	491,237	1.4	0.5	430,662	0.9	△ 12.3
11.5	△ 5.9	4,565,464	12.8	17.9	14,548,863	31.1	218.7
8.3	51.6	2,727,438	7.6	△ 2.5	3,163,050	6.8	16.0
0.2	44.9	169,259	0.5	125.2	188,749	0.4	11.5
0.3	106.0	653,802	1.8	501.7	604,720	1.3	△ 7.5
1.4	△ 39.4	1,006,245	2.8	118.0	70,143	0.2	△ 93.0
5.4	79.4	1,885,357	5.3	5.0	3,341,603	7.1	77.2
1.8	△ 5.1	607,341	1.7	0.2	647,466	1.4	6.6
8.0	70.5	2,335,900	6.5	△ 13.2	2,457,800	5.2	5.2
100.0	8.0	35,712,622	100.0	6.3	46,849,613	100.0	31.2

税目別決算の推移

款	平成 29 年 度			平成
	決算額	構成比	前年比	決算額
1 市民税	5,731,378	33.0	1.7	5,811,334
1 個人	4,820,321	27.8	0.7	4,857,965
1 現年課税分	4,677,136	27.0	1.3	4,737,142
2 滞納繰越分	143,185	0.8	△ 15.7	120,823
2 法人	911,057	5.2	7.1	953,369
1 現年課税分	907,317	5.2	7.1	949,984
2 滞納繰越分	3,740	0.0	10.5	3,385
2 固定資産税	10,073,025	58.1	5.6	10,031,678
1 固定資産税	10,059,692	58.0	5.6	10,019,786
1 現年課税分	9,961,842	57.4	6.0	9,939,073
2 滞納繰越分	97,850	0.6	△ 23.3	80,713
2 交付金	13,333	0.1	12.4	11,892
1 現年課税分	13,333	0.1	12.4	11,892
3 軽自動車税	244,386	1.4	4.2	254,894
1 環境性能割	—	—	—	—
1 環境性能割	—	—	—	—
2 種別割	244,386	1.4	20.6	254,894
1 現年課税分	238,129	1.4	4.5	248,811
2 滞納繰越分	6,257	0.0	△ 3.8	6,083
4 市たばこ税	752,257	4.3	△ 6.8	732,346
1 現年課税分	752,257	4.3	△ 6.8	732,346
5 特別土地保有税	566	0.0	375.6	0
1 滞納繰越分	566	0.0	375.6	0
6 入湯税	1,774	0.0	△ 28.6	1,963
1 現年課税分	1,774	0.0	△ 9.7	1,963
2 滞納繰越分	0	0.0	皆 減	0
7 都市計画税	552,978	3.2	0.3	554,882
1 現年課税分	546,735	3.2	1.1	549,531
2 滞納繰越分	6,243	0.0	△ 40.9	5,351
合 計	17,356,364	100.0	3.5	17,387,097

国民健康保険税	2,140,769	100.0	△ 9.7	1,939,333
1 現年課税分	1,814,011	84.7	△ 10.0	1,697,479
2 滞納繰越分	326,758	15.3	△ 7.8	241,854

(単位：千円・%)

30年度		令和元年度			令和2年度		
構成比	前年比	決算額	構成比	前年比	決算額	構成比	前年比
33.4	1.4	5,821,766	33.4	0.2	5,606,887	31.2	△ 3.7
27.9	0.8	4,767,347	27.4	△ 1.9	4,826,419	26.9	1.2
27.2	1.3	4,671,436	26.8	△ 1.4	4,744,683	26.4	1.6
0.7	△ 15.6	95,911	0.6	△ 20.6	81,736	0.5	△ 14.8
5.5	4.6	1,054,419	6.0	10.6	780,468	4.3	△ 26.0
5.5	4.7	1,051,870	6.0	10.7	776,888	4.3	△ 26.1
0.0	△ 9.5	2,549	0.0	△ 24.7	3,580	0.0	40.4
57.8	△ 0.4	10,047,550	57.7	0.2	10,786,984	60.1	7.4
57.7	△ 0.4	10,035,906	57.6	0.2	10,775,156	60.0	7.4
57.2	△ 0.2	9,972,150	57.2	0.3	10,713,602	59.7	7.4
0.5	△ 17.5	63,756	0.4	△ 21.0	61,554	0.3	△ 3.5
0.1	△ 10.8	11,644	0.1	△ 2.1	11,828	0.1	1.6
0.1	△ 10.8	11,644	0.1	△ 2.1	11,828	0.1	1.6
1.4	4.3	265,370	1.5	4.1	278,611	1.6	5.0
—	—	3,086	0.0	皆 増	9,029	0.1	192.6
—	—	3,086	0.0	皆 増	9,029	0.1	192.6
1.4	4.3	262,284	1.5	2.9	269,582	1.5	2.8
1.4	4.5	256,995	1.5	3.3	264,255	1.5	2.8
0.0	△ 2.8	5,289	0.0	△ 13.1	5,327	0.0	0.7
4.2	△ 2.6	725,359	4.2	△ 1.0	702,300	3.9	△ 3.2
4.2	△ 2.6	725,359	4.2	△ 1.0	702,300	3.9	△ 3.2
0.0	皆 減	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
0.0	皆 減	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
0.0	10.7	1,789	0.0	△ 8.9	2,248	0.0	25.7
0.0	10.7	1,789	0.0	△ 8.9	1,644	0.0	△ 8.1
0.0	0.0	0	0.0	0.0	604	0.0	0.0
3.2	0.3	564,900	3.2	1.8	574,866	3.2	1.8
3.2	0.5	560,774	3.2	2.0	570,140	3.2	1.7
0.0	△ 14.3	4,126	0.0	△ 22.9	4,726	0.0	14.5
100.0	0.2	17,426,734	100.0	0.2	17,951,896	100.0	3.0
100.0	△ 9.4	1,795,532	100.0	△ 7.4	1,784,850	100.0	△ 0.6
87.5	△ 6.4	1,616,517	90.0	△ 4.8	1,593,131	89.3	△ 1.4
12.5	△ 26.0	179,015	10.0	△ 26.0	191,719	10.7	7.1

一般会計歳出決算の推移(目的別)

款	平成 29 年 度			平成
	歳出決算額	構成比	前年比	歳出決算額
1 議 会 費	308,534	1.0	0.6	309,151
2 総 務 費	4,202,285	14.3	△ 13.0	5,139,276
3 民 生 費	9,479,525	32.3	0.0	9,447,805
4 衛 生 費	3,688,233	12.6	△ 1.8	3,699,608
5 労 働 費	30,860	0.1	0.2	46,942
6 農林水産業費	1,060,581	3.6	84.2	1,244,689
7 商 工 費	399,445	1.4	0.5	428,112
8 土 木 費	2,539,328	8.7	15.7	2,518,162
9 消 防 費	1,500,719	5.1	0.8	1,876,905
10 教 育 費	4,011,768	13.7	13.0	5,053,467
11 災害復旧費	55,286	0.2	△ 28.1	58,942
12 公 債 費	2,048,646	7.0	△ 6.8	1,897,277
合 計	29,325,210	100.0	1.5	31,720,336

(単位:千円・%)

30 年 度		令 和 元 年 度			令 和 2 年 度		
構成比	前年比	歳出決算額	構成比	前年比	歳出決算額	構成比	前年比
1.0	0.2	277,526	0.9	△ 10.2	275,188	0.6	△ 0.8
16.2	22.3	4,144,596	12.8	△ 19.4	13,846,767	31.2	234.1
29.8	△ 0.3	10,355,481	32.0	9.6	10,886,539	24.5	5.1
11.7	0.3	3,898,467	12.0	5.4	4,914,953	11.1	26.1
0.1	52.1	31,876	0.1	△ 32.1	39,505	0.1	23.9
3.9	17.4	1,464,767	4.5	17.7	1,819,965	4.1	24.2
1.4	7.2	784,640	2.4	83.3	919,721	2.1	17.2
7.9	△ 0.8	2,792,278	8.6	10.9	3,248,266	7.3	16.3
5.9	25.1	1,810,853	5.6	△ 3.5	2,125,404	4.8	17.4
15.9	26.0	4,689,964	14.5	△ 7.2	4,067,959	9.1	△ 13.3
0.2	6.6	349,288	1.1	492.6	670,246	1.5	91.9
6.0	△ 7.4	1,771,283	5.5	△ 6.6	1,602,234	3.6	△ 9.5
100.0	8.2	32,371,019	100.0	2.1	44,416,747	100.0	37.2

一般会計歳出決算の推移(性質別)

款	平成 29 年度			平成
	歳出決算額	構成比	前年比	歳出決算額
1 人件費	6,786,881	23.2	1.6	6,801,871
2 扶助費	6,152,207	21.0	△ 3.7	6,038,724
3 公債費	2,048,646	7.0	△ 6.8	1,897,277
4 物件費	5,157,449	17.6	△ 2.7	5,303,817
5 維持補修費	167,755	0.6	6.6	171,981
6 補助費等	1,300,968	4.4	△ 4.0	1,556,724
7 貸付金	206,900	0.7	△ 0.1	206,150
8 繰出金	3,148,213	10.7	1.6	3,254,188
9 積立金	586,203	2.0	△ 53.6	1,446,572
10 投資及び出資金	12,578	0.0	△ 53.5	7,806
11 普通建設事業費	3,702,124	12.6	73.3	4,976,284
12 災害復旧費	55,286	0.2	△ 28.1	58,942
合 計	29,325,210	100.0	1.5	31,720,336

(単位:千円・%)

30 年 度		令 和 元 年 度			令 和 2 年 度		
構成比	前年比	歳出決算額	構成比	前年比	歳出決算額	構成比	前年比
21.5	0.2	7,024,464	21.7	3.3	7,632,226	17.2	8.7
19.0	△ 1.8	6,414,267	19.8	6.2	6,668,844	15.0	4.0
6.0	△ 7.4	1,771,283	5.5	△ 6.6	1,602,173	3.6	△ 9.5
16.7	2.8	5,996,461	18.5	13.1	6,031,698	13.6	0.6
0.5	2.5	149,777	0.5	△ 12.9	178,431	0.4	19.1
4.9	19.7	1,665,773	5.1	7.0	10,915,698	24.6	555.3
0.6	△ 0.4	208,060	0.6	0.9	208,560	0.4	0.2
10.3	3.4	3,308,677	10.2	1.7	2,928,654	6.6	△ 11.5
4.6	146.8	54,978	0.2	△ 96.2	1,110,239	2.5	1919.4
0.0	△ 37.9	212,708	0.7	2624.9	709,566	1.6	233.6
15.7	34.4	5,197,994	16.1	4.5	5,729,822	12.9	10.2
0.2	6.6	366,577	1.1	521.9	700,836	1.6	91.2
100.0	8.2	32,371,019	100.0	2.1	44,416,747	100.0	37.2

○令和2年度決算における地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる
社会保障施策に要する経費

(歳入)
地方消費税交付金（社会保障財源化分） 960,815 千円
(歳出)
地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる
社会保障施策に要する経費 8,860,582 千円

【社会保障施策に要する経費】 (単位：千円)

社会保障施策に係る主な事業	事業費	財源内訳					
		特定財源			一般財源		
		国県支出金	市債	その他	引上げ分の 地方消費税 (社会保障財源 化分の市町交付 金)	その他	
障害福祉サービス費支給事業	1,529,184	1,164,615	0	17,153	80,606	266,810	
重度心身障害者医療費助成事業	158,201	72,492	0	11,919	17,120	56,670	
精神障害者医療費給付及び相談事業	43,008	0	0	0	9,979	33,029	
老人ホーム入所措置事業	21,689	0	0	3,574	4,203	13,912	
児童手当給付事業	1,066,950	904,860	0	60	37,594	124,436	
児童扶養手当給付事業	290,167	97,303	0	297	44,679	147,888	
認可外保育施設利用者補助金	4,725	4,032	0	0	161	532	
ファミリーサポートセンター事業	3,289	1,866	0	0	330	1,093	
市立保育園児童運営費	110,304	6,984	0	20,598	19,193	63,529	
病児・病後児保育事業	10,030	3,624	0	99	1,463	4,844	
子どものための教育・保育給付事業	551,449	366,476	0	38,906	33,890	112,177	
幼児教育無償化事業	272,040	219,475	0	0	12,196	40,369	
生活困窮者等自立相談支援事業	31,569	24,059	0	30	1,735	5,745	
生活保護費	1,361,987	1,051,317	0	22,904	66,767	220,999	
小計	5,454,592	3,917,103	0	115,540	329,916	1,092,033	
国民健康保険特別会計繰出金	676,428	280,277	0	0	91,914	304,237	
後期高齢者医療関係事業	1,080,868	147,979	0	0	216,446	716,443	
介護保険特別会計繰出金	1,124,029	59,136	0	0	247,073	817,820	
小計	2,881,325	487,392	0	0	555,433	1,838,500	
子ども医療費助成事業	196,659	49,060	0	142,549	1,172	3,878	
感染症予防事業	219,253	7,213	0	250	49,139	162,651	
各種がん検診事業	60,056	330	0	0	13,857	45,869	
妊婦乳児健康診査事業	48,697	0	0	0	11,298	37,399	
小計	524,665	56,603	0	142,799	75,466	249,797	
合計	8,860,582	4,461,098	0	258,339	960,815	3,180,330	

○令和2年度決算における都市計画税の充当状況 (単位：千円)

区分	事業費	財源内訳					充当額
		特定財源			一般財源		
		国県支出金	市債	その他			
道路関係	29,755	0	0	0	29,755	29,331	
都市計画公園関係	150,968	5,430	4,000	6,101	135,437	133,508	
公共下水道事業	353,238	0	0	0	353,238	348,207	
地方債償還額（都市計画区域の道路、公園等にかかるもの）	64,742	0	0	0	64,742	63,820	
合計	598,703	5,430	4,000	6,101	583,172	574,866	
令和2年度 都市計画税収入額						574,866	

○令和2年度決算における入湯税の充当状況 (単位：千円)

区分	事業費	財源内訳					充当額
		特定財源			一般財源		
		国県支出金	市債	その他			
観光振興関係	49,275	0	0	12,326	36,949	2,248	
令和2年度 入湯税収入額						2,248	

